

# 相生市国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月  
相生市



<b>第1章 計画策定について</b>		
1. 背景		4
2. 計画期間		4
3. 基本方針		5
4. データヘルス計画の位置づけ		6
5. 実施体制・関係者連携		6
<b>第2章 現状と課題把握</b>		
1. 保険者の特性把握		7
(1) 基本情報		7
(2) 医療費等の状況		9
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		10
① 特定健康診査		10
② 特定保健指導		12
(4) 介護保険の状況		14
(5) 主たる死因の状況		18
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)		19
第1期データヘルス計画の各事業達成状況		19
3. 医療情報分析結果		25
(1) 基礎統計		25
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		27
① 高額レセプトの件数及び割合		27
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向		29
(3) 疾病別医療費		31
大分類による疾病別医療費統計		31
4. 保健事業実施に係る分析結果		35
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		35
(2) 特定健康診査に係る分析		36
(3) 特定保健指導に係る分析		38
(4) 健診異常値放置者に係る分析		39
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析		41
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		43
(7) 受診行動適正化に係る分析		47
(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析		50
(9) 薬剤併用禁忌に係る分析		52
(10) 服薬情報に係る分析		53
5. 分析結果に基づく健康課題の把握		55
(1) 分析結果		55
(2) 分析結果に基づく課題とその対策		60
<b>第3章 保健事業実施計画</b>		
1. 各事業の目的と概要一覧		61
2. 全体スケジュール		69

<b>第4章 その他</b>		
1. データヘルス計画の見直し		70
(1) 評価		70
(2) 評価時期		70
2. 計画の公表・周知		70
3. 個人情報の取り扱い		71
<b>高額レセプト患者発生の疾病傾向(患者数順)</b>		
<b>中分類による疾病別統計</b>		
<b>地区分析</b>		
1. 大分類による疾病別医療費地区別統計		
2. 中分類による疾病別医療費地区別統計		
<b>保健指導対象者のリスク因子別該当状況</b>		
<b>年度別 特定健康診査結果分析</b>		
1. 有所見者割合		
2. 質問別回答状況		
<b>巻末資料</b>		
1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方		
2. 用語解説集		
3. 疾病分類表		

# 第1章 計画策定について

## 1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

※傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

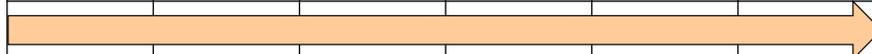
※レセプト分析システムおよび分析方法  
(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

## 2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

### ■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

### 3. 基本方針

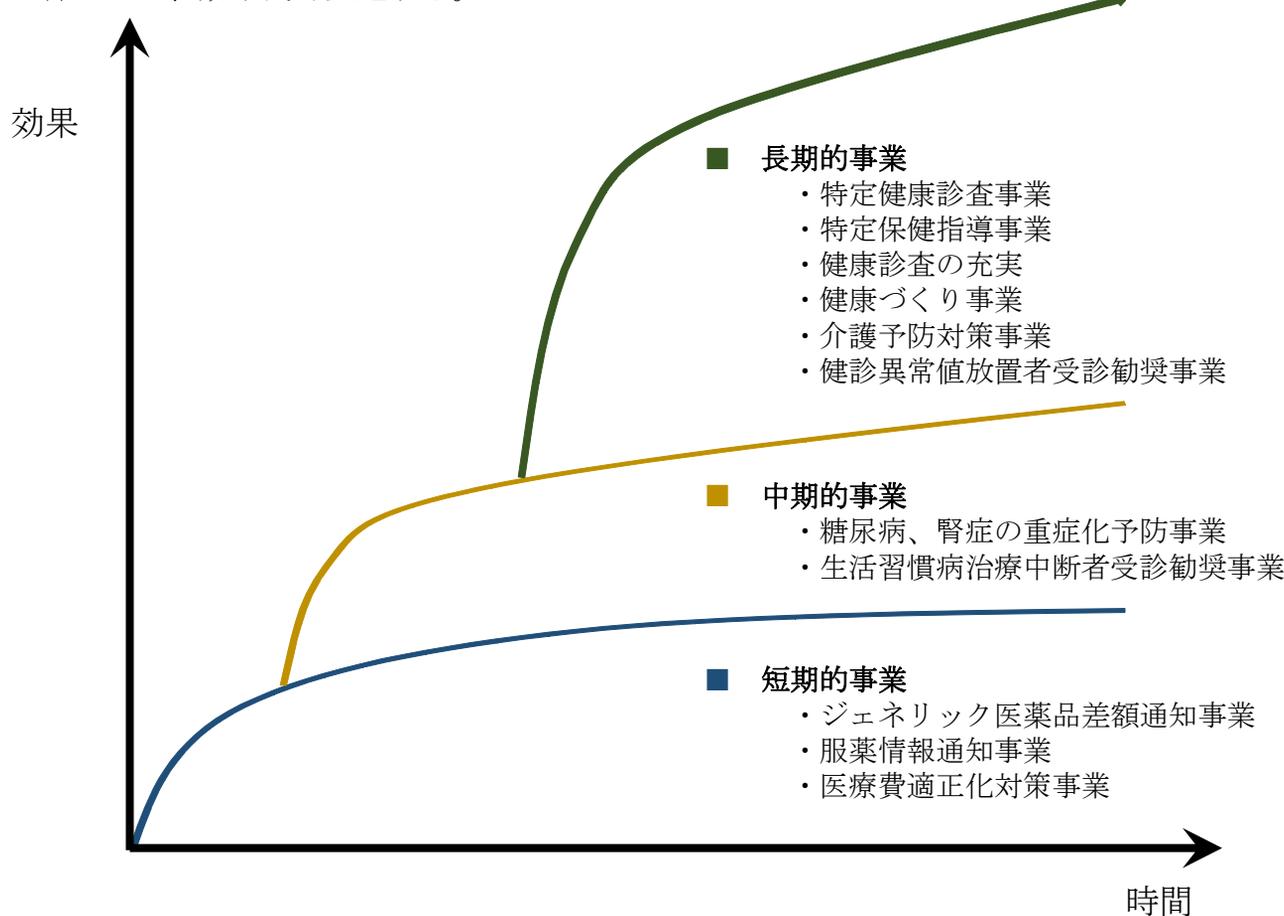
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を相生市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



## 4. データヘルス計画の位置づけ

---

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

## 5. 実施体制・関係者連携

---

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

### ■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ  
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)  
年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)  
年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

# 第2章 現状と課題把握

## 1. 保険者の特性把握

### (1) 基本情報

本市の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は29.6%であり、県との比較で1.3倍、同規模との比較でほぼ等倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は7,937人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は25.8%である。国民健康保険被保険者平均年齢は55.9歳である。

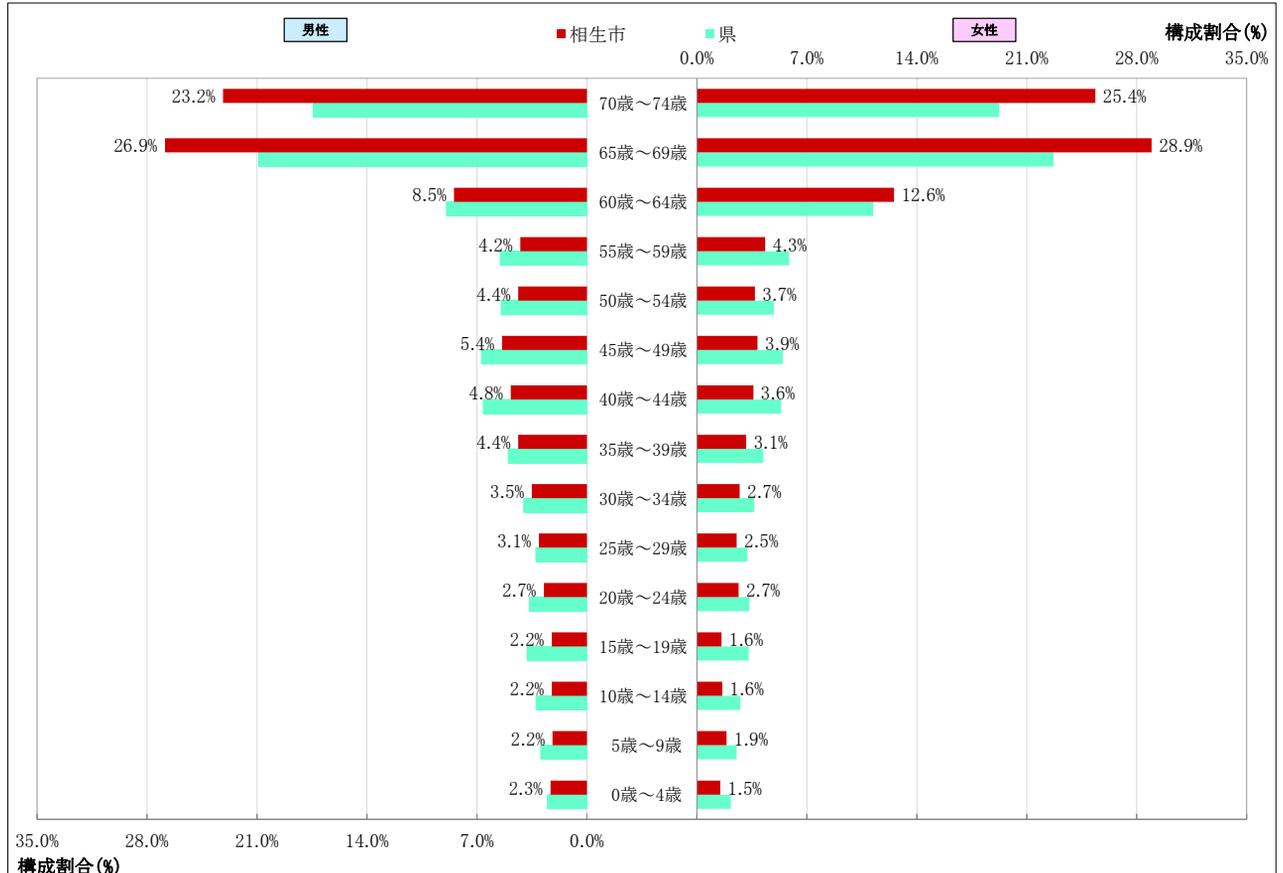
#### 人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者 数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
相生市	30,766	29.6%	7,937	25.8%	55.9	7.5%	11.6%
県	5,440,457	23.2%	992,634	25.0%	51.3	8.8%	9.5%
同規模	34,868	29.1%	8,743	25.1%	53.9	7.2%	13.0%

※「県」は兵庫県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

#### 男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

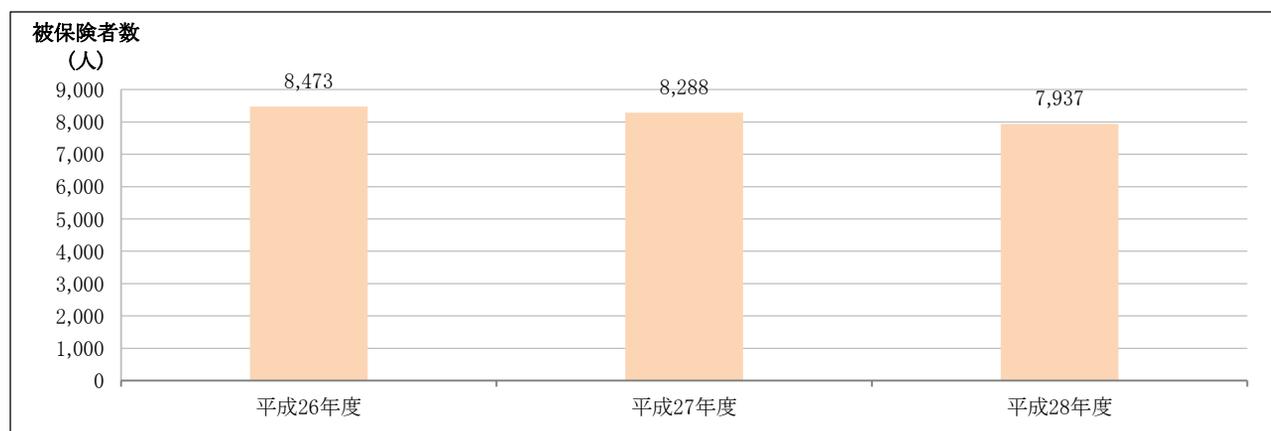
本市の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数7,937人は平成26年度8,473人より536人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢55.9歳は平成26年度55.8歳より0.1歳上昇している。

### 年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者 数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
相生市	平成26 年度	30,766	29.6%	8,473	27.5%	55.8	7.5%	11.6%
	平成27 年度	30,766	29.6%	8,288	26.9%	55.7	7.5%	11.6%
	平成28 年度	30,766	29.6%	7,937	25.8%	55.9	7.5%	11.6%
県	平成26 年度	5,440,457	23.2%	952,991	25.5%	50.5	8.8%	9.5%
	平成27 年度	5,440,457	23.2%	1,042,447	27.8%	50.9	8.8%	9.5%
	平成28 年度	5,440,457	23.2%	992,634	25.0%	51.3	8.8%	9.5%
同規模	平成26 年度	34,457	29.1%	9,406	27.3%	52.8	7.2%	13.0%
	平成27 年度	34,460	29.2%	9,061	26.3%	53.4	7.1%	13.1%
	平成28 年度	34,868	29.1%	8,743	25.1%	53.9	7.2%	13.0%

出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

### 年度別 被保険者数



出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## (2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

### 医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	相生市	県	同規模
千人当たり			
病院数	0.5	0.2	0.4
診療所数	2.9	3.4	2.9
病床数	93.9	46.8	59.7
医師数	7.1	8.7	7.5
外来患者数	691.9	711.8	698.5
入院患者数	26.7	18.6	23.6
受診率	718.5	730.4	722.1
一件当たり医療費(円)	40,970	34,750	38,460
一般(円)	41,100	34,640	38,470
退職(円)	36,050	39,410	38,220
後期(円)	58,140	51,150	53,910
外来			
外来費用の割合	55.6%	60.2%	56.9%
外来受診率	691.9	711.8	698.5
一件当たり医療費(円)	23,660	21,480	22,610
一人当たり医療費(円)	16,370	15,290	15,790
一日当たり医療費(円)	13,120	13,390	14,550
一件当たり受診回数	1.8	1.6	1.6
入院			
入院費用の割合	44.4%	39.8%	43.1%
入院率	26.7	18.6	23.6
一件当たり医療費(円)	490,220	543,710	507,410
一人当たり医療費(円)	13,060	10,090	11,980
一日当たり医療費(円)	31,460	35,620	29,780
一件当たり在院日数	15.6	15.3	17.0

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ① 特定健康診査

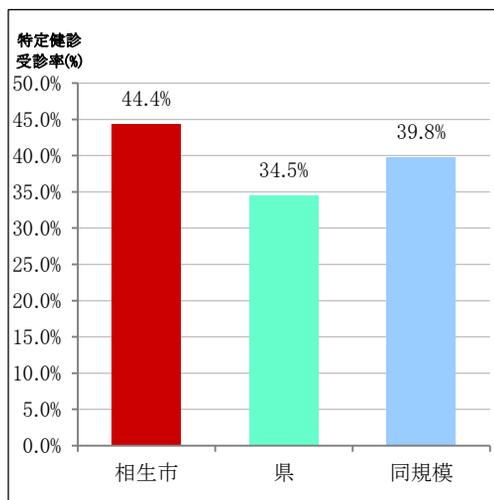
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

#### 特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
相生市	44.4%
県	34.5%
同規模	39.8%

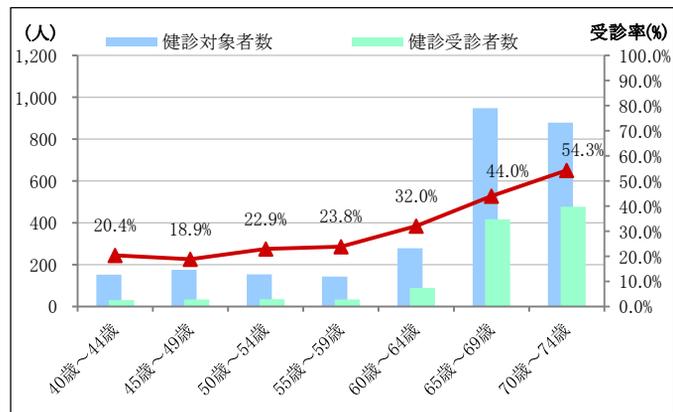
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

#### 特定健康診査受診率(平成28年度)



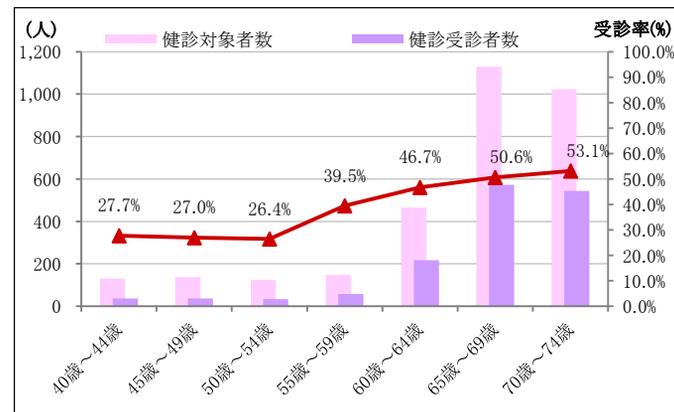
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

#### (男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

#### (女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

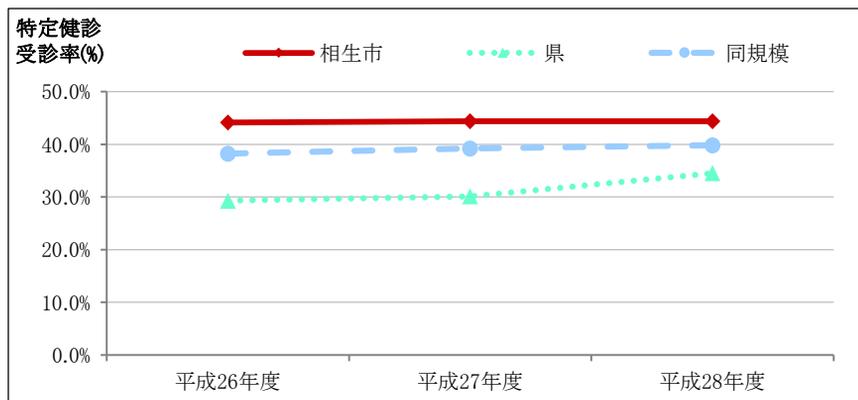
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率44.4%は平成26年度44.1%より0.3ポイント上昇している。

### 年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
相生市	44.1%	44.4%	44.4%
県	29.3%	30.1%	34.5%
同規模	38.2%	39.2%	39.8%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

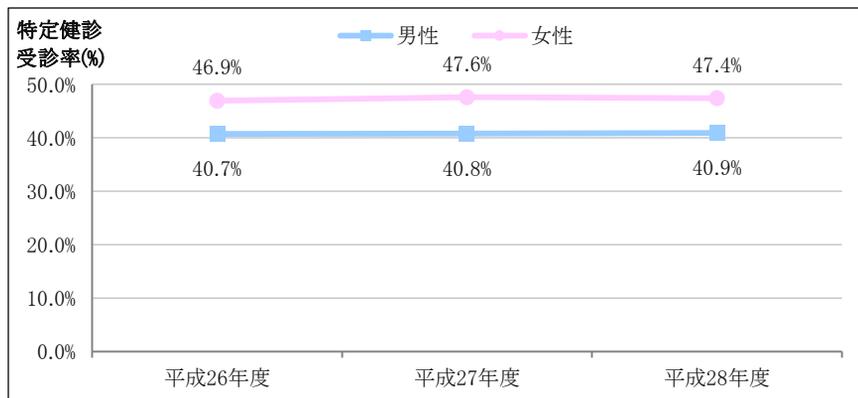
### 年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率40.9%は平成26年度40.7%より0.2ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率47.4%は平成26年度46.9%より0.5ポイント上昇している。

### 年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## ②特定保健指導

本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

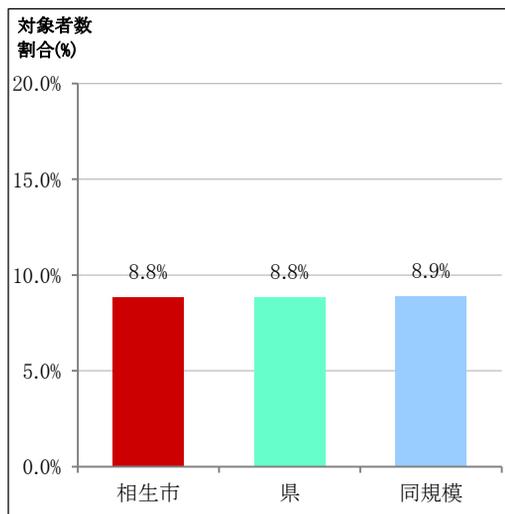
### 特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割 合	特定保健指導 実施率
相生市	8.8%	2.0%	10.8%	42.4%
県	8.8%	3.0%	11.8%	15.7%
同規模	8.9%	3.1%	12.0%	38.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

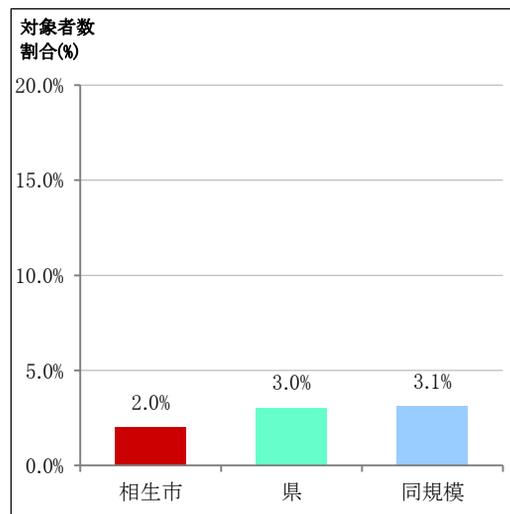
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



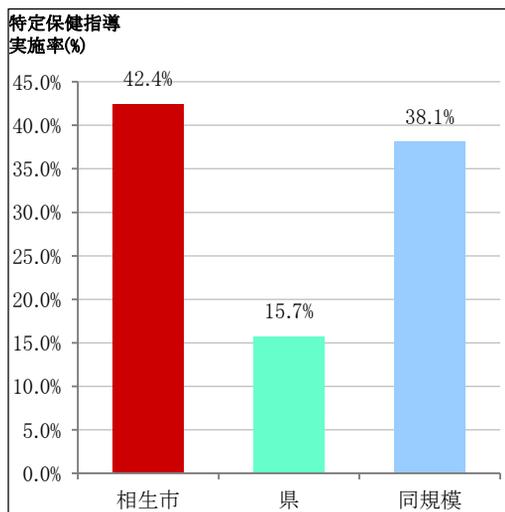
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。  
平成28年度の特定保健指導実施率42.4%は平成26年度40.7%より1.7ポイント上昇している。

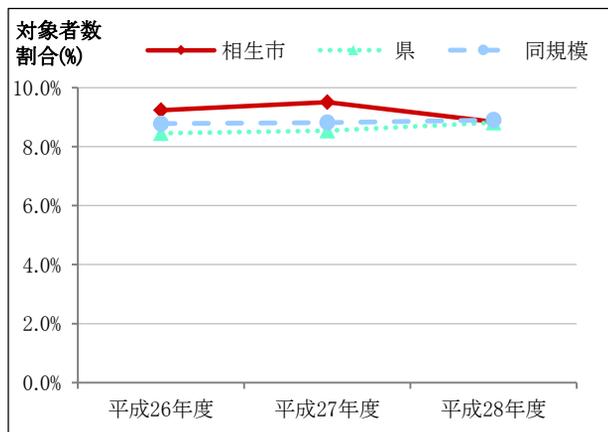
### 年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
相生市	9.2%	9.5%	8.8%	2.0%	1.9%	2.0%	11.2%	11.4%	10.8%	40.7%	45.2%	42.4%
県	8.5%	8.5%	8.8%	3.1%	3.1%	3.0%	11.5%	11.6%	11.8%	22.7%	19.9%	15.7%
同規模	8.8%	8.8%	8.9%	3.4%	3.3%	3.1%	12.2%	12.1%	12.0%	35.6%	36.7%	38.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

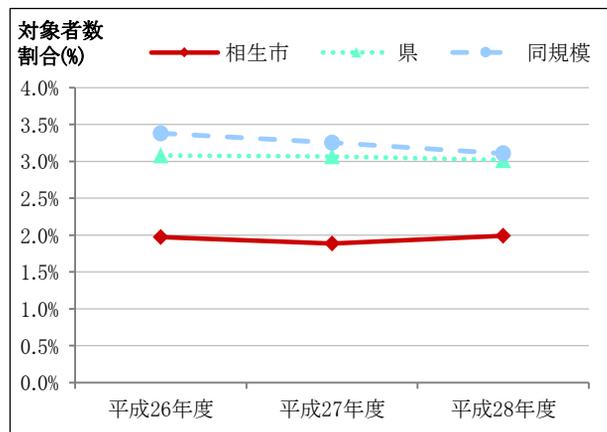
出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 動機付け支援対象者数割合



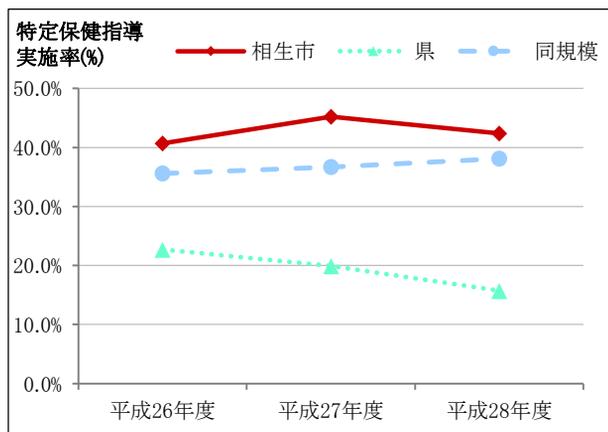
出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 積極的支援対象者数割合



出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 特定保健指導実施率



出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### (4) 介護保険の状況

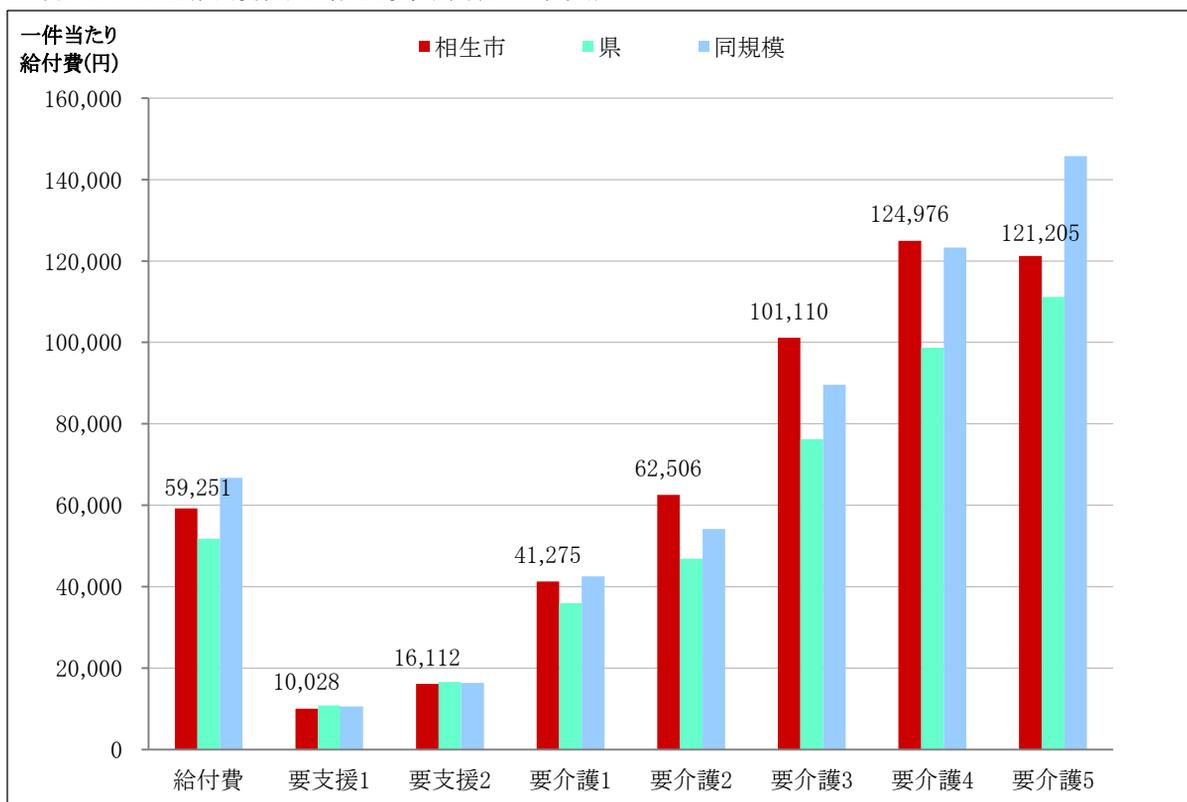
本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	相生市	県	同規模
認定率	20.5%	22.5%	20.5%
認定者数(人)	1,905	214,190	550,860
第1号(65歳以上)	1,865	209,035	539,696
第2号(40～64歳)	40	5,155	11,164
一件当たり給付費(円)			
給付費	59,251	51,789	66,717
要支援1	10,028	10,841	10,605
要支援2	16,112	16,597	16,324
要介護1	41,275	35,954	42,568
要介護2	62,506	46,885	54,151
要介護3	101,110	76,185	89,625
要介護4	124,976	98,686	123,272
要介護5	121,205	111,174	145,765

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

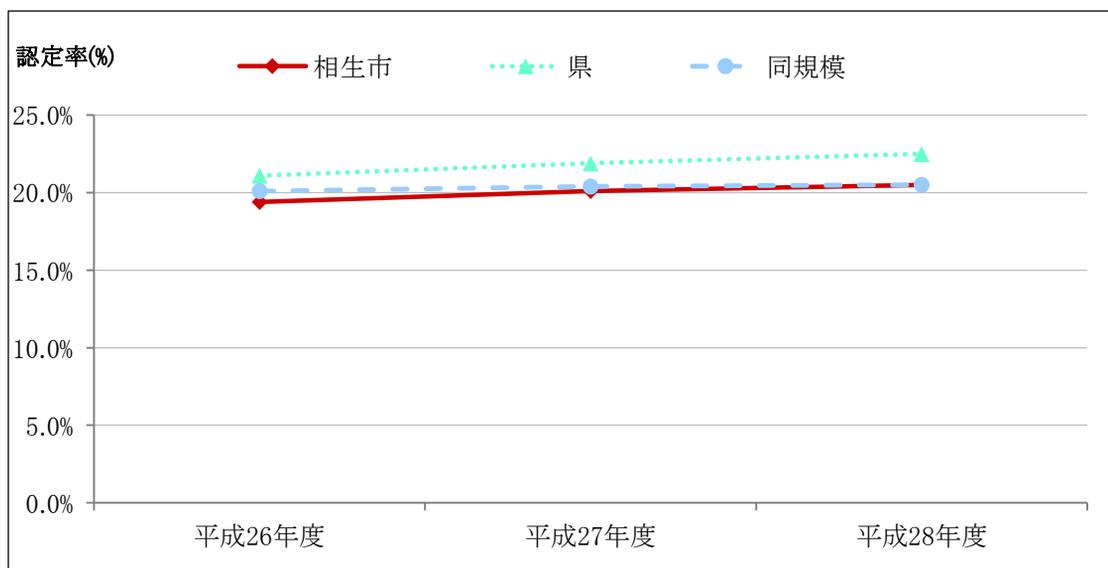
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率20.5%は平成26年度19.4%より1.1ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数1,905人は平成26年度1,845人より60人増加している。

### 年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
相生市	平成26年度	19.4%	1,845	1,807	38
	平成27年度	20.1%	1,878	1,840	38
	平成28年度	20.5%	1,905	1,865	40
県	平成26年度	21.1%	191,847	186,701	5,146
	平成27年度	21.9%	197,473	192,490	4,983
	平成28年度	22.5%	214,190	209,035	5,155
同規模	平成26年度	20.1%	523,424	511,753	11,671
	平成27年度	20.4%	529,348	518,179	11,169
	平成28年度	20.5%	550,860	539,696	11,164

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると5,851人となり、認定者は平均3.1疾病を有していることがわかる。

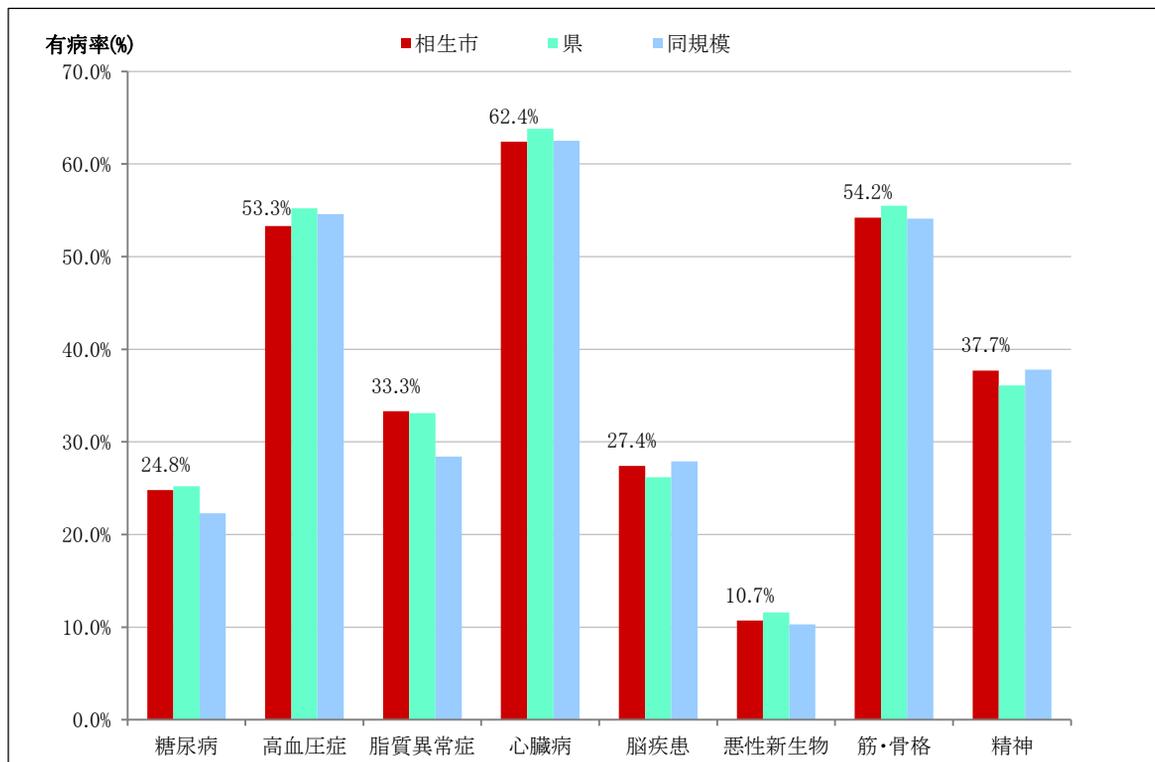
### 認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分		相生市	順位	県	順位	同規模	順位
認定者数(人)		1,905		214,190		550,860	
糖尿病	実人数(人)	506	7	54,215	7	125,636	7
	有病率	24.8%		25.2%		22.3%	
高血圧症	実人数(人)	1,010	3	118,858	3	306,174	2
	有病率	53.3%		55.2%		54.6%	
脂質異常症	実人数(人)	643	5	71,429	5	159,862	5
	有病率	33.3%		33.1%		28.4%	
心臓病	実人数(人)	1,192	1	137,014	1	349,548	1
	有病率	62.4%		63.8%		62.5%	
脳疾患	実人数(人)	531	6	56,004	6	154,945	6
	有病率	27.4%		26.2%		27.9%	
悪性新生物	実人数(人)	194	8	25,310	8	58,440	8
	有病率	10.7%		11.6%		10.3%	
筋・骨格	実人数(人)	1,050	2	119,438	2	303,462	3
	有病率	54.2%		55.5%		54.1%	
精神	実人数(人)	725	4	78,084	4	213,558	4
	有病率	37.7%		36.1%		37.8%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数3.1疾病は平成26年度からほぼ横ばいである。

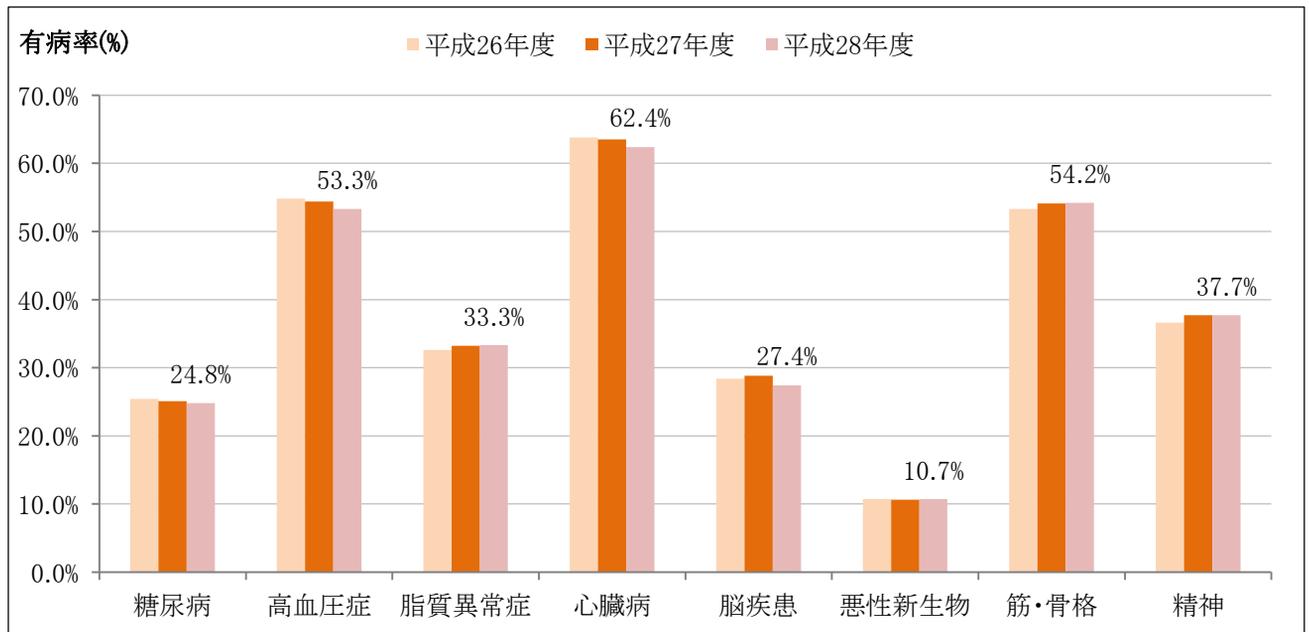
### 年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	相生市						県			同規模			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	1,845		1,878		1,905		191,847	197,473	214,190	523,424	529,348	550,860	
糖尿病	実人数(人)	469	7	458	7	506	7	46,441	49,923	54,215	115,392	118,904	125,636
	有病率(%)	25.4%		25.1%		24.8%		23.7%	24.5%	25.2%	21.7%	22.0%	22.3%
高血圧症	実人数(人)	1,026	2	1,011	2	1,010	3	104,297	109,999	118,858	286,985	291,816	306,174
	有病率(%)	54.8%		54.4%		53.3%		53.5%	54.4%	55.2%	54.2%	54.5%	54.6%
脂質異常症	実人数(人)	617	5	613	5	643	5	61,165	65,473	71,429	145,128	150,290	159,862
	有病率(%)	32.6%		33.2%		33.3%		31.0%	32.2%	33.1%	27.1%	27.8%	28.4%
心臓病	実人数(人)	1,200	1	1,200	1	1,192	1	120,555	126,932	137,014	328,301	333,346	349,548
	有病率(%)	63.8%		63.5%		62.4%		61.9%	62.9%	63.8%	62.2%	62.3%	62.5%
脳疾患	実人数(人)	525	6	530	6	531	6	51,263	53,052	56,004	151,844	151,705	154,945
	有病率(%)	28.4%		28.8%		27.4%		26.5%	26.5%	26.2%	29.0%	28.5%	27.9%
悪性新生物	実人数(人)	196	8	199	8	194	8	21,516	22,978	25,310	52,407	54,541	58,440
	有病率(%)	10.7%		10.6%		10.7%		10.9%	11.2%	11.6%	9.8%	10.1%	10.3%
筋・骨格	実人数(人)	992	3	993	3	1,050	2	103,738	109,722	119,438	281,337	287,029	303,462
	有病率(%)	53.3%		54.1%		54.2%		53.4%	54.4%	55.5%	53.2%	53.7%	54.1%
精神	実人数(人)	696	4	698	4	725	4	66,623	71,040	78,084	194,295	200,580	213,558
	有病率(%)	36.6%		37.7%		37.7%		34.0%	35.0%	36.1%	36.5%	37.3%	37.8%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## (5) 主たる死因の状況

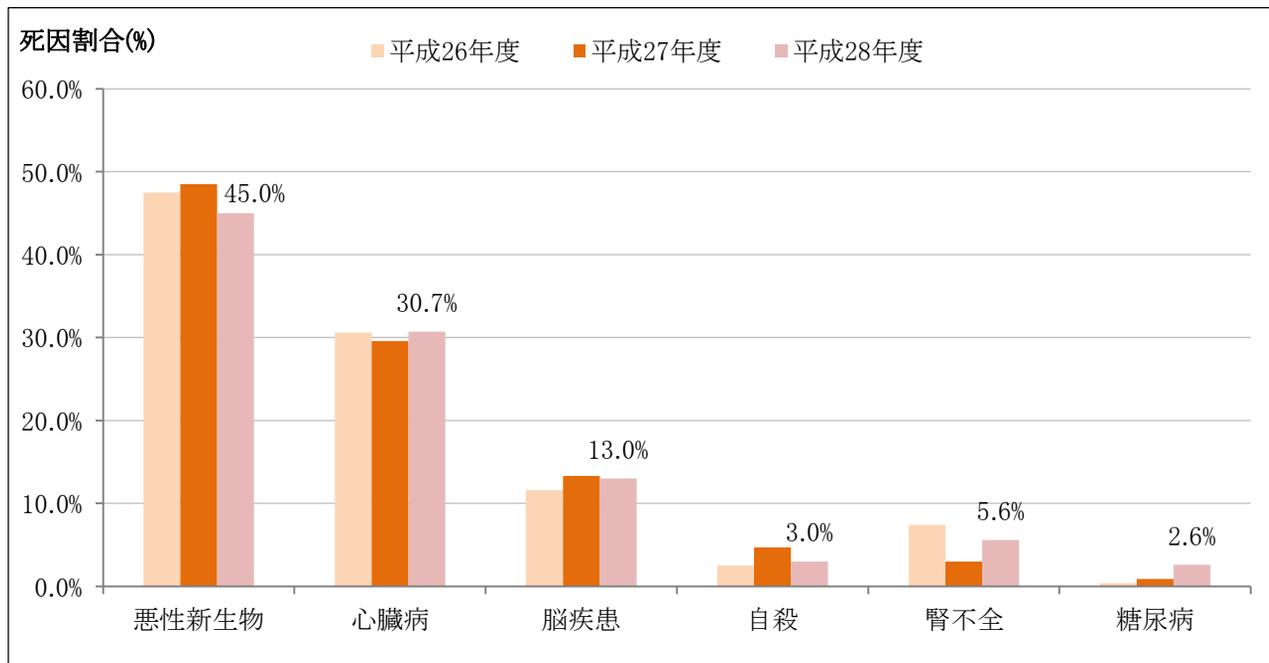
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数104人は平成26年度115人より11人減少しており、心臓病を死因とする人数71人は平成26年度74人より3人減少している。また、脳疾患を死因とする人数30人は平成26年度28人より2人増加している。

### 年度別 主たる死因の状況

疾病項目	相生市						県			同規模		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度						
悪性新生物	115	113	104	47.5%	48.5%	45.0%	50.4%	50.6%	51.4%	45.0%	45.5%	46.4%
心臓病	74	69	71	30.6%	29.6%	30.7%	25.8%	25.9%	25.7%	28.2%	28.3%	28.2%
脳疾患	28	31	30	11.6%	13.3%	13.0%	14.9%	14.7%	14.0%	18.3%	17.7%	17.0%
自殺	6	11	7	2.5%	4.7%	3.0%	3.6%	3.5%	3.4%	3.1%	2.9%	2.7%
腎不全	18	7	13	7.4%	3.0%	5.6%	3.4%	3.5%	3.6%	3.7%	3.6%	3.7%
糖尿病	1	2	6	0.4%	0.9%	2.6%	2.0%	1.9%	1.9%	1.8%	1.9%	1.9%
合計	242	233	231									

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

### 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要	担当課
平成27年度から平成29年度	医療費適正化対策事業	医療費通知の充実	医療機関受診者に対して、年6回通知	市民課 国保年金係
平成27年度から平成29年度	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品利用促進・自己負担軽減	ジェネリック医薬品に切替えた場合の自己負担軽減額を年3回通知	市民課 国保年金係
平成27年度から平成29年度	特定健康診査事業	生活習慣病の発症予防・早期発見	<p>【集団健診】※子育て元気課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申込み用紙を全戸配布し、扶桑電通なぎさホールをはじめ各地域において全13日間実施。また全日程で、がん検診、骨粗鬆症検診、ABC検診などを同日実施とし、土日開催も行っている。</li> </ul> <p>【個別健診】※市民課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者に受診券を送付し、市内医療機関において実施(9～2月)</li> </ul> <p>【人間ドック】※市民課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申込者(定員あり)に受診券を送付し、市内医療機関において実施(9～2月)脳ドック、骨密度健診、前立腺がん検診を同日実施。</li> </ul>	市民課 国保年金係 /子育て元気課 健康増進係
平成27年度から平成29年度	特定保健指導事業	生活習慣の改善を促し生活習慣病を予防	<p>【集団健診】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動機付け、積極的支援とともに初回面接時に健診結果の返却や訪問等を取り入れ、保健指導対象者が受けやすい体制を整備している。</li> <li>健診当日、保健指導対象候補者に対して保健指導を実施し初回面接への意識付けを行う。</li> <li>意識改善を目的としておなかすっきり教室を実施。</li> </ul> <p>【個別・人間ドック】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動機付け、積極的支援とともに委託実施。健診受診後、結果により、保健指導対象者に約4か月後に利用券を送付している。</li> </ul>	子育て元気課 健康増進係  市民課 国保年金係

5:目標達成  
 4:改善している  
 3:横ばい  
 2:悪化している  
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況(平成28年度時点)	評価
医療機関受診者に対して、年6回通知	医療費通知実施率 100%	医療費通知実施率 100%	3
ジェネリック医薬品に切替えた場合の自己負担軽減額を年3回通知	利用率 80%	利用率 63.3%	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な受診や若い世代の受診率の向上を目的とし、受診券送付の際に世代に合ったパンフレットや継続受診を促すパンフレットを同封する。</li> <li>・受診しやすい体制整備を目的とし、人間ドックの受診希望者のニーズに沿うような定員の見直しを行う。</li> <li>・未受診者に対し、健診の必要性が認識できるよう受診行動につながる勧奨を実施し、受診率の向上を図る。</li> </ul>	特定健診実施率 60%	特定健診受診率 44.8%  受診勧奨ハガキ 3,584件	4
<b>【集団健診】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的支援を業者委託実施。</li> <li>・教室を継続的支援の機会となるよう見直す。</li> </ul>	保健指導受診率 60%	保健指導受診率 46.3%	4
<b>【個別健診・人間ドック】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導の基準値に対して医療機関と共通理解を図り、健診結果より医療機関から協力を得て、保健指導の勧奨を促し、意識付けを行う。対象者に対し、電話勧奨等積極的な働きかけを行う。</li> </ul>			

実施 年度	事業名	事業目的	事業概要	担当課
平成 29 年度	糖尿病、腎症 の重症化予防 事業	治療必要者の重症化 予防	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象 者を特定し、専門職より対象者に面談指導を行う。	市民課 国保年金係 /子育て元気課 健康増進係
平成 27 年度 から 平成 29 年度	健康診査の充実  ・肺がん検診 ・胃がん健診 ・大腸がん検診 ・前立腺がん 検診 ・子宮がん検診 ・乳がん検診	がん死亡率の減少	・肺、胃、大腸、前立腺がん検診、 肝炎ウイルス検診は集団健診の際に同時実施。 ・子宮、乳がん検診は各医療機関にて実施。	子育て元気課 健康増進係
	・骨粗鬆症検診	骨粗鬆症の予防	・集団健診で同時実施。 ・節目年齢の女性は各医療機関で受診可。	子育て元気課 健康増進係

5:目標達成  
 4:改善している  
 3:横ばい  
 2:悪化している  
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況(平成28年度時点)	評価
<p>・階層化したフローチャートで要医療となっている重症化リストの高い者に対し保健指導を行う。また医療機関との共通理解のもと医療につなげ、以下のとおり重症化予防を行う。</p> <p>①H28健診結果より健診後の状況確認          ・HbA1c6.5以上の医療機関未受診者に対し郵送にて医療機関受診勧奨を行う。受診状況の報告により必要に応じて保健指導を行う。</p> <p>②-1)3疾患治療中でHbA1c7.0以上の者          ・集団健診当日に医療機関受診状況を確認し、治療中断であれば治療再開勧奨・治療中であれば医療機関での管理継続及び保健指導実施。          ・個別健診、人間ドックでは医師より指導実施。未実施の医療機関に関しては、対象者に保健指導の意識付けを行う内容の案内文を送付する。</p> <p>②-2)3疾患治療なしでHbA1c6.5以上の者          ・集団健診当日に医療機関受診勧奨後の状況確認を行い、保健指導実施。          ・個別、人間ドックでは医師の判断により医療機関受診勧奨及び保健指導実施。未実施の医療機関に関しては、対象者に保健指導の意識付けを行う内容の案内文を送付する。</p> <p>③H29健診結果より          ・HbA1c8.0以上の者に対し、健診結果返却と同時に保健指導を実施。</p>	—	—	1
<p>・子宮がん検診を集団健診においても同時実施し、また個別検診としての受診医療機関の拡大も行う。          ・女性がん検診について節目年齢者へ個別受診勧奨を行う。</p>	<p>がん検診受診率</p> <p>肺がん30%          胃がん20%          大腸がん25%          前立腺がん25%          子宮がん20%          乳がん25%</p>	<p>がん検診受診率</p> <p>肺がん25.9%          胃がん13.1%          大腸がん23.5%          前立腺がん21.6%          子宮がん12.3%          乳がん19.7%</p>	3
<p>・骨粗鬆症検診について節目年齢者へ個別受診勧奨を行う。</p>	受診率向上	受診率24.36%	4

実施 年度	事業名	事業目的	事業概要	担当課
平成 27 年度 から 平成 29 年度	健康づくり 事業	健康意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康チェックコーナー実施(骨量測定等)、8020(歯科)表彰(健康フェアにて開催)</li> <li>・市民要望講座</li> <li>・市広報あいおい、ホームページ</li> <li>・健康ポイント制度</li> <li>・いずみ会(食生活改善普及推進委員)と連携</li> </ul>	子育て元気課 健康増進係
	介護予防対策 事業	介護予防意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防手帳の配布</li> <li>・いきいき百歳体操(各地域にて自主活動)の普及啓発、支援実施</li> <li>・介護予防推進講座</li> <li>・健康大学講座(医師会と共催で各専門医による)</li> <li>・市民要望講座(保健師、管理栄養士による)</li> <li>・訪問指導(保健師・管理栄養士による)</li> </ul>	子育て元気課 健康増進係

5:目標達成  
 4:改善している  
 3:横ばい  
 2:悪化している  
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況(平成28年度時点)	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちょっと実行、ずっと健康」をキャッチフレーズに、気軽に参加できるようポイントカードの様式を変更する。</li> <li>・健康ポイント制度について、新たに乳幼児健診や子育て広場など普及啓発の機会を捉えて若い世代への参加勧奨する。</li> </ul>	<p>健康ポイント制度応募者数は前年度実績以上</p>	<p>健康ポイント制度応募者101名</p>	<p>5</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき百歳体操の活動グループ数は順調に増えているが未実施の地域もあるため、多くの市民が身近な場所で参加できる環境となるよう情報発信や周知啓発を検討する。</li> <li>・介護予防推進講座の新たな参加者の発掘のため周知方法の検討。また講座受講後の地域活動について少しでもつながっていけるよう内容を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき百歳体操活動グループ数は54グループ</li> <li>・介護予防推進講座は180名</li> <li>・健康大学・市民要望講座は現状維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき百歳体操38グループ</li> <li>・介護予防推進講座参加者延べ450名</li> <li>・健康大学講座述べ2300名</li> <li>・市民養成講座述べ435名</li> </ul>	<p>4</p>

### 3. 医療情報分析結果

#### (1) 基礎統計

当医療費統計は、相生市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均7,922人、レセプト件数は平均8,428件、患者数は平均4,229人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均56,683円となった。

#### 基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	8,187	8,093	8,037	8,026	7,986	7,937	7,920	
B	レセプト件数(件)	入院外	5,749	5,522	5,725	5,717	5,618	5,440	5,572
		入院	197	217	211	223	216	204	211
		調剤	2,473	2,367	2,381	2,421	2,385	2,325	2,412
		合計	8,419	8,106	8,317	8,361	8,219	7,969	8,195
C	医療費(円) ※	234,993,890	238,029,150	238,782,800	234,222,510	236,530,990	227,954,540	223,037,920	
D	患者数(人) ※	4,308	4,213	4,252	4,328	4,245	4,125	4,165	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	28,703	29,412	29,710	29,183	29,618	28,720	28,161	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	27,912	29,365	28,710	28,014	28,779	28,605	27,216	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	54,548	56,499	56,158	54,118	55,720	55,262	53,551	
B/A	受診率(%)	102.8%	100.2%	103.5%	104.2%	102.9%	100.4%	103.5%	
D/A	有病率(%)	52.6%	52.1%	52.9%	53.9%	53.2%	52.0%	52.6%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	7,866	7,814	7,789	7,720	7,694	7,922		
B	レセプト件数(件)	入院外	5,754	5,785	5,419	5,380	5,798	5,623	67,479
		入院	227	218	228	217	234	217	2,603
		調剤	2,885	2,888	2,799	2,754	2,961	2,588	31,051
		合計	8,866	8,891	8,446	8,351	8,993	8,428	101,133
C	医療費(円) ※	251,368,050	253,097,190	237,398,430	237,073,560	264,291,540	239,731,714	2,876,780,570	
D	患者数(人) ※	4,316	4,290	4,135	4,117	4,258	4,229	50,752	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	31,956	32,390	30,479	30,709	34,350	30,260		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	28,352	28,467	28,108	28,389	29,389	28,446		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	58,241	58,997	57,412	57,584	62,069	56,683		
B/A	受診率(%)	112.7%	113.8%	108.4%	108.2%	116.9%	106.4%		
D/A	有病率(%)	54.9%	54.9%	53.1%	53.3%	55.3%	53.4%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数7,922人は、平成26年度8,448人より526人減少しており、医療費28億7,678万円は平成26年度28億7,792万円より114万円減少している。また、一カ月平均の患者数4,229人は、平成26年度4,489人より260人減少している。

## 年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	8,448	8,289	7,922	
B	レセプト件数(件)	入院外	71,497	70,642	67,479
		入院	2,721	2,744	2,603
		調剤	30,301	30,282	31,051
		合計	104,519	103,668	101,133
C	医療費(円) ※	2,877,921,630	3,026,782,190	2,876,780,570	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	4,489	4,433	4,229	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	340,653	365,164	363,119	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	27,535	29,197	28,446	
D/A	有病率(%)	53.1%	53.5%	53.4%	

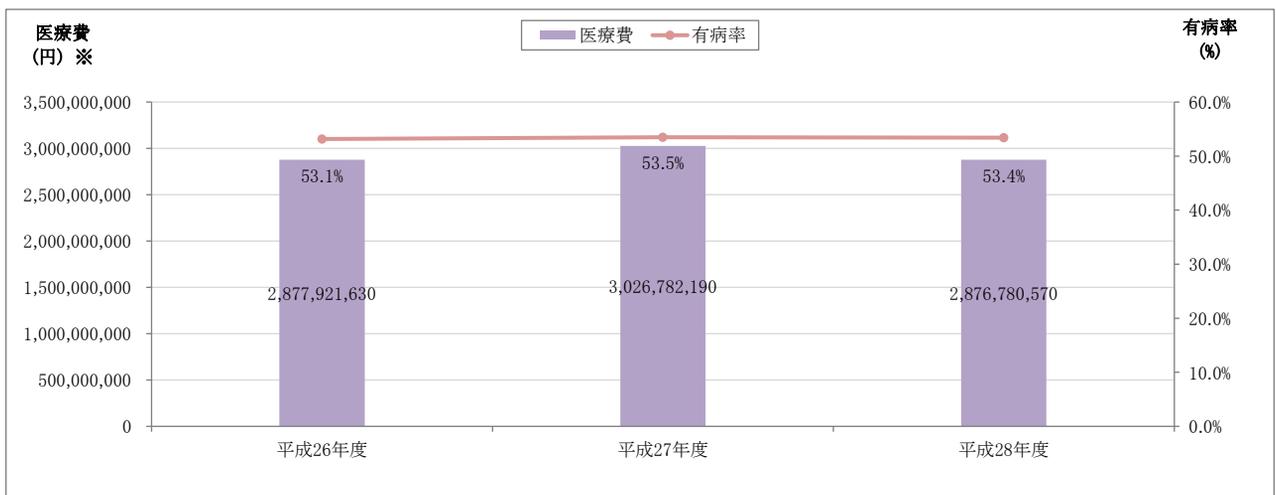
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

## 年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

## (2) 高額レセプトの件数及び医療費

### ① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは904件発生しており、レセプト件数全体の0.9%を占める。高額レセプトの医療費は8億7,923万円となり、医療費全体の30.6%を占める。

#### 高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	8,419	8,106	8,317	8,361	8,219	7,969	8,195
B	高額レセプト件数(件)	68	75	71	71	79	66	71
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.9%	0.9%	0.8%	1.0%	0.8%	0.9%
C	医療費(円) ※	234,993,890	238,029,150	238,782,800	234,222,510	236,530,990	227,954,540	223,037,920
D	高額レセプトの医療費(円) ※	67,879,830	74,935,230	71,412,500	65,415,330	72,380,560	64,482,340	62,376,960
E	その他レセプトの医療費(円) ※	167,114,060	163,093,920	167,370,300	168,807,180	164,150,430	163,472,200	160,660,960
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	28.9%	31.5%	29.9%	27.9%	30.6%	28.3%	28.0%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	8,866	8,891	8,446	8,351	8,993	8,428	101,133
B	高額レセプト件数(件)	82	72	70	88	91	75	904
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.9%	0.8%	0.8%	1.1%	1.0%	0.9%	
C	医療費(円) ※	251,368,050	253,097,190	237,398,430	237,073,560	264,291,540	239,731,714	2,876,780,570
D	高額レセプトの医療費(円) ※	79,908,170	83,990,560	69,110,000	79,896,200	87,442,750	73,269,203	879,230,430
E	その他レセプトの医療費(円) ※	171,459,880	169,106,630	168,288,430	157,177,360	176,848,790	166,462,512	1,997,550,140
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	31.8%	33.2%	29.1%	33.7%	33.1%	30.6%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数904件は平成26年度829件より75件増加しており、平成28年度高額レセプトの医療費8億7,923万円は平成26年度7億6,655万円より1億1,268万円増加している。

### 年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	104,519	103,668	101,133
B	高額レセプト件数(件)	829	966	904
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.9%	0.9%
C	医療費(円) ※	2,877,921,630	3,026,782,190	2,876,780,570
D	高額レセプトの医療費(円) ※	766,545,950	917,589,610	879,230,430
E	その他レセプトの医療費(円) ※	2,111,375,680	2,109,192,580	1,997,550,140
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	26.6%	30.3%	30.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

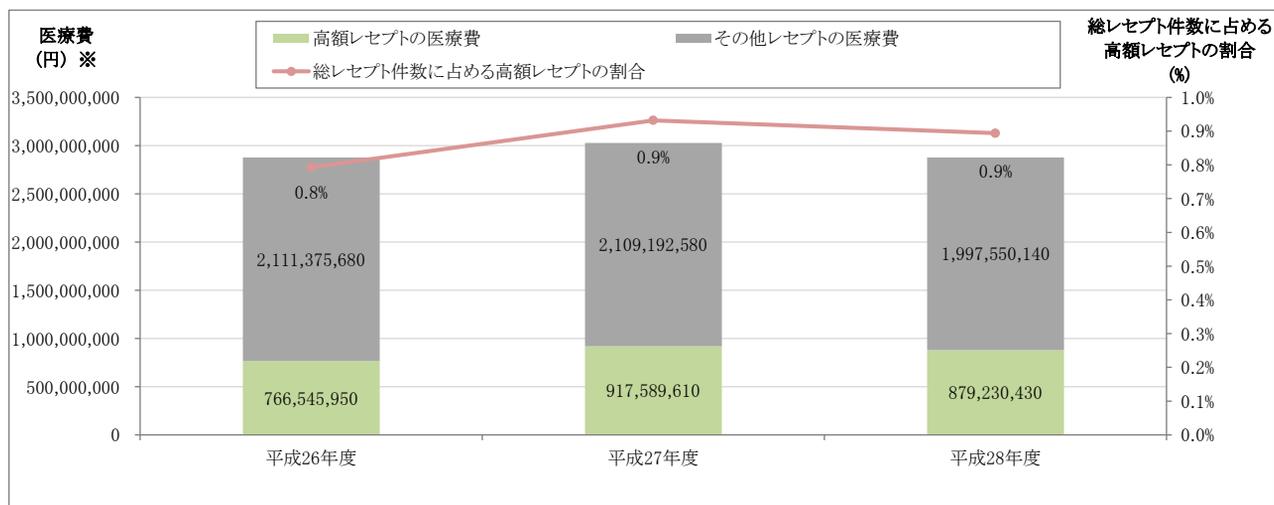
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

### 年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

## ②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「真菌症」「熱傷及び腐食」「その他の循環器系の疾患」等となった。

### 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0107	真菌症	肺炎菌症	1	15,774,230	0	15,774,230	15,774,230
2	1903	熱傷及び腐食	全身熱傷	1	10,732,400	15,820	10,748,220	10,748,220
3	0912	その他の循環器系の疾患	急性大動脈解離StanfordA, 胃静脈瘤	3	18,818,450	928,360	19,746,810	6,582,270
4	0904	くも膜下出血	椎骨動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	2	10,080,020	2,575,910	12,655,930	6,327,965
5	1402	腎不全	慢性腎不全, 腎性貧血, 末期腎不全	26	60,537,610	103,638,920	164,176,530	6,314,482
6	0209	白血病	急性骨髄性白血病, 慢性リンパ性白血病	3	16,958,130	1,831,590	18,789,720	6,263,240
7	1010	喘息	気管支喘息	1	5,655,210	0	5,655,210	5,655,210
8	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	2	10,898,640	203,340	11,101,980	5,550,990
9	0106	その他のウイルス性疾患	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	5,325,740	30,960	5,356,700	5,356,700
10	0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	解離性遁走	1	4,740,180	0	4,740,180	4,740,180
11	0507	その他の精神及び行動の障害	てんかん性精神病	2	7,725,380	1,200,080	8,925,460	4,462,730
12	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	アルコール依存症	1	4,024,400	149,920	4,174,320	4,174,320
13	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	成長ホルモン分泌不全性低身長症, 中枢性尿崩症, ウェルニッケ脳症	4	8,683,830	7,360,700	16,044,530	4,011,133
14	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺癌	17	33,107,130	32,284,630	65,391,760	3,846,574
15	0601	パーキンソン病	パーキンソン病, パーキンソン病Yahr4, パーキンソン病Yahr3	11	33,176,310	6,804,830	39,981,140	3,634,649
16	0905	脳内出血	被殻出血, 脳出血, 橋出血	4	13,187,610	592,880	13,780,490	3,445,123
17	0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	1	2,016,160	1,389,130	3,405,290	3,405,290
18	1307	その他の脊柱障害	腰椎変性すべり症	1	2,931,550	453,560	3,385,110	3,385,110
19	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調感情障害	8	23,605,790	1,807,710	25,413,500	3,176,688
20	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	7	568,600	20,869,480	21,438,080	3,062,583

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	19	6,344,924
	2	1307 その他の脊柱障害	腰椎側弯症, 変性側弯症, 腰椎変性すべり症	3	5,816,810
	3	0501 血管性及び詳細不明の認知症	認知症, 老年精神病	2	4,931,440
	4	0603 てんかん	症候性てんかん	1	4,923,250
	5	0601 パーキンソン病	パーキンソン病, パーキンソン病Yahr4	3	4,557,883
平成27年度	1	0209 白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	1	12,603,190
	2	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後, 人工股関節置換術後	2	6,909,570
	3	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	21	6,059,186
	4	0606 その他の神経系の疾患	低酸素性脳症, 重症筋無力症, 筋萎縮性側索硬化症	4	5,586,115
	5	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	15	5,082,176
平成28年度	1	0107 真菌症	肺真菌症	1	15,774,230
	2	1903 熱傷及び腐食	全身熱傷	1	10,748,220
	3	0912 その他の循環器系の疾患	急性大動脈解離StanfordA, 胃静脈瘤	3	6,582,270
	4	0904 くも膜下出血	椎骨動脈瘤破裂によるくも膜下出血, 前大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	2	6,327,965
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 腎性貧血, 末期腎不全	26	6,314,482

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

### (3) 疾病別医療費

#### 大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の14.7%、「新生物<腫瘍>」は医療費合計の12.3%と高い割合を占めている。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	92,911,144	3.3%	12	8,367	11	2,304	8	40,326	14
II. 新生物<腫瘍>	343,994,200	12.3%	2	8,076	13	2,329	7	147,700	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	26,442,559	0.9%	15	2,269	16	570	17	46,390	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	281,574,301	10.1%	3	36,199	2	3,788	2	74,333	9
V. 精神及び行動の障害	259,485,812	9.3%	5	10,912	7	942	14	275,463	1
VI. 神経系の疾患	165,915,740	5.9%	8	18,161	5	1,871	11	88,678	7
VII. 眼及び付属器の疾患	115,178,277	4.1%	10	9,716	8	2,638	6	43,661	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	10,422,465	0.4%	16	2,080	17	686	15	15,193	19
IX. 循環器系の疾患	411,360,214	14.7%	1	37,825	1	3,545	4	116,040	5
X. 呼吸器系の疾患	130,894,262	4.7%	9	17,509	6	3,551	3	36,861	15
X I. 消化器系の疾患 ※	221,806,649	7.9%	7	30,248	3	3,852	1	57,582	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	58,951,902	2.1%	13	9,416	9	2,237	9	26,353	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	271,585,570	9.7%	4	23,142	4	2,979	5	91,167	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	236,901,070	8.5%	6	8,333	12	1,812	12	130,740	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,762,829	0.1%	19	82	20	33	20	83,722	8
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,720,704	0.1%	20	26	21	13	21	209,285	2
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	3,898,764	0.1%	18	369	18	113	18	34,502	16
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	56,390,216	2.0%	14	9,124	10	2,114	10	26,675	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	96,278,892	3.4%	11	5,104	14	1,571	13	61,285	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,648,028	0.2%	17	2,805	15	593	16	9,524	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	617,952	0.0%	21	327	19	112	19	5,517	21
合計	2,795,741,550			100,569		7,139		391,615	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

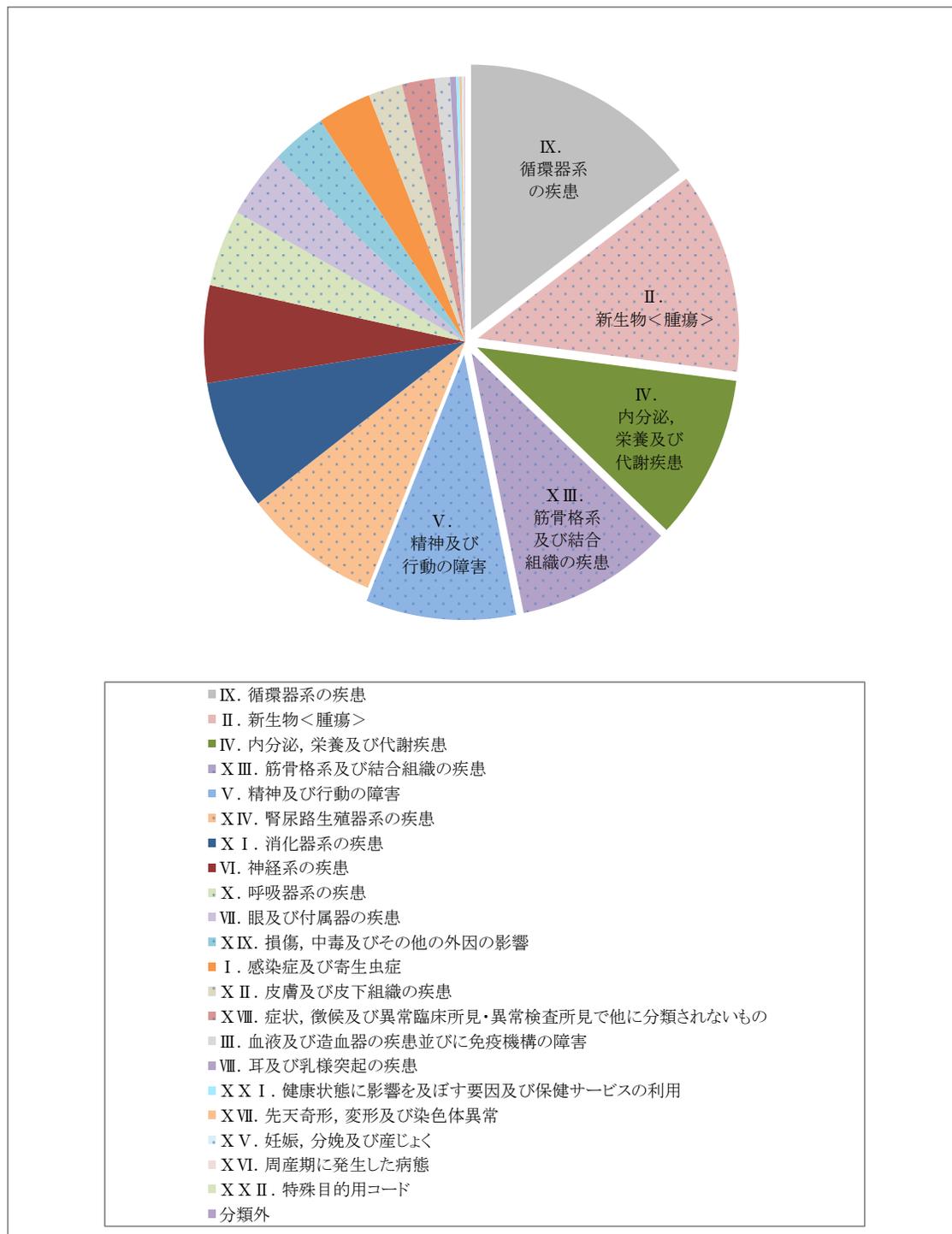
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「精神及び行動の障害」の医療費で高い割合を占める。

### 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。  
 株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	67,143,015	2.4%	12	155,575,309	5.3%	9	92,911,144	3.3%	12
II. 新生物<腫瘍>	300,460,657	10.8%	2	353,161,669	12.0%	2	343,994,200	12.3%	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18,148,040	0.7%	15	22,594,471	0.8%	15	26,442,559	0.9%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	294,854,307	10.6%	4	288,593,174	9.8%	3	281,574,301	10.1%	3
V. 精神及び行動の障害	285,169,217	10.3%	5	286,960,949	9.8%	4	259,485,812	9.3%	5
VI. 神経系の疾患	138,851,986	5.0%	9	178,225,245	6.1%	8	165,915,740	5.9%	8
VII. 眼及び付属器の疾患	127,618,078	4.6%	10	126,665,703	4.3%	11	115,178,277	4.1%	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	10,781,713	0.4%	17	12,492,950	0.4%	17	10,422,465	0.4%	16
IX. 循環器系の疾患	438,593,601	15.8%	1	411,699,450	14.0%	1	411,360,214	14.7%	1
X. 呼吸器系の疾患	158,491,296	5.7%	8	154,521,478	5.3%	10	130,894,262	4.7%	9
X I. 消化器系の疾患 ※	221,918,948	8.0%	6	227,133,545	7.7%	6	221,806,649	7.9%	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	63,980,242	2.3%	13	63,296,718	2.2%	13	58,951,902	2.1%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	295,551,157	10.6%	3	262,894,920	9.0%	5	271,585,570	9.7%	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	210,825,321	7.6%	7	218,678,960	7.4%	7	236,901,070	8.5%	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,920,100	0.1%	19	6,584,071	0.2%	18	2,762,829	0.1%	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,152,473	0.1%	20	810,079	0.0%	21	2,720,704	0.1%	20
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	4,506,400	0.2%	18	4,530,184	0.2%	19	3,898,764	0.1%	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	51,842,260	1.9%	14	59,074,041	2.0%	14	56,390,216	2.0%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	75,482,637	2.7%	11	85,766,453	2.9%	12	96,278,892	3.4%	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	11,876,979	0.4%	16	15,188,370	0.5%	16	5,648,028	0.2%	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	636,545	0.0%	21	1,178,861	0.0%	20	617,952	0.0%	21
合計	2,781,804,970			2,935,626,600			2,795,741,550		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

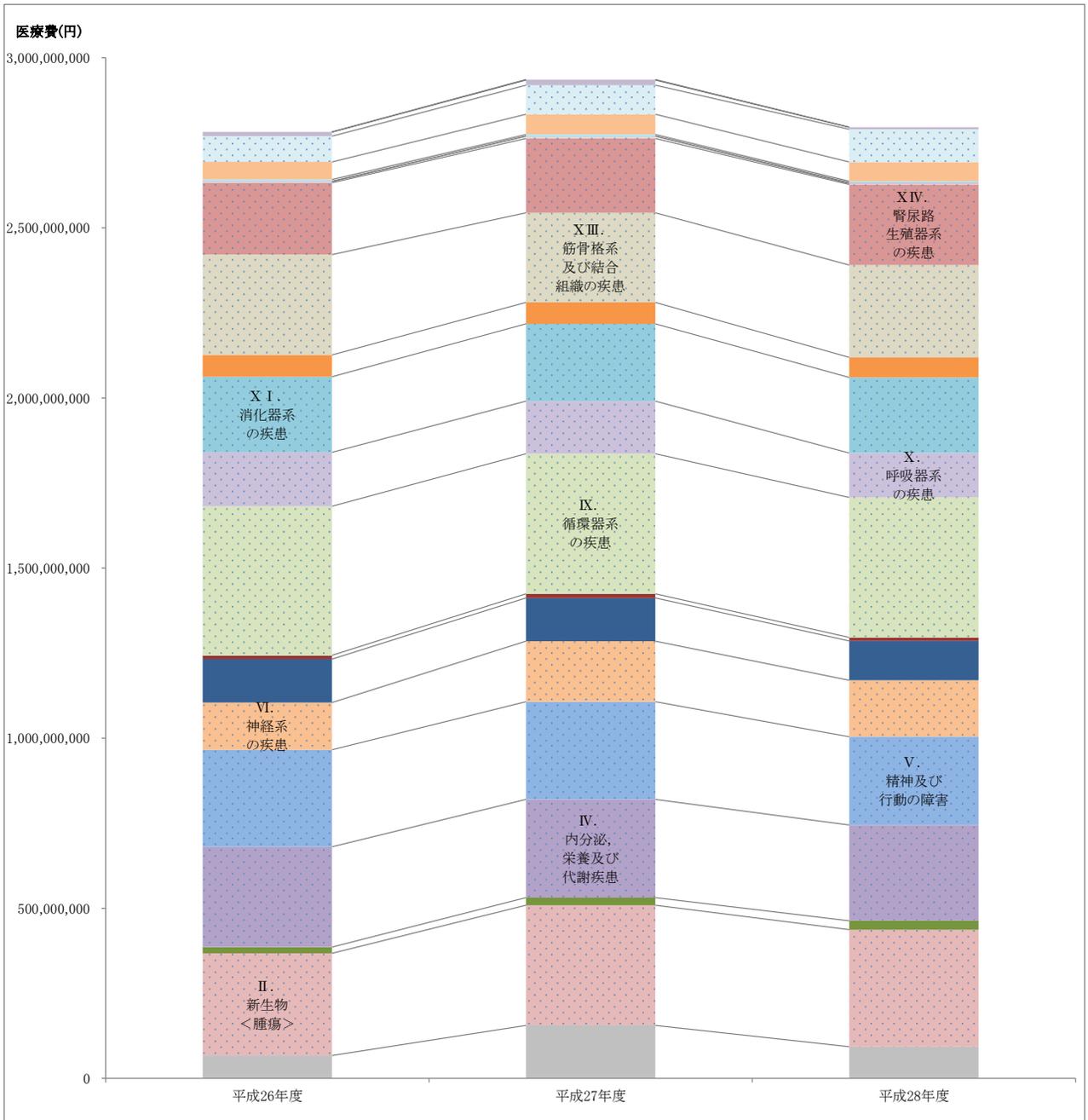
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

# 年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

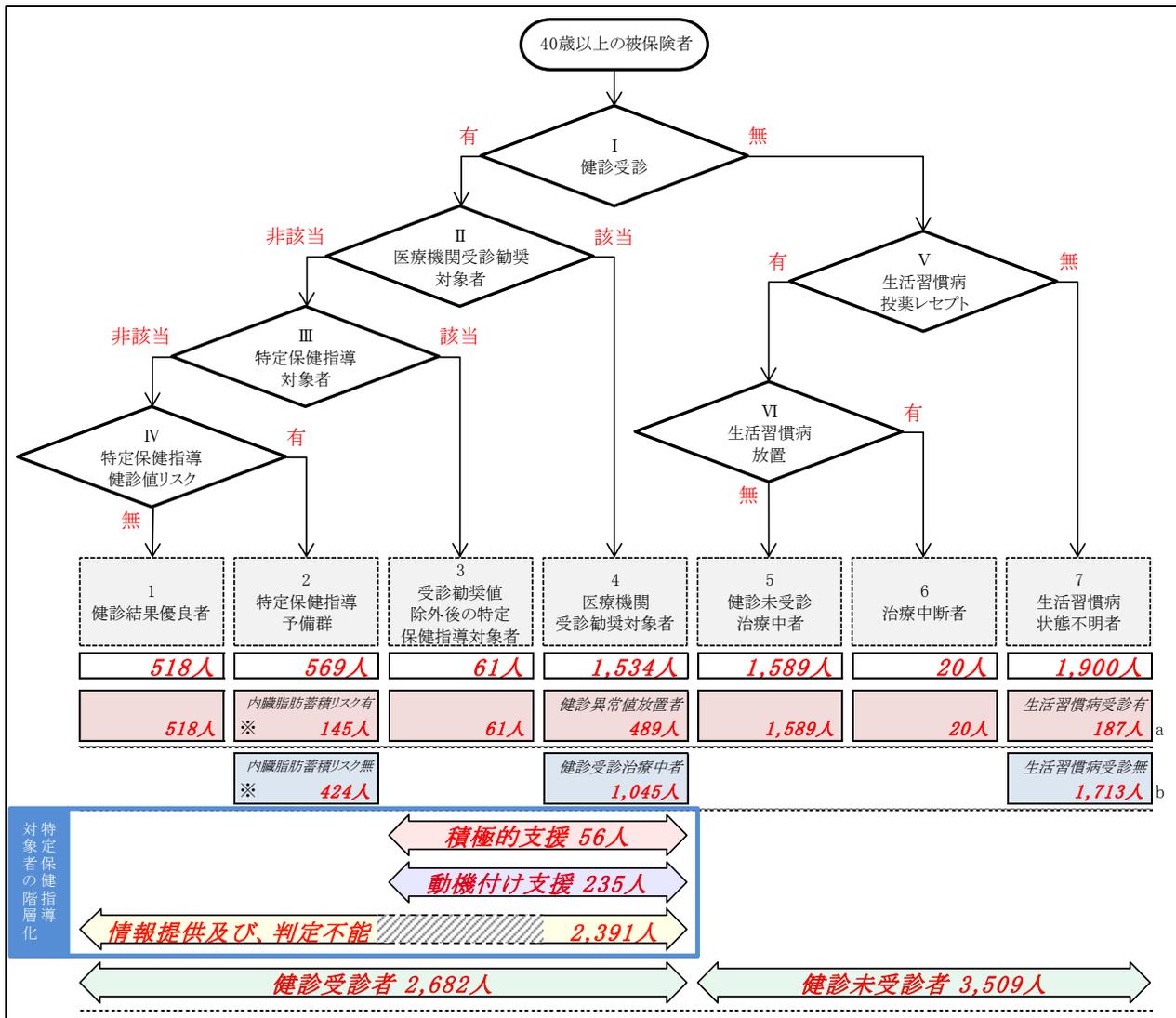
# 4. 保健事業実施に係る分析結果

## (1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
 資格確認日…平成29年3月31日時点。  
 各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。  
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

## (2) 特定健康診査に係る分析

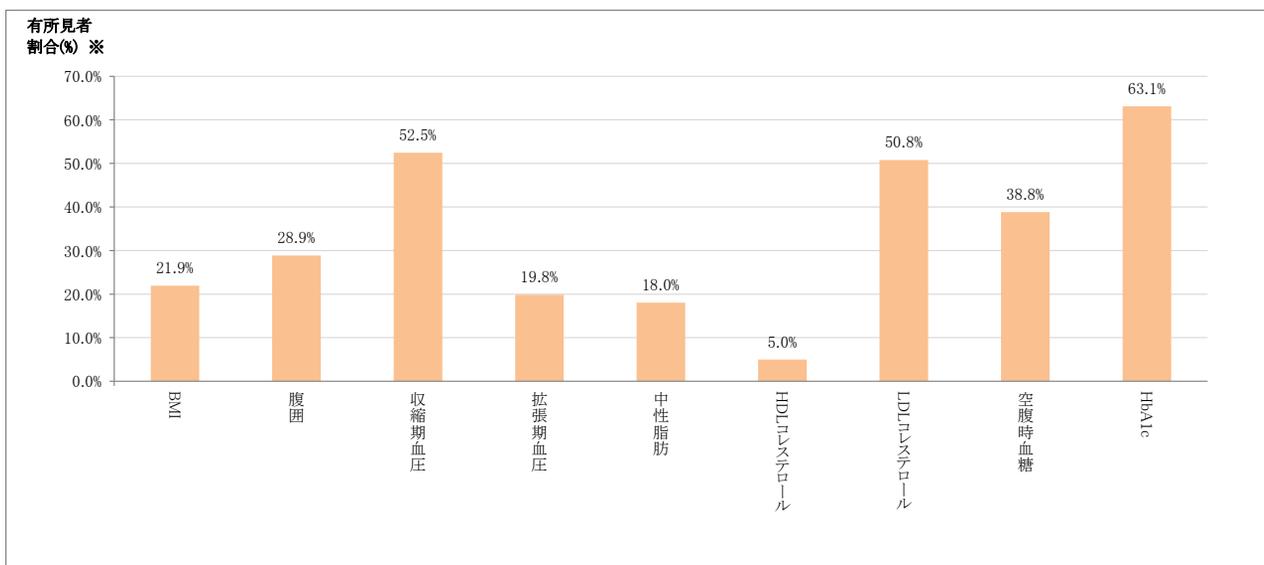
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

### 有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	2,682	2,682	2,682	2,682
有所見者数(人) ※	588	774	1,407	532
有所見者割合(%) ※	21.9%	28.9%	52.5%	19.8%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	2,682	2,682	2,682	2,274	2,610
有所見者数(人) ※	484	134	1,362	883	1,647
有所見者割合(%) ※	18.0%	5.0%	50.8%	38.8%	63.1%

### 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

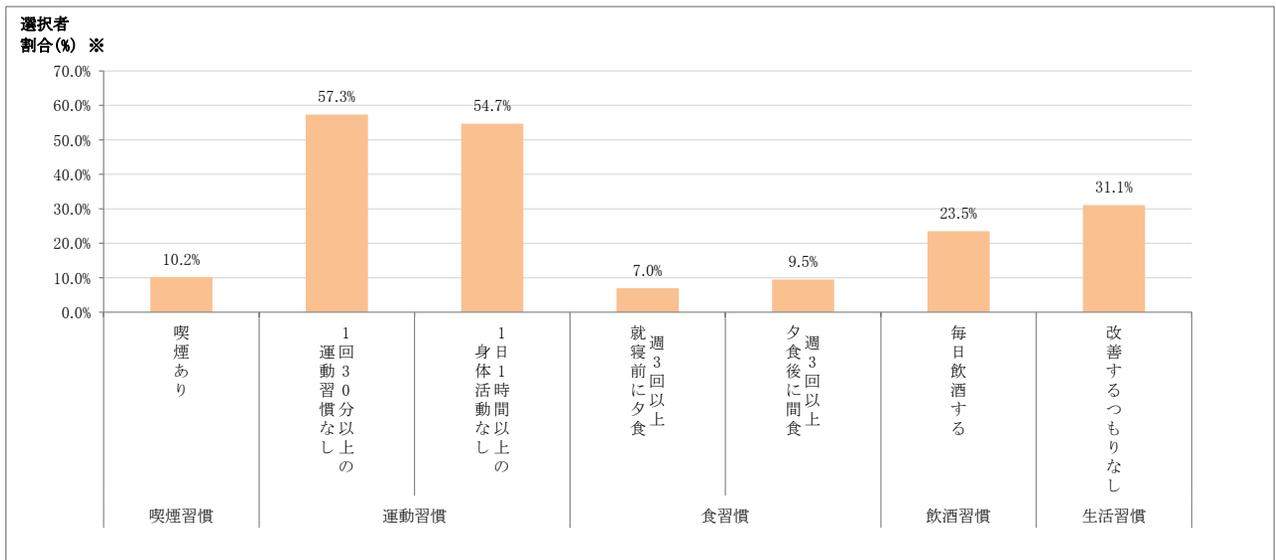
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

## 質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	2,682	1,863	1,863
選択者数(人) ※	274	1,068	1,019
選択者割合(%) ※	10.2%	57.3%	54.7%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	1,863	1,863	2,682	1,863
選択者数(人) ※	130	177	630	579
選択者割合(%) ※	7.0%	9.5%	23.5%	31.1%

## 質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

### 質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

### (3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は291人である。このうち、積極的支援の対象者は56人、動機付け支援の対象者は235人である。

#### 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			291人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	5人	56人 19%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	11人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	1人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	2人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	1人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	10人	
	●		●			血糖+脂質	4人	
	●		●	●		血圧+脂質	15人	
		●		●		血糖+喫煙	0人	
		●		●		血圧+喫煙	3人	
			●	●	因子数1	脂質+喫煙	4人	
				●		血糖	0人	
			●		因子数0	血圧	0人	
			●	脂質		0人		
				喫煙		0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	4人	235人 81%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	18人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	2人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	4人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	8人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	43人	
	●		●			血糖+脂質	5人	
	●		●	●		血圧+脂質	19人	
		●		●		血糖+喫煙	3人	
		●		●		血圧+喫煙	5人	
			●	●	因子数1	脂質+喫煙	3人	
				●		血糖	29人	
			●		因子数0	血圧	71人	
			●	脂質		21人		
				喫煙		0人		
				なし	0人			

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

#### (4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する489人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

#### 条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	489 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

#### 除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定	
	除外理由別人数
除外	がん、難病等
	143 人
↓	
除外患者を除いた候補者数	346 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者346人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

### 優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A  0人	候補者C  3人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B  8人	候補者D  75人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E  34人	候補者F  226人
	喫煙	非喫煙	
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			346人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者33人が対象となる。

### 条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	候補者人数 <b>20 人</b>
	上記以外のグループ	<b>13 人</b>
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		<b>33 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

### 除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
除外	がん、難病等	除外理由別人数 <b>1 人</b>
	除外患者を除き、候補者となった患者数 <b>32 人</b>	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者32人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

### 優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 <b>0人</b>	候補者A2 <b>1人</b>	候補者A3 <b>0人</b>
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 <b>0人</b>	候補者B2 <b>2人</b>	候補者B3 <b>1人</b>
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 <b>4人</b>	候補者C2 <b>16人</b>	候補者C3 <b>8人</b>
		毎月受診	2~3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1~候補者C3の患者数				<b>32人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月~平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、63.9%が生活習慣を起因とするものであり、その58.3%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

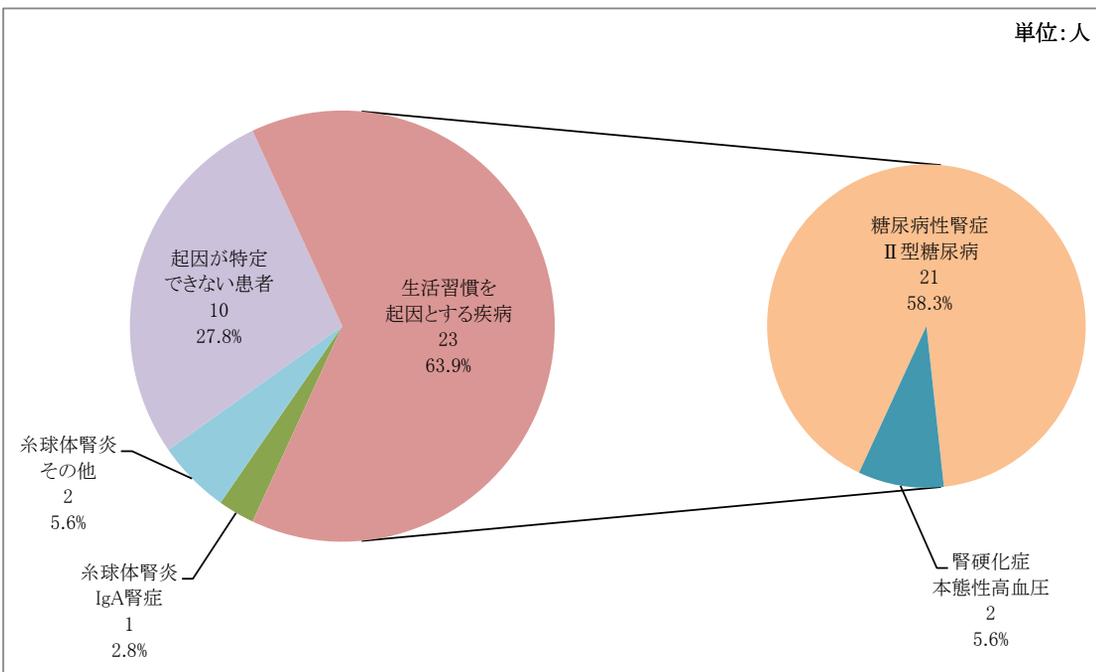
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	34
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	2
透析患者合計	36

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

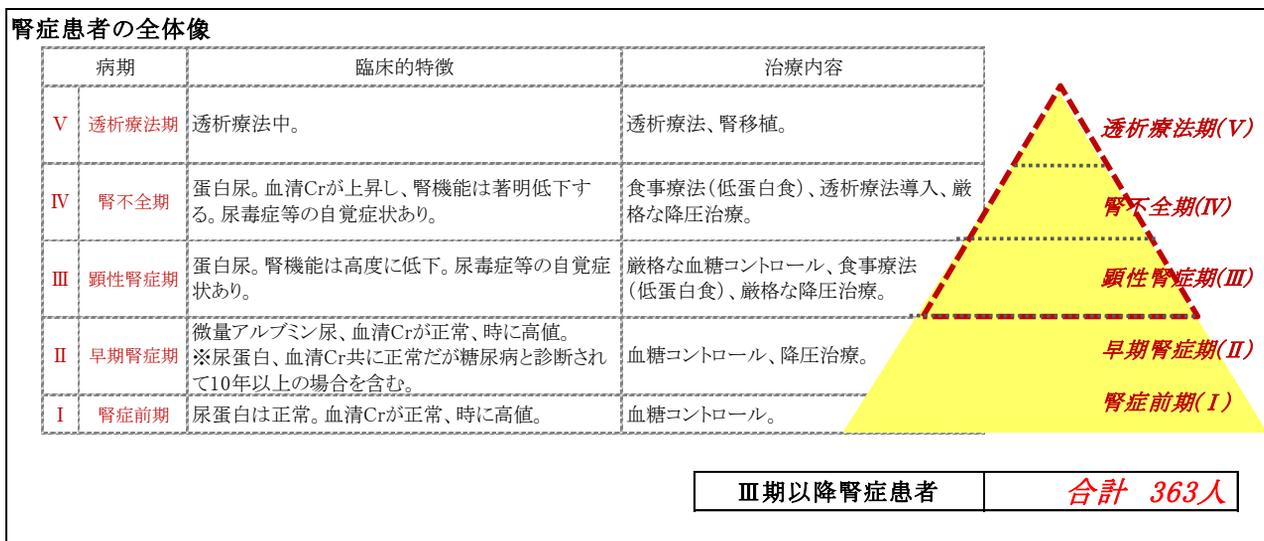
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者363人中104人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

## 腎症患者の全体像



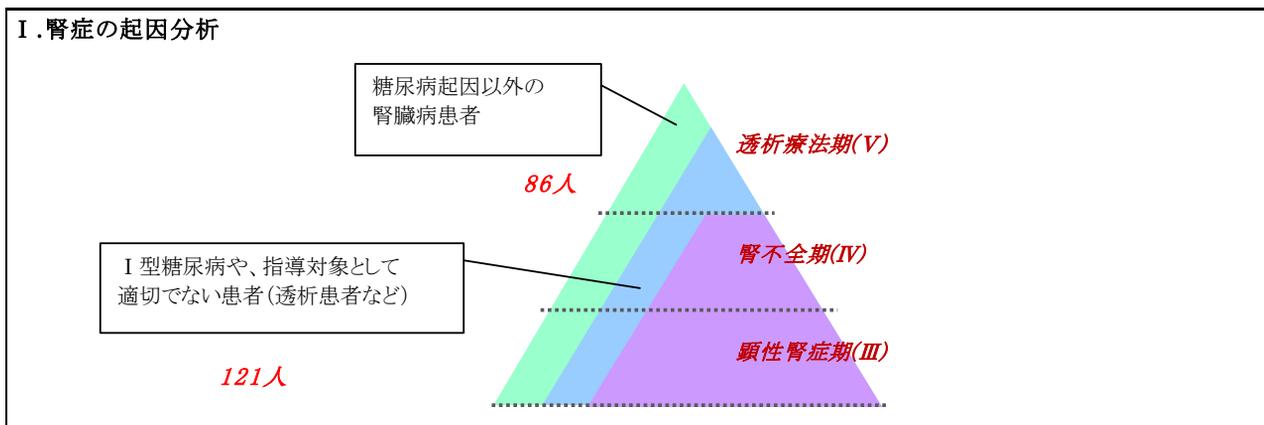
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、86人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、121人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

## 腎症の起因分析



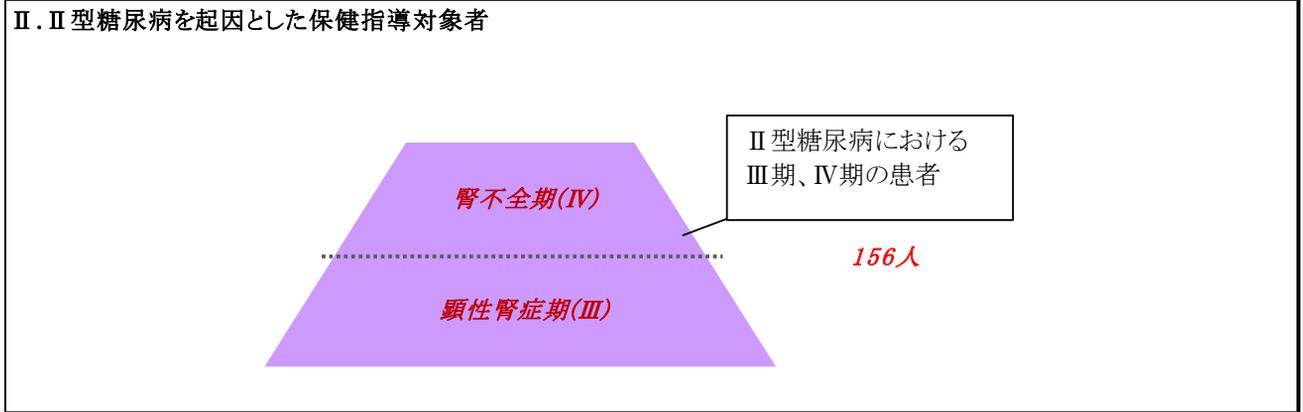
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて156人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

## Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

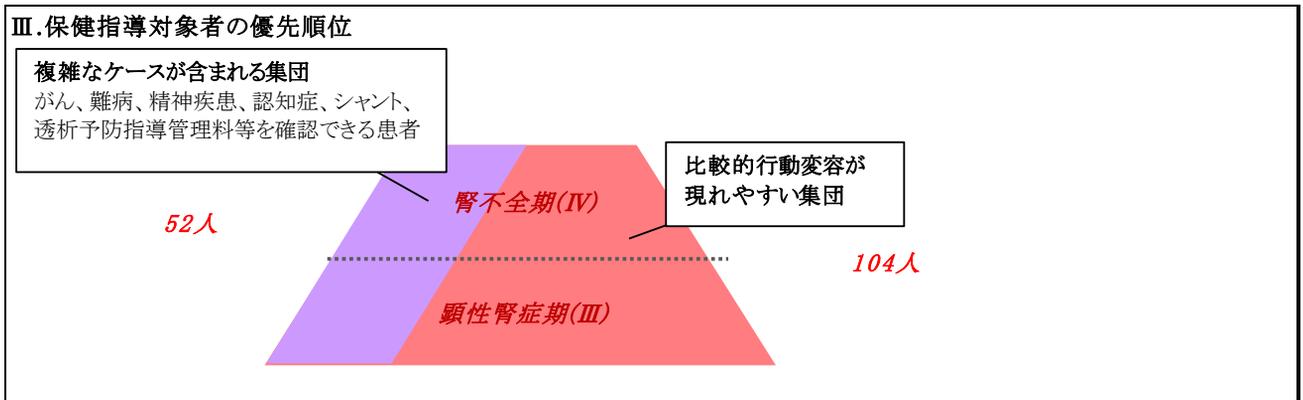


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。156人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、52人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、104人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

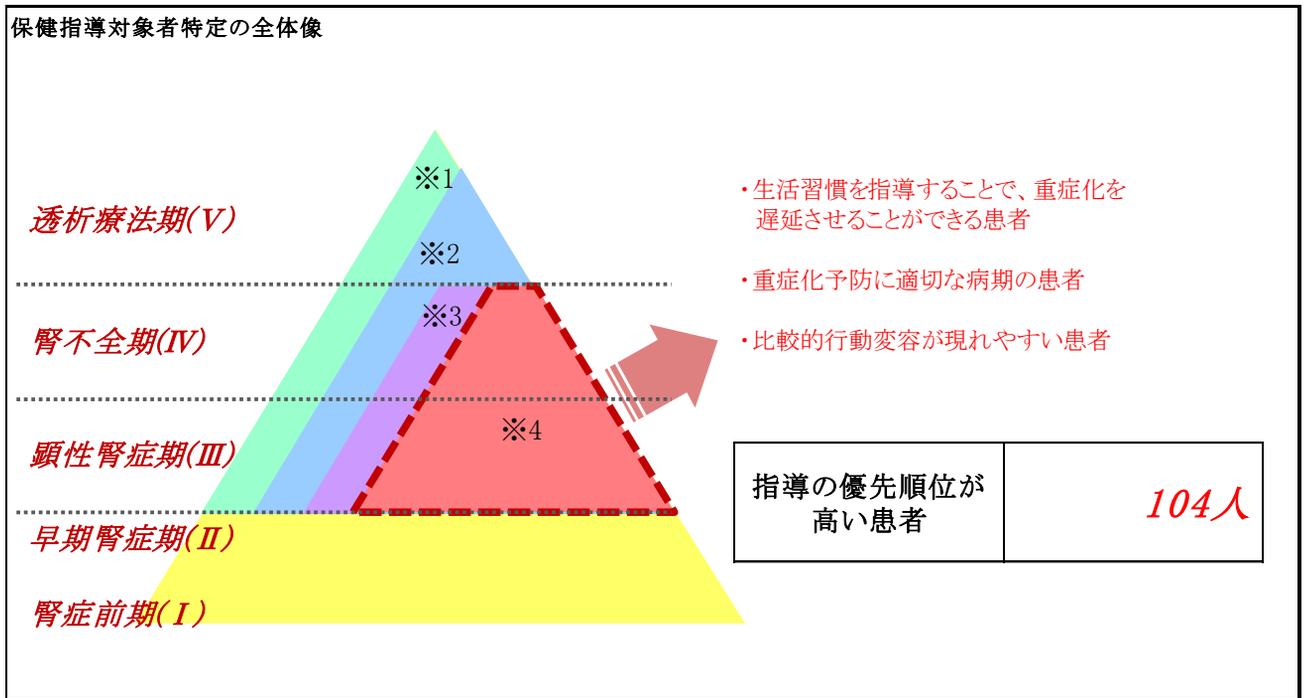
## 保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、104人となった。この分析の全体像を以下に示す。

### 保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

## (7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

### 重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	7	4	10	6	7	6	4	9	8	12	7	6
12カ月間の延べ人数											86	
12カ月間の実人数											59	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

### 頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	56	55	56	58	67	56	63	60	56	45	52	65
12カ月間の延べ人数											689	
12カ月間の実人数											214	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

### 重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	27	25	32	27	31	19	25	25	42	23	19	27
12カ月間の延べ人数											322	
12カ月間の実人数											187	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は59人、頻回受診者は214人、重複服薬者は187人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

### 条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に<b>3医療機関以上</b>受診している患者</li> <li>・頻回受診患者 …1カ月間で<b>同一医療機関に12回以上</b>受診している患者</li> <li>・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、<b>同系医薬品の日数合計が60日を超える</b>患者</li> </ul>	
条件設定により候補者となった患者数	<b>424 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

### 除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	<b>0 人</b>	<b>303 人</b>
除外②	がん、難病等 ※	<b>303 人</b>	
除外患者を除き、候補者となった患者数		<b>121 人</b>	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。  
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者121人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは12人となった。

### 優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑ 高 効果 ↓ 低	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A  5人	候補者C  0人	候補者 と し な い  109人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B  7人	候補者D  0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E  0人	候補者F  0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良                      効率                      悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				12人

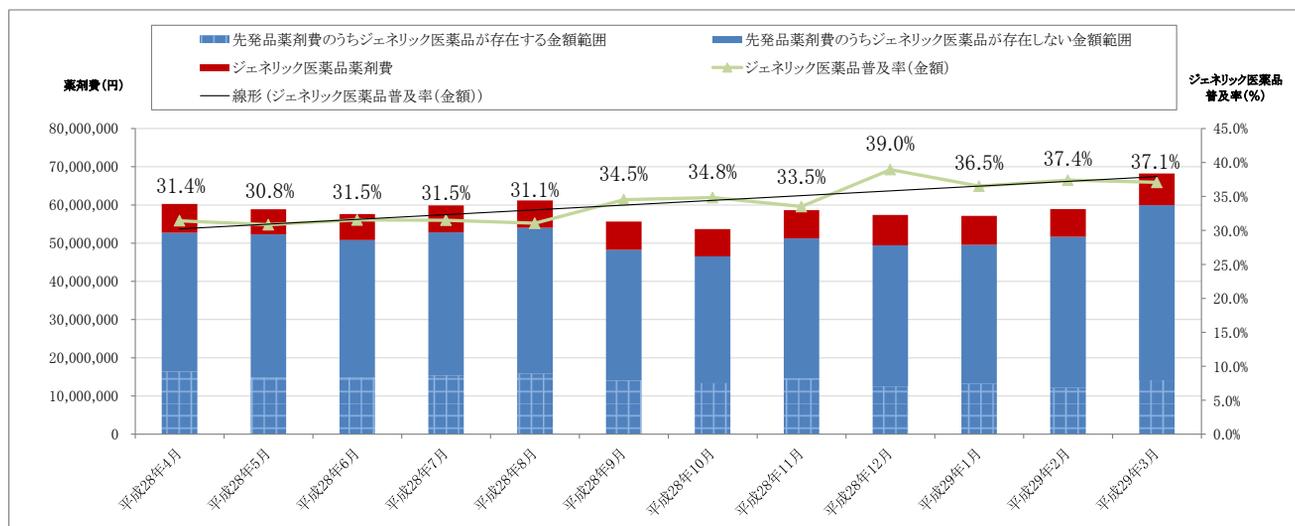
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は34.0%(金額ベース)、63.3%(数量ベース)である。

### ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

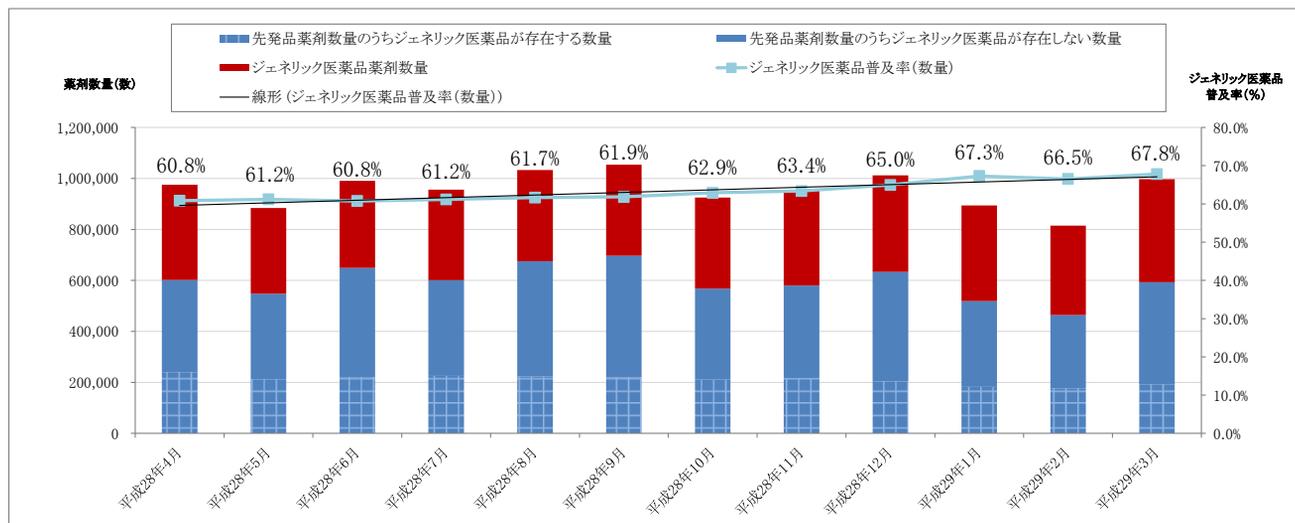


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



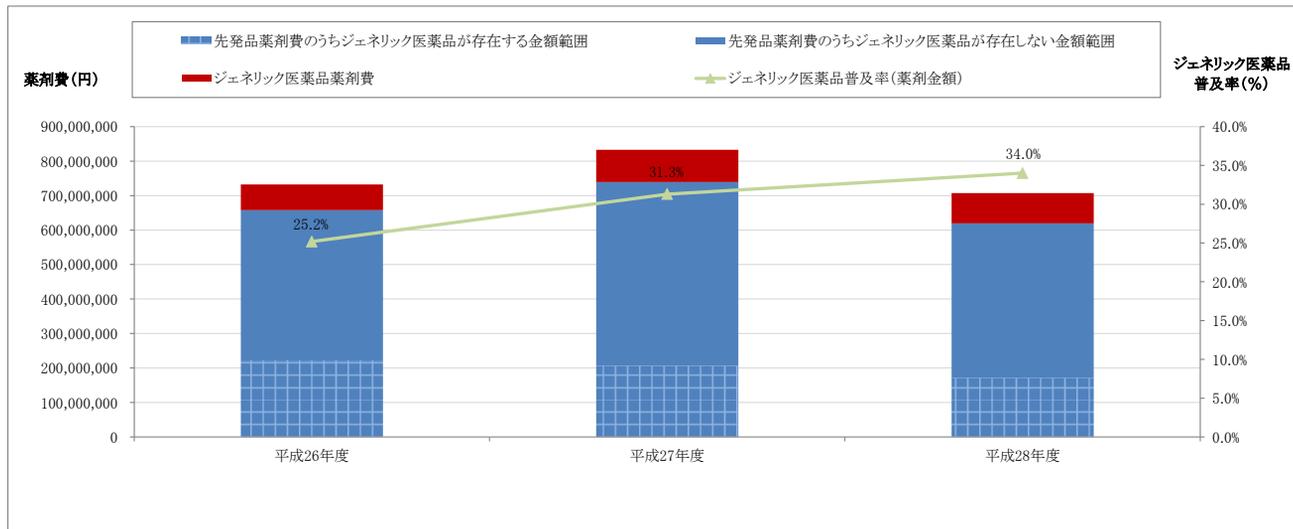
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)34.0%は、平成26年度25.2%より8.8ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)63.3%は、平成26年度51.3%より12.0ポイント上昇している。

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

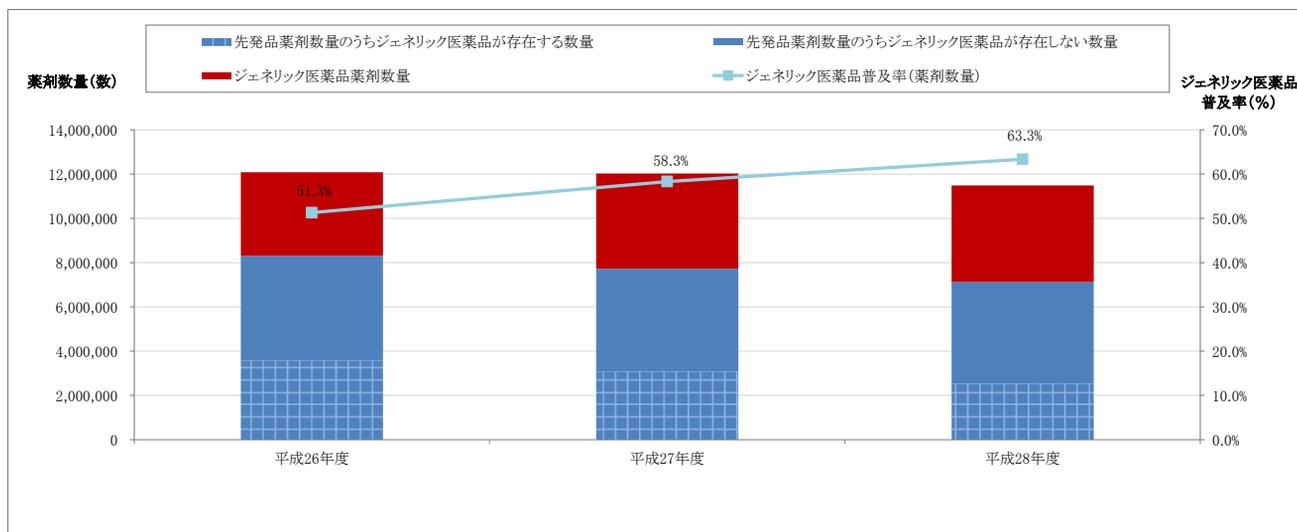


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

## (9) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の対象者延べ人数は321人、実人数は216人である。

### 薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人)※	23	15	17	19	20	19	23	40	46	37	35	27
12カ月間の延べ人数											321	
12カ月間の実人数											216	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

## (10) 服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起りやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起りやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は452人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	1,409	316	362	345	353	860	2,206	2,727	8,578	
薬剤種類数	1種類	16	1	4	2	3	11	34	34	105
	2種類	14	2	4	3	4	16	57	49	149
	3種類	5	1	5	3	8	14	78	77	191
	4種類	7	4	4	4	5	15	54	73	166
	5種類	4	3	6	4	3	8	55	74	157
	6種類	2	1	4	1	6	15	52	58	139
	7種類	2	2	2	1	5	7	31	49	99
	8種類	3	1	1	1	0	3	18	29	56
	9種類	1	1	1	2	1	2	18	24	50
	10種類	2	0	1	1	2	2	10	20	38
	11種類	0	0	0	1	1	2	9	13	26
	12種類	1	1	0	0	1	2	4	6	15
	13種類	0	0	0	0	1	1	4	7	13
	14種類	0	0	0	2	0	0	1	2	5
	15種類	0	0	1	1	0	0	1	3	6
	16種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17種類	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	18種類	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	19種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20種類	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	21種類以上	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	57	17	33	26	40	98	427	522	1,220	



長期多剤服薬者数(人)※	452
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者452人が被保険者全体に占める割合は5.3%、長期服薬者全体に占める割合は37.0%である。

### 長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	1,409	316	362	345	353	860	2,206	2,727	8,578
B	長期服薬者数(人)※	57	17	33	26	40	98	427	522	1,220
C	長期多剤服薬者数(人)※	11	6	10	10	17	34	149	215	452
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	0.8%	1.9%	2.8%	2.9%	4.8%	4.0%	6.8%	7.9%	5.3%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	19.3%	35.3%	30.3%	38.5%	42.5%	34.7%	34.9%	41.2%	37.0%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4カ月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

## 5. 分析結果に基づく健康課題の把握

### (1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

#### 【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	循環器系の疾患	411,360,214円
2位	新生物<腫瘍>	343,994,200円
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	281,574,301円

患者数が多い疾病		患者数
1位	消化器系の疾患	3,852人
2位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,788人
3位	呼吸器系の疾患	3,551人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	275,463円
2位	周産期に発生した病態	209,285円
3位	新生物<腫瘍>	147,700円

#### 【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	腎不全	170,108,050円
2位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	142,729,330円
3位	高血圧性疾患	137,764,547円

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	2,712人
2位	その他の消化器系の疾患	2,464人
3位	糖尿病	2,344人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	腎不全	1,223,799円
2位	白血病	684,414円
3位	くも膜下出血	611,961円

### 【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	904件
高額レセプト件数割合	0.9%
高額レセプト医療費割合	30.6%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	真菌症	15,774,230円
2位	熱傷及び腐食	10,748,220円
3位	その他の循環器系の疾患	6,582,270円

### 【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	489人
----------	------

### 【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	33人
------------	-----

### 【人工透析患者の状況】

人工透析患者	36人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	21人

### 【医療機関受診状況】

重複受診者	59人
頻回受診者	214人
重複服薬者	187人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

**【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】**

ジェネリック医薬品普及率	63.3%
--------------	-------

**【薬剤併用禁忌の発生状況】**

薬剤併用禁忌対象者	216人
-----------	------

**【服薬状況】**

長期多剤服薬者	452人
---------	------

平成26年度から平成28年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

### 【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	循環器系の疾患	438,593,601円
	2位	新生物<腫瘍>	300,460,657円
	3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	295,551,157円
平成27年度	1位	循環器系の疾患	411,699,450円
	2位	新生物<腫瘍>	353,161,669円
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	288,593,174円
平成28年度	1位	循環器系の疾患	411,360,214円
	2位	新生物<腫瘍>	343,994,200円
	3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	281,574,301円

### 【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	172,103,535円
	2位	高血圧性疾患	157,426,676円
	3位	腎不全	149,505,533円
平成27年度	1位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	158,563,763円
	2位	腎不全	154,657,801円
	3位	高血圧性疾患	151,610,648円
平成28年度	1位	腎不全	170,108,050円
	2位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	142,729,330円
	3位	高血圧性疾患	137,764,547円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 26 年度	高額レセプト件数	829件
	高額レセプト件数割合	0.8%
	高額レセプト医療費割合	26.6%
平成 27 年度	高額レセプト件数	966件
	高額レセプト件数割合	0.9%
	高額レセプト医療費割合	30.3%
平成 28 年度	高額レセプト件数	904件
	高額レセプト件数割合	0.9%
	高額レセプト医療費割合	30.6%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの医療費
平成 26 年度	1位	腎不全	6,344,924円
	2位	その他の脊柱障害	5,816,810円
	3位	血管性及び詳細不明の認知症	4,931,440円
平成 27 年度	1位	白血病	12,603,190円
	2位	その他の理由による保健サービスの利用者	6,909,570円
	3位	腎不全	6,059,186円
平成 28 年度	1位	真菌症	15,774,230円
	2位	熱傷及び腐食	10,748,220円
	3位	その他の循環器系の疾患	6,582,270円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	51.3%	58.3%	63.3%

## (2) 分析結果に基づく課題とその対策

### 分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率            疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査の受診勧奨</li> <li>・特定保健指導の実施</li> </ul>
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者            健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診異常値放置者受診勧奨</li> <li>・生活習慣病治療中断者受診勧奨</li> </ul>
<p>◆糖尿病性腎症            人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病性腎症重症化予防</li> </ul>
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率            国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品差額通知</li> </ul>
<p>◆服薬の状況            多数の長期多剤服薬者が存在する。多剤服薬は副作用が起りやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬情報通知</li> </ul>

# 第3章 保健事業実施計画

## 1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

優先順位	事業名	事業目的	事業概要
1	特定健康診査事業	生活習慣病の発症予防・早期発見	<p>【集団健診】※子育て元気課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込み用紙を全戸配布し、扶桑電通なぎさホールをはじめ各地域において全13日間実施。また全日程で、がん検診、骨粗鬆症検診、ABC検診などを同日実施とし、土日開催も行っている。</li> </ul> <p>【個別健診】※市民課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者に受診券を送付し、市内医療機関において実施(9～2月)</li> </ul> <p>【人間ドック】※市民課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込者(定員あり)に受診券を送付し、市内医療機関において実施(9～2月)脳ドック、骨密度健診、前立腺がん検診を同日実施。</li> </ul>
2	特定保健指導事業	生活習慣の改善を促し生活習慣病を予防	<p>【集団健診】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動機付け、積極的支援とともに初回面接時に健診結果の返却や訪問等を取り入れ、保健指導対象者が受けやすい体制を整備している。</li> <li>・健診当日、保健指導対象候補者に対して保健指導を実施し初回面接への意識付けを行う。</li> <li>・意識改善を目的としておなかすっきり教室を実施。</li> </ul> <p>【個別・人間ドック】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動機付け、積極的支援とともに委託実施。健診受診後、結果により、保健指導対象者に約4か月後に利用券を送付している。</li> </ul>

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な受診や若い世代の受診率の向上を目的とし、受診券送付の際に世代に合ったパンフレットや継続受診を促すパンフレットを同封する。</li> <li>・受診しやすい体制整備を目的とし、人間ドックの受診希望者のニーズに沿うような定員の見直しを行う。</li> <li>・未受診者に対し、健診の必要性が認識できるよう受診行動につながる勧奨を実施し、受診率の向上を図る。</li> </ul>	対象者への通知率 100%	対象者への特定健康診査受診率 15%  特定健康診査受診率 60%
<b>【集団健診】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的支援を業者委託実施。</li> <li>・教室を継続的支援の機会となるよう見直す。</li> </ul>	対象者への指導実施率 60%以上	指導完了者の生活習慣改善率 60%  積極的支援及び動機付け支援対象者 25%以上減少
<b>【個別健診・人間ドック】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健指導の基準値に対して医療機関と共通理解を図り、健診結果より医療機関から協力を得て、保健指導の勧奨を促し、意識付けを行う。対象者に対し、電話勧奨等積極的な働きかけを行う。</li> </ul>		

優先順位	事業名	事業目的	事業概要
3	糖尿病、腎症の重症化予防事業	治療必要者の重症化予防	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、専門職より対象者に面談指導を行う。
4	健康診査の充実事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・肺がん検診</li> <li>・胃がん健診</li> <li>・大腸がん検診</li> <li>・前立腺がん検診</li> <li>・子宮がん検診</li> <li>・乳がん検診</li> </ul>	がん死亡率の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肺、胃、大腸、前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診は集団健診の際に同時実施。</li> <li>・子宮、乳がん検診は各医療機関にて実施。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨粗鬆症検診</li> </ul>	骨粗鬆症の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団健診で同時実施。</li> <li>・節目年齢の女性は各医療機関で受診可。</li> </ul>

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
<p>平成30年度～平成35年度</p> <p>・階層化したフローチャートで要医療となっている重症化リストの高い者に対し保健指導を行う。また医療機関との共通理解のもと医療につなげ、以下のとおり重症化予防を行う。</p> <p>①H28健診結果より健診後の状況確認  ・HbA1c6.5以上の医療機関未受診者に対し郵送にて医療機関受診勧奨を行う。受診状況の報告により必要に応じて保健指導を行う。</p> <p>②-1)3疾患治療中でHbA1c7.0以上の者  ・集団健診当日に医療機関受診状況を確認し、治療中断であれば治療再開勧奨・治療中であれば医療機関での管理継続及び保健指導実施。  ・個別健診、人間ドックでは医師より指導実施。未実施の医療機関に関しては、対象者に保健指導の意識付けを行う内容の案内文を送付する。</p> <p>②-2)3疾患治療なしでHbA1c6.5以上の者  ・集団健診当日に医療機関受診勧奨後の状況確認を行い、保健指導実施。  ・個別、人間ドックでは医師の判断により医療機関受診勧奨及び保健指導実施。未実施の医療機関に関しては、対象者に保健指導の意識付けを行う内容の案内文を送付する。</p> <p>③H29健診結果より  ・HbA1c8.0以上の者に対し、健診結果返却と同時に保健指導を実施。</p>	<p>対象者に応じた①～③の取り組みを行う(実施率) 100%</p>	<p>階層化したフォローチャートにおけるHbA1c7.0以上の人数の減少</p>
<p>・子宮がん検診を集団健診においても同時実施し、また個別検診としての受診医療機関の拡大も行う。  ・女性がん検診について節目年齢者へ個別受診勧奨を行う。</p>	<p>受診勧奨実施率 100%</p>	<p>がん検診受診率</p> <p>肺がん30%  胃がん20%  大腸がん25%  前立腺がん25%  子宮がん20%  乳がん25%</p>
<p>・骨粗鬆症検診について節目年齢者へ個別受診勧奨を行う。</p>	<p>受診勧奨実施率 100%</p>	<p>受診率向上</p>

優先順位	事業名	事業目的	事業概要
5	健康づくり事業	健康意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康チェックコーナー実施(骨量測定等)、8020(歯科)表彰(健康フェアにて開催)</li> <li>・市民要望講座</li> <li>・市広報あいおい、ホームページ</li> <li>・健康ポイント制度</li> <li>・いずみ会(食生活改善普及推進委員)と連携</li> </ul>
6	介護予防対策事業	介護予防意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防手帳の配布</li> <li>・いきいき百歳体操(各地域にて自主活動)の普及啓発、支援実施</li> <li>・介護予防推進講座</li> <li>・健康大学講座(医師会と共催で各専門医による)</li> <li>・市民要望講座(保健師、管理栄養士による)</li> <li>・訪問指導(保健師・管理栄養士による)</li> </ul>
7	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品利用促進・自己負担軽減	ジェネリック医薬品に切替えた場合の自己負担軽減額を年3回通知

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちょっと実行、ずっと健康」をキャッチフレーズに、気軽に参加できるようポイントカードの様式を変更する。</li> <li>・健康ポイント制度について、新たに乳幼児健診や子育て広場など普及啓発の機会を捉えて若い世代への参加勧奨する。</li> </ul>	健康ポイントカードの配布 全戸配布	健康ポイント制度応募者数 前年度実績以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき百歳体操の活動グループ数は順調に増えているが未実施の地域もあるため、多くの市民が身近な場所で参加できる環境となるよう情報発信や周知啓発を検討する。</li> <li>・介護予防推進講座の新たな参加者の発掘のため周知方法の検討。また講座受講後の地域活動について少しでもつながっていくよう内容を充実させる。</li> </ul>	事業参加者数	いきいき百歳体操活動グループ数 60グループ
ジェネリック医薬品に切替えた場合の自己負担軽減額を年3回通知	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%

優先順位	事業名	事業目的	事業概要
8	健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置している 対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
9	生活習慣病治療 中断者受診勧奨事業	生活習慣病治療中断者の減少	かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後、定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
10	服薬情報通知事業	服薬の適正化	レセプトデータから、長期多剤服薬者を特定し通知書を送付する。また、通知後のレセプトデータから効果を確認する。
11	医療費適正化対策事業	医療費通知の充実	医療機関受診者に対して、年6回通知

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	健診異常値放置者 24.9%減少
生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	生活習慣病治療中断者 12.5%減少
対象者を特定し、服薬情報通知書を発送する。通知後に対象者の服薬状況が適正となっているかを確認する。	対象者の通知率 100%	長期多剤服薬者割合 10%減少
医療機関受診者に対して、年6回通知	医療費通知実施率 100%	医療費通知実施率 100%

## 2. 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

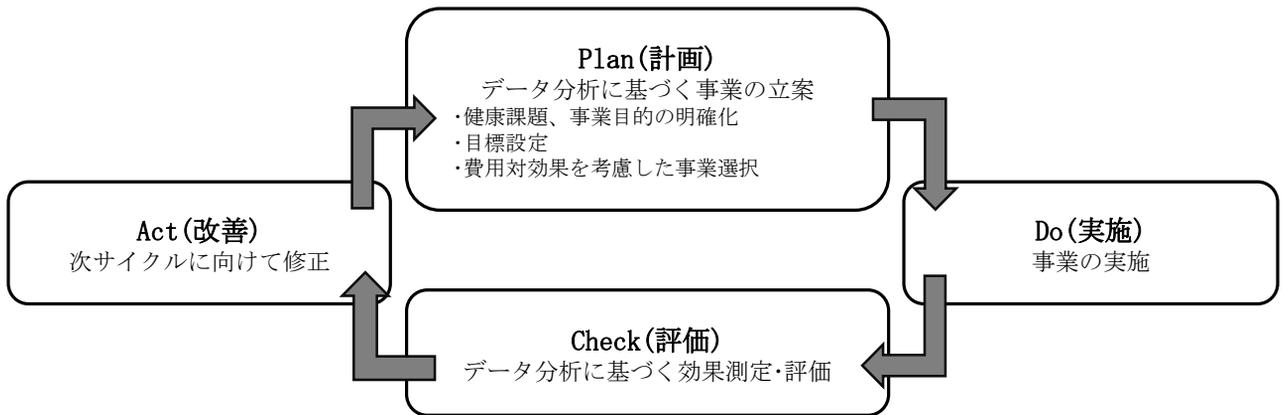
事業名	第1期			第2期					
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
特定保健指導事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
糖尿病、腎症の重症化予防事業			実施	P	D	CA	P	D	CA
健康診査の充実事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
健康づくり事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
介護予防対策事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
ジェネリック 医薬品差額通知事業	実施			P	D	CA	P	D	CA
健診異常値放置者 受診勧奨事業					P	D	CA	P	D
生活習慣病治療中断者 受診勧奨事業					P	D	CA	P	D
服薬情報通知事業				P	D	CA	P	D	CA
医療費適正化対策事業	実施			P	D	CA	P	D	CA

## 1. データヘルス計画の見直し

### (1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

### (2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

## 2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

### 3. 個人情報の取り扱い

---

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

### 4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

---

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

# 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「腎不全」「その他の心疾患」である。

## 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膝頭部癌	40	80,069,950	42,192,070	122,262,020	3,056,551
2	1402	腎不全	慢性腎不全, 腎性貧血, 末期腎不全	26	60,537,610	103,638,920	164,176,530	6,314,482
3	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 非弁膜症性心房細動	24	55,912,750	10,083,070	65,995,820	2,749,826
4	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 足関節骨折	23	48,282,550	5,552,330	53,834,880	2,340,647
5	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 肩関節拘縮, 反復性肩関節脱臼	18	35,880,150	7,223,440	43,103,590	2,394,644
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺癌	17	33,107,130	32,284,630	65,391,760	3,846,574
6	1113	その他の消化器系の疾患	便秘症, 鼠径ヘルニア, 小腸大腸クローン病	17	20,606,910	9,249,020	29,855,930	1,756,231
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	加齢黄斑変性, 黄斑円孔, 網膜前膜	15	10,489,540	9,655,820	20,145,360	1,343,024
8	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞, 脳梗塞, 小脳梗塞	15	39,616,840	4,926,830	44,543,670	2,969,578
10	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石, 胆のう結石症, 胆のう炎	14	13,173,670	4,455,000	17,628,670	1,259,191
11	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌, S状結腸癌, 盲腸癌	13	13,136,490	20,159,890	33,296,380	2,561,260
12	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	髄膜腫, 骨髄異形成症候群, 後縦隔腫瘍	12	21,562,790	4,323,860	25,886,650	2,157,221
13	0601	パーキンソン病	パーキンソン病, パーキンソン病Yahr4, パーキンソン病Yahr3	11	33,176,310	6,804,830	39,981,140	3,634,649
13	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症	11	17,938,490	3,912,820	21,851,310	1,986,483
13	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頰椎症性脊髄症, 変形性腰椎症	11	23,411,850	4,207,820	27,619,670	2,510,879
16	0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	帯状疱疹, ヘルペス脳炎	10	9,219,050	1,130,460	10,349,510	1,034,951
16	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房下内側部乳癌, 乳房上外側部乳癌	10	7,639,790	12,390,640	20,030,430	2,003,043
16	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 狭心症	10	16,665,160	3,702,570	20,367,730	2,036,773
16	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	運動器不安定症, 意識障害, 頻脈性不整脈	10	22,809,380	3,259,460	26,068,840	2,606,884
20	1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症, 脊椎骨粗鬆症, 大腿骨偽関節	9	18,151,870	4,126,640	22,278,510	2,475,390

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 転移性骨腫瘍	29	2,702,598
	2	0902 虚血性心疾患	狭心症, 労作性狭心症, 急性前壁心筋梗塞	20	2,219,831
	3	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	19	6,344,924
	4	0906 脳梗塞	脳梗塞, 脳梗塞後遺症, 出血性脳梗塞	18	2,889,756
	5	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌, 胃体部癌, 胃前庭部癌	16	2,521,778
	5	0704 その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 加齢黄斑変性, 黄斑円孔	16	1,291,328
	5	1113 その他の消化器系の疾患	便秘症, 単径ヘルニア, S状結腸穿孔	16	1,149,776
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膝頭部癌, 転移性脳腫瘍	39	2,908,551
	2	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 心房細動, 発作性心房細動	26	2,842,077
	3	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 腎性貧血	21	6,059,186
	3	1901 骨折	骨折, 鎖骨骨折, 腰椎圧迫骨折	21	1,890,426
	5	1113 その他の消化器系の疾患	閉塞性黄疸, イレウス, 逆流性食道炎	20	2,102,527
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 膝頭部癌	40	3,056,551
	2	1402 腎不全	慢性腎不全, 腎性貧血, 末期腎不全	26	6,314,482
	3	0903 その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 非弁膜症性心房細動	24	2,749,826
	4	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折, 足関節骨折	23	2,340,647
	5	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 肩関節拘縮, 反復性肩関節脱臼	18	2,394,644

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

# 中分類による疾病別統計

## 中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	170,108,050	6.1%	139
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	142,729,330	5.1%	237
3	0901 高血圧性疾患	137,764,547	4.9%	2,712
4	0402 糖尿病	135,638,876	4.9%	2,344
5	1113 その他の消化器系の疾患	126,888,607	4.5%	2,464
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	123,732,325	4.4%	1,073
7	0903 その他の心疾患	103,609,128	3.7%	1,331
8	0403 脂質異常症	93,060,355	3.3%	2,224
9	0606 その他の神経系の疾患	70,028,227	2.5%	1,664
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	67,115,934	2.4%	2,071

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	137,764,547	2,712	38.0%
2	1113 その他の消化器系の疾患	126,888,607	2,464	34.5%
3	0402 糖尿病	135,638,876	2,344	32.8%
4	0403 脂質異常症	93,060,355	2,224	31.2%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	56,390,216	2,114	29.6%
6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	67,115,934	2,071	29.0%
7	0703 屈折及び調節の障害	8,850,640	2,070	29.0%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	28,450,047	2,035	28.5%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	30,047,001	1,727	24.2%
10	1003 その他の急性上気道感染症	12,912,848	1,666	23.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	1402 腎不全	170,108,050	139	1,223,799
2	0209 白血病	15,057,104	22	684,414
3	0904 くも膜下出血	9,791,382	16	611,961
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	142,729,330	237	602,233
5	0601 パーキンソン病	34,623,534	62	558,444
6	0501 血管性及び詳細不明の認知症	16,302,450	35	465,784
7	1502 妊娠高血圧症候群	413,090	1	413,090
8	0602 アルツハイマー病	21,239,680	63	337,138
9	1903 熱傷及び腐食	7,975,103	36	221,531
10	1602 その他の周産期に発生した病態	1,936,028	9	215,114

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	172,103,535	6.2%	252
	2	0901 高血圧性疾患	157,426,676	5.7%	2,857
	3	1402 腎不全	149,505,533	5.4%	131
	4	0402 糖尿病	149,383,087	5.4%	2,404
	5	1113 その他の消化器系の疾患	122,481,896	4.4%	2,462
	6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	104,270,793	3.7%	1,093
	7	0403 脂質異常症	103,317,656	3.7%	2,291
	8	0903 その他の心疾患	86,756,212	3.1%	1,338
	9	0902 虚血性心疾患	69,311,900	2.5%	785
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	65,829,599	2.4%	2,183
平成27年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	158,563,763	5.4%	242
	2	1402 腎不全	154,657,801	5.3%	152
	3	0901 高血圧性疾患	151,610,648	5.2%	2,826
	4	0402 糖尿病	138,355,244	4.7%	2,383
	5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	133,112,123	4.5%	1,093
	6	1113 その他の消化器系の疾患	128,934,139	4.4%	2,513
	7	0903 その他の心疾患	104,424,656	3.6%	1,350
	8	0403 脂質異常症	102,152,891	3.5%	2,301
	9	0105 ウイルス性肝炎	90,613,308	3.1%	393
	10	0606 その他の神経系の疾患	74,674,331	2.5%	1,674
平成28年度	1	1402 腎不全	170,108,050	6.1%	139
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	142,729,330	5.1%	237
	3	0901 高血圧性疾患	137,764,547	4.9%	2,712
	4	0402 糖尿病	135,638,876	4.9%	2,344
	5	1113 その他の消化器系の疾患	126,888,607	4.5%	2,464
	6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	123,732,325	4.4%	1,073
	7	0903 その他の心疾患	103,609,128	3.7%	1,331
	8	0403 脂質異常症	93,060,355	3.3%	2,224
	9	0606 その他の神経系の疾患	70,028,227	2.5%	1,664
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	67,115,934	2.4%	2,071

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	157,426,676	2,857	38.2%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	122,481,896	2,462	32.9%
	3	0402 糖尿病	149,383,087	2,404	32.2%
	4	0403 脂質異常症	103,317,656	2,291	30.7%
	5	0704 その他の眼及び付属器の疾患	65,829,599	2,183	29.2%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	51,842,260	2,159	28.9%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	31,576,698	2,106	28.2%
	8	0703 屈折及び調節の障害	12,619,865	2,081	27.9%
	9	1003 その他の急性上気道感染症	13,986,927	1,769	23.7%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	32,894,288	1,739	23.3%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	151,610,648	2,826	38.0%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	128,934,139	2,513	33.8%
	3	0402 糖尿病	138,355,244	2,383	32.0%
	4	0704 その他の眼及び付属器の疾患	68,758,500	2,313	31.1%
	5	0403 脂質異常症	102,152,891	2,301	30.9%
	6	0703 屈折及び調節の障害	11,436,258	2,223	29.9%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	34,315,601	2,188	29.4%
	8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	59,074,041	2,172	29.2%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	33,965,793	1,720	23.1%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	13,326,067	1,715	23.0%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	137,764,547	2,712	38.0%
	2	1113 その他の消化器系の疾患	126,888,607	2,464	34.5%
	3	0402 糖尿病	135,638,876	2,344	32.8%
	4	0403 脂質異常症	93,060,355	2,224	31.2%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	56,390,216	2,114	29.6%
	6	0704 その他の眼及び付属器の疾患	67,115,934	2,071	29.0%
	7	0703 屈折及び調節の障害	8,850,640	2,070	29.0%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	28,450,047	2,035	28.5%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	30,047,001	1,727	24.2%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	12,912,848	1,666	23.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	1402 腎不全	149,505,533	131	1,141,264
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	172,103,535	252	682,951
	3	0601 パーキンソン病	23,424,694	58	403,874
	4	0501 血管性及び詳細不明の認知症	12,814,055	36	355,946
	5	0208 悪性リンパ腫	15,115,177	46	328,591
	6	0209 白血病	3,374,857	12	281,238
	7	0904 くも膜下出血	7,032,086	27	260,448
	8	0602 アルツハイマー病	17,036,539	70	243,379
	9	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	8,768,777	42	208,780
	10	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	11,497,740	58	198,237
平成27年度	1	1402 腎不全	154,657,801	152	1,017,486
	2	0501 血管性及び詳細不明の認知症	21,534,974	28	769,106
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	158,563,763	242	655,222
	4	0601 パーキンソン病	36,542,524	65	562,193
	5	0209 白血病	5,275,767	12	439,647
	6	0602 アルツハイマー病	18,428,136	66	279,214
	7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	17,492,797	73	239,627
	8	0105 ウイルス性肝炎	90,613,308	393	230,568
	9	0208 悪性リンパ腫	11,933,835	54	220,997
	10	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	16,868,216	77	219,068
平成28年度	1	1402 腎不全	170,108,050	139	1,223,799
	2	0209 白血病	15,057,104	22	684,414
	3	0904 くも膜下出血	9,791,382	16	611,961
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	142,729,330	237	602,233
	5	0601 パーキンソン病	34,623,534	62	558,444
	6	0501 血管性及び詳細不明の認知症	16,302,450	35	465,784
	7	1502 妊娠高血圧症候群	413,090	1	413,090
	8	0602 アルツハイマー病	21,239,680	63	337,138
	9	1903 熱傷及び腐食	7,975,103	36	221,531
	10	1602 その他の周産期に発生した病態	1,936,028	9	215,114

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,795,741,550	100,569	7,139

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>	92,911,144	3.3%		8,367	8.3%		2,304	32.3%		40,326	
0101 腸管感染症	5,567,964	0.2%	78	1,621	1.6%	51	677	9.5%	35	8,224	108
0102 結核	1,260,920	0.0%	100	188	0.2%	102	87	1.2%	90	14,493	89
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	779,744	0.0%	111	251	0.2%	95	172	2.4%	76	4,533	118
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	18,954,647	0.7%	42	1,308	1.3%	60	424	5.9%	48	44,704	48
0105 ウイルス性肝炎	35,441,962	1.3%	22	1,611	1.6%	52	401	5.6%	49	88,384	26
0106 その他のウイルス性疾患	2,979,142	0.1%	91	179	0.2%	104	93	1.3%	89	32,034	62
0107 真菌症	16,370,422	0.6%	44	2,438	2.4%	42	663	9.3%	38	24,691	73
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	81,217	0.0%	115	27	0.0%	113	8	0.1%	115	10,152	98
0109 その他の感染症及び寄生虫症	11,475,126	0.4%	61	1,870	1.9%	46	654	9.2%	39	17,546	83
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>	343,994,200	12.3%		8,076	8.0%		2,329	32.6%		147,700	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	30,746,554	1.1%	28	1,505	1.5%	54	670	9.4%	36	45,890	46
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	33,995,864	1.2%	24	1,384	1.4%	57	631	8.8%	41	53,876	40
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	11,493,386	0.4%	60	262	0.3%	94	72	1.0%	91	159,630	14
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	8,876,047	0.3%	66	597	0.6%	76	190	2.7%	74	46,716	44
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	53,403,164	1.9%	13	889	0.9%	66	378	5.3%	53	141,278	17
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	28,722,905	1.0%	33	679	0.7%	73	158	2.2%	78	181,791	11
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	3,678,921	0.1%	85	264	0.3%	93	126	1.8%	82	29,198	66
0208 悪性リンパ腫	4,206,144	0.2%	83	162	0.2%	106	43	0.6%	104	97,817	25
0209 白血病	15,057,104	0.5%	50	82	0.1%	109	22	0.3%	110	684,414	2
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	123,732,325	4.4%	6	3,326	3.3%	32	1,073	15.0%	20	115,314	20
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	30,081,786	1.1%	30	1,648	1.6%	50	730	10.2%	31	41,208	53
<b>III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>	26,442,559	0.9%		2,269	2.3%		570	8.0%		46,390	
0301 貧血	11,427,633	0.4%	62	1,602	1.6%	53	352	4.9%	55	32,465	59
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	15,014,926	0.5%	51	773	0.8%	70	278	3.9%	61	54,011	38
<b>IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	281,574,301	10.1%		36,199	36.0%		3,788	53.1%		74,333	
0401 甲状腺障害	11,866,955	0.4%	57	2,650	2.6%	40	732	10.3%	29	16,212	86
0402 糖尿病	135,638,876	4.9%	4	15,719	15.6%	4	2,344	32.8%	3	57,866	35
0403 脂質異常症	93,060,355	3.3%	8	24,858	24.7%	2	2,224	31.2%	4	41,844	52
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	41,008,115	1.5%	20	6,277	6.2%	13	1,051	14.7%	21	39,018	55
<b>V. 精神及び行動の障害</b>	259,485,812	9.3%		10,912	10.9%		942	13.2%		275,463	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	16,302,450	0.6%	45	224	0.2%	97	35	0.5%	107	465,784	6
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	7,508,349	0.3%	72	274	0.3%	91	46	0.6%	102	163,225	13
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	142,729,330	5.1%	2	4,000	4.0%	27	237	3.3%	64	602,233	4

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,795,741,550	100,569	7,139

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当りの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	49,801,886	1.8%	18	4,871	4.8%	21	366	5.1%	54	136,071	19
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	11,822,505	0.4%	58	3,660	3.6%	30	396	5.5%	50	29,855	64
0506	知的障害<精神遅滞>	5,417,421	0.2%	80	179	0.2%	104	37	0.5%	105	146,417	16
0507	その他の精神及び行動の障害	25,903,871	0.9%	37	1,057	1.1%	62	154	2.2%	80	168,207	12
VI. 神経系の疾患		165,915,740	5.9%		18,161	18.1%		1,871	26.2%		88,678	
0601	パーキンソン病	34,623,534	1.2%	23	571	0.6%	77	62	0.9%	97	558,444	5
0602	アルツハイマー病	21,239,680	0.8%	40	564	0.6%	78	63	0.9%	95	337,138	8
0603	てんかん	29,570,170	1.1%	32	2,664	2.6%	39	216	3.0%	68	136,899	18
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	10,008,642	0.4%	64	389	0.4%	83	63	0.9%	95	158,867	15
0605	自律神経系の障害	445,487	0.0%	113	334	0.3%	86	46	0.6%	102	9,685	100
0606	その他の神経系の疾患	70,028,227	2.5%	9	15,242	15.2%	5	1,664	23.3%	11	42,084	51
VII. 眼及び付属器の疾患		115,178,277	4.1%		9,716	9.7%		2,638	37.0%		43,661	
0701	結膜炎	8,536,586	0.3%	69	3,868	3.8%	28	1,268	17.8%	14	6,732	112
0702	白内障	30,675,117	1.1%	29	4,693	4.7%	23	1,313	18.4%	13	23,363	75
0703	屈折及び調節の障害	8,850,640	0.3%	67	7,102	7.1%	10	2,070	29.0%	7	4,276	120
0704	その他の眼及び付属器の疾患	67,115,934	2.4%	10	7,666	7.6%	8	2,071	29.0%	6	32,408	60
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		10,422,465	0.4%		2,080	2.1%		686	9.6%		15,193	
0801	外耳炎	1,248,207	0.0%	101	554	0.6%	79	216	3.0%	68	5,779	113
0802	その他の外耳疾患	901,702	0.0%	108	386	0.4%	84	211	3.0%	71	4,273	121
0803	中耳炎	3,245,576	0.1%	90	684	0.7%	72	179	2.5%	75	18,132	80
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	1,103,970	0.0%	104	221	0.2%	98	71	1.0%	93	15,549	87
0805	メニエール病	1,162,133	0.0%	103	232	0.2%	96	53	0.7%	100	21,927	77
0806	その他の内耳疾患	865,820	0.0%	109	182	0.2%	103	65	0.9%	94	13,320	93
0807	その他の耳疾患	1,895,057	0.1%	96	524	0.5%	81	234	3.3%	65	8,099	109
IX. 循環器系の疾患		411,360,214	14.7%		37,825	37.6%		3,545	49.7%		116,040	
0901	高血圧性疾患	137,764,547	4.9%	3	32,083	31.9%	1	2,712	38.0%	1	50,798	43
0902	虚血性心疾患	47,165,375	1.7%	19	5,932	5.9%	15	733	10.3%	28	64,346	32
0903	その他の心疾患	103,609,128	3.7%	7	7,389	7.3%	9	1,331	18.6%	12	77,843	29
0904	くも膜下出血	9,791,382	0.4%	65	123	0.1%	108	16	0.2%	111	611,961	3
0905	脳内出血	12,412,728	0.4%	54	288	0.3%	90	113	1.6%	85	109,847	23
0906	脳梗塞	50,785,424	1.8%	16	2,989	3.0%	35	451	6.3%	45	112,606	22
0907	脳動脈硬化(症)	48,434	0.0%	120	16	0.0%	114	11	0.2%	113	4,403	119
0908	その他の脳血管疾患	15,334,049	0.5%	47	1,049	1.0%	63	215	3.0%	70	71,321	30
0909	動脈硬化(症)	11,965,565	0.4%	56	2,340	2.3%	43	646	9.0%	40	18,523	79
0911	低血圧(症)	1,077,516	0.0%	105	199	0.2%	99	27	0.4%	109	39,908	54
0912	その他の循環器系の疾患	21,406,066	0.8%	39	1,771	1.8%	49	395	5.5%	51	54,193	37
X. 呼吸器系の疾患		130,894,262	4.7%		17,509	17.4%		3,551	49.7%		36,861	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	2,413,575	0.1%	92	1,786	1.8%	48	679	9.5%	34	3,555	122
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	3,318,987	0.1%	88	1,792	1.8%	47	726	10.2%	32	4,572	117
1003	その他の急性上気道感染症	12,912,848	0.5%	53	4,735	4.7%	22	1,666	23.3%	10	7,751	111

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,795,741,550	100,569	7,139

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	15,248,181	0.5%	49	862	0.9%	68	452	6.3%	44	33,735	58
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	6,754,612	0.2%	75	2,593	2.6%	41	731	10.2%	30	9,240	105
1006	アレルギー性鼻炎	12,348,010	0.4%	55	4,243	4.2%	24	976	13.7%	23	12,652	95
1007	慢性副鼻腔炎	3,647,767	0.1%	86	1,206	1.2%	61	350	4.9%	57	10,422	97
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	3,252,991	0.1%	89	948	0.9%	64	351	4.9%	56	9,268	104
1009	慢性閉塞性肺疾患	11,737,795	0.4%	59	1,475	1.5%	55	272	3.8%	62	43,154	50
1010	喘息	28,222,934	1.0%	35	4,966	4.9%	20	881	12.3%	26	32,035	61
1011	その他の呼吸器系の疾患	31,036,562	1.1%	27	3,087	3.1%	33	1,209	16.9%	16	25,671	71
X I . 消化器系の疾患		221,806,649	7.9%		30,248	30.1%		3,852	54.0%		57,582	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	7,814	0.0%	121	5	0.0%	120	1	0.0%	120	7,814	110
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	50,756	0.0%	119	10	0.0%	117	5	0.1%	119	10,151	99
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	25,931,747	0.9%	36	5,276	5.2%	19	896	12.6%	25	28,942	67
1105	胃炎及び十二指腸炎	28,450,047	1.0%	34	12,465	12.4%	6	2,035	28.5%	8	13,980	90
1106	痔核	5,984,436	0.2%	76	844	0.8%	69	169	2.4%	77	35,411	57
1107	アルコール性肝疾患	1,594,617	0.1%	99	296	0.3%	89	54	0.8%	99	29,530	65
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	1,612,463	0.1%	98	720	0.7%	71	118	1.7%	83	13,665	92
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	1,857,311	0.1%	97	274	0.3%	91	62	0.9%	97	29,957	63
1110	その他の肝疾患	8,801,855	0.3%	68	2,694	2.7%	37	685	9.6%	33	12,849	94
1111	胆石症及び胆のう炎	15,759,493	0.6%	46	866	0.9%	67	253	3.5%	63	62,290	33
1112	膵疾患	4,867,503	0.2%	82	548	0.5%	80	191	2.7%	73	25,484	72
1113	その他の消化器系の疾患	126,888,607	4.5%	5	18,701	18.6%	3	2,464	34.5%	2	51,497	42
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		58,951,902	2.1%		9,416	9.4%		2,237	31.3%		26,353	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	4,932,495	0.2%	81	670	0.7%	74	280	3.9%	60	17,616	82
1202	皮膚炎及び湿疹	30,047,001	1.1%	31	6,859	6.8%	11	1,727	24.2%	9	17,398	84
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	23,972,406	0.9%	38	4,153	4.1%	26	1,113	15.6%	19	21,539	78
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		271,585,570	9.7%		23,142	23.0%		2,979	41.7%		91,167	
1301	炎症性多発性関節障害	33,359,533	1.2%	26	3,852	3.8%	29	619	8.7%	42	53,893	39
1302	関節症	38,897,420	1.4%	21	5,858	5.8%	16	846	11.9%	27	45,978	45
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	51,337,797	1.8%	15	5,783	5.8%	17	937	13.1%	24	54,790	36
1304	椎間板障害	10,851,195	0.4%	63	2,665	2.6%	38	387	5.4%	52	28,039	68
1305	頸腕症候群	1,969,253	0.1%	94	1,332	1.3%	59	211	3.0%	71	9,333	103
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	15,295,544	0.5%	48	6,464	6.4%	12	1,007	14.1%	22	15,189	88
1307	その他の脊柱障害	5,445,824	0.2%	79	1,343	1.3%	58	234	3.3%	65	23,273	76
1308	肩の傷害<損傷>	7,800,631	0.3%	71	3,086	3.1%	34	440	6.2%	46	17,729	81
1309	骨の密度及び構造の障害	54,229,111	1.9%	12	5,279	5.2%	18	667	9.3%	37	81,303	27
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	52,399,262	1.9%	14	6,094	6.1%	14	1,155	16.2%	18	45,367	47

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,795,741,550	100,569	7,139

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	236,901,070	8.5%		8,333	8.3%		1,812	25.4%		130,740	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	13,439,230	0.5%	52	905	0.9%	65	217	3.0%	67	61,932	34
1402 腎不全	170,108,050	6.1%	1	1,418	1.4%	56	139	1.9%	81	1,223,799	1
1403 尿管結石症	6,877,932	0.2%	74	495	0.5%	82	158	2.2%	78	43,531	49
1404 その他の腎尿路系の疾患	19,634,831	0.7%	41	4,241	4.2%	25	1,197	16.8%	17	16,403	85
1405 前立腺肥大(症)	17,406,593	0.6%	43	2,200	2.2%	44	336	4.7%	58	51,805	41
1406 その他の男性生殖器系の疾患	1,006,297	0.0%	107	189	0.2%	101	72	1.0%	91	13,976	91
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	1,168,788	0.0%	102	355	0.4%	85	94	1.3%	88	12,434	96
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	7,259,349	0.3%	73	662	0.7%	75	303	4.2%	59	23,958	74
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	2,762,829	0.1%		82	0.1%		33	0.5%		83,722	
1501 流産	57,668	0.0%	117	8	0.0%	118	6	0.1%	117	9,611	101
1502 妊娠高血圧症候群	413,090	0.0%	114	3	0.0%	121	1	0.0%	120	413,090	7
1503 単胎自然分娩	4,610	0.0%	122	1	0.0%	122	1	0.0%	120	4,610	116
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	2,287,461	0.1%	93	72	0.1%	110	29	0.4%	108	78,878	28
XVI. 周産期に発生した病態	2,720,704	0.1%		26	0.0%		13	0.2%		209,285	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	784,676	0.0%	110	16	0.0%	114	8	0.1%	115	98,085	24
1602 その他の周産期に発生した病態	1,936,028	0.1%	95	16	0.0%	114	9	0.1%	114	215,114	10
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,898,764	0.1%		369	0.4%		113	1.6%		34,502	
1701 心臓の先天奇形	66,151	0.0%	116	43	0.0%	112	12	0.2%	112	5,513	115
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	3,832,613	0.1%	84	326	0.3%	88	101	1.4%	87	37,947	56
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	56,390,216	2.0%		9,124	9.1%		2,114	29.6%		26,675	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	56,390,216	2.0%	11	9,124	9.1%	7	2,114	29.6%	5	26,675	70
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	96,278,892	3.4%		5,104	5.1%		1,571	22.0%		61,285	
1901 骨折	49,971,615	1.8%	17	1,946	1.9%	45	434	6.1%	47	115,142	21
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	3,360,064	0.1%	87	125	0.1%	107	48	0.7%	101	70,001	31
1903 熱傷及び腐食	7,975,103	0.3%	70	61	0.1%	111	36	0.5%	106	221,531	9
1904 中毒	1,063,367	0.0%	106	194	0.2%	100	116	1.6%	84	9,167	106
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	33,908,743	1.2%	25	3,359	3.3%	31	1,230	17.2%	15	27,568	69
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,648,028	0.2%		2,805	2.8%		593	8.3%		9,524	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	51,082	0.0%	118	7	0.0%	119	6	0.1%	117	8,514	107
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,795,741,550	100,569	7,139

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	5,596,946	0.2%	77	2,798	2.8%	36	587	8.2%	43	9,535	102
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		617,952	0.0%		327	0.3%		112	1.6%		5,517	
9999	分類外	617,952	0.0%	112	327	0.3%	87	112	1.6%	86	5,517	114

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

# 地区分析

## 1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

那波中学校圏域	双葉中学校圏域	矢野川中学校圏域	その他
---------	---------	----------	-----

### 【那波中学校圏域】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	35,285,972	3.0%	11	3,321	12	889	7	39,692	15
II. 新生物<腫瘍>	162,430,770	13.9%	2	3,193	13	875	8	185,635	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12,479,493	1.1%	15	901	16	226	17	55,219	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	118,504,815	10.1%	3	15,066	2	1,459	2	81,223	8
V. 精神及び行動の障害	85,418,612	7.3%	7	3,975	7	367	14	232,748	1
VI. 神経系の疾患	71,858,691	6.1%	8	7,192	5	741	11	96,975	6
VII. 眼及び付属器の疾患	46,838,456	4.0%	10	3,857	8	1,043	6	44,907	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,126,283	0.4%	16	711	17	263	15	15,689	19
IX. 循環器系の疾患	181,152,996	15.5%	1	16,315	1	1,427	3	126,947	5
X. 呼吸器系の疾患	64,256,885	5.5%	9	7,114	6	1,334	4	48,169	12
X I. 消化器系の疾患 ※	87,000,285	7.4%	6	12,457	3	1,485	1	58,586	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	26,750,446	2.3%	14	3,760	9	875	8	30,572	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	105,750,485	9.0%	4	9,143	4	1,152	5	91,797	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	102,344,904	8.7%	5	3,471	11	719	12	142,343	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,408,455	0.1%	19	22	20	10	20	140,846	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	187,430	0.0%	20	11	21	7	21	26,776	18
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,965,903	0.2%	17	108	18	49	18	40,120	14
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	28,350,109	2.4%	13	3,524	10	833	10	34,034	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	32,828,915	2.8%	12	1,893	14	591	13	55,548	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,864,965	0.2%	18	1,184	15	247	16	7,550	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	182,450	0.0%	21	98	19	31	19	5,885	21
合計	1,170,987,320			40,222		2,689		435,473	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

那波中学校圏域	双葉中学校圏域	矢野川中学校圏域	その他
---------	---------	----------	-----

【双葉中学校圏域】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	40,505,729	3.7%	11	3,599	11	1,013	8	39,986	14
II. 新生物<腫瘍>	134,176,591	12.1%	2	3,515	12	1,055	7	127,182	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	10,977,162	1.0%	15	953	17	245	17	44,805	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	115,933,786	10.5%	3	15,016	2	1,666	2	69,588	9
V. 精神及び行動の障害	97,185,698	8.8%	5	4,850	7	398	14	244,185	2
VI. 神経系の疾患	60,593,988	5.5%	8	7,550	6	797	11	76,028	8
VII. 眼及び付属器の疾患	47,713,825	4.3%	9	4,279	8	1,176	6	40,573	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,611,229	0.4%	16	1,005	16	305	15	15,119	19
IX. 循環器系の疾患	161,247,936	14.6%	1	15,250	1	1,507	4	106,999	5
X. 呼吸器系の疾患	47,588,468	4.3%	10	7,631	5	1,603	3	29,687	15
X I. 消化器系の疾患 ※	87,909,455	8.0%	7	12,338	3	1,676	1	52,452	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	23,417,375	2.1%	13	3,924	10	959	9	24,419	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	108,689,195	9.8%	4	10,398	4	1,299	5	83,671	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	96,295,808	8.7%	6	3,391	13	781	12	123,298	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,260,522	0.1%	19	45	20	15	20	84,035	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,533,274	0.2%	18	15	21	6	21	422,212	1
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,174,130	0.1%	20	156	19	40	19	29,353	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22,175,765	2.0%	14	4,111	9	925	10	23,974	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	38,832,150	3.5%	12	2,236	14	693	13	56,035	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,598,316	0.2%	17	1,181	15	259	16	10,032	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	295,778	0.0%	21	168	18	60	18	4,930	21
合計	1,105,716,180			43,573		3,163		349,578	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

那波中学校圏域	双葉中学校圏域	矢野川中学校圏域	その他
---------	---------	----------	-----

【矢野川中学校圏域】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,235,482	3.6%	11	882	11	224	8	45,694	11
II. 新生物<腫瘍>	26,385,109	9.2%	6	850	13	232	7	113,729	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	380,992	0.1%	17	219	16	49	16	7,775	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	30,292,009	10.6%	4	3,735	2	384	2	78,885	7
V. 精神及び行動の障害	40,239,375	14.0%	1	1,415	6	105	14	383,232	1
VI. 神経系の疾患	14,280,107	5.0%	9	2,224	5	205	10	69,659	9
VII. 眼及び付属器の疾患	13,767,630	4.8%	10	989	8	242	6	56,891	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,076,199	0.4%	15	196	17	72	15	14,947	16
IX. 循環器系の疾患	31,419,282	11.0%	3	3,812	1	360	3	87,276	5
X. 呼吸器系の疾患	9,442,658	3.3%	12	1,360	7	321	4	29,416	13
X I. 消化器系の疾患 ※	29,734,865	10.4%	5	3,465	3	408	1	72,880	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,814,308	1.3%	13	905	10	220	9	17,338	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	38,553,597	13.4%	2	2,289	4	321	4	120,105	2
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	18,492,512	6.5%	7	946	9	176	12	105,071	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	6,710	0.0%	20	1	20	1	20	6,710	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	559,795	0.2%	16	87	18	15	18	37,320	12
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,963,190	1.0%	14	880	12	191	11	15,514	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	14,734,488	5.1%	8	623	14	172	13	85,666	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	213,976	0.1%	18	239	15	47	17	4,553	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	96,046	0.0%	19	35	19	12	19	8,004	17
合計	286,688,330			10,158		699		410,141	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

那波中学校圏域	双葉中学校圏域	矢野川中学校圏域	その他
---------	---------	----------	-----

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,883,961	3.0%	11	565	11	178	7	38,674	12
II. 新生物<腫瘍>	21,001,730	9.0%	3	518	13	167	9	125,759	5
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,604,912	1.1%	15	196	16	50	15	52,098	10
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	16,843,691	7.2%	8	2,382	2	279	3	60,372	9
V. 精神及び行動の障害	36,642,127	15.8%	2	672	8	72	14	508,918	1
VI. 神経系の疾患	19,182,954	8.3%	5	1,195	6	128	12	149,867	2
VII. 眼及び付属器の疾患	6,858,366	3.0%	12	591	10	177	8	38,748	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	608,754	0.3%	17	168	17	46	16	13,234	18
IX. 循環器系の疾患	37,540,000	16.2%	1	2,448	1	251	4	149,562	3
X. 呼吸器系の疾患	9,606,251	4.1%	10	1,404	4	293	1	32,786	13
X I. 消化器系の疾患 ※	17,162,044	7.4%	7	1,988	3	283	2	60,643	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,969,773	2.1%	13	827	7	183	6	27,157	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	18,592,293	8.0%	6	1,312	5	207	5	89,818	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	19,767,846	8.5%	4	525	12	136	11	145,352	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	87,142	0.0%	19	14	20	7	20	12,449	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	198,936	0.1%	18	18	19	9	18	22,104	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,901,152	1.2%	14	609	9	165	10	17,583	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	9,883,339	4.3%	9	352	14	115	13	85,942	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	970,771	0.4%	16	201	15	40	17	24,269	15
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	43,678	0.0%	20	26	18	9	18	4,853	20
合計	232,349,720			6,616		588		395,153	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

## 2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

那波中学校圏域	双葉中学校圏域	矢野川中学校圏域	その他
---------	---------	----------	-----

### 【那波中学校圏域】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	73,770,920	6.3%	54
2	0402 糖尿病	61,014,256	5.2%	882
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	60,393,113	5.2%	412
4	0901 高血圧性疾患	58,534,455	5.0%	1,090
5	1113 その他の消化器系の疾患	52,864,044	4.5%	969
6	0903 その他の心疾患	45,203,228	3.9%	505
7	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	44,211,761	3.8%	80
8	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	40,325,390	3.4%	144
9	0403 脂質異常症	38,916,373	3.3%	906
10	0606 その他の神経系の疾患	30,886,513	2.6%	661

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【双葉中学校圏域】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	70,668,685	6.4%	54
2	0901 高血圧性疾患	54,910,103	5.0%	1,154
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	54,733,729	5.0%	96
4	0402 糖尿病	50,393,306	4.6%	1,056
5	1113 その他の消化器系の疾患	48,978,072	4.4%	1,050
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	48,042,325	4.3%	474
7	0903 その他の心疾患	43,101,083	3.9%	590
8	0403 脂質異常症	37,920,659	3.4%	952
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	28,292,365	2.6%	915
10	0606 その他の神経系の疾患	25,183,459	2.3%	725

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

那波中学校圏域	双葉中学校圏域	矢野川中学校圏域	その他
---------	---------	----------	-----

【矢野川中学校圏域】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	25,291,093	8.8%	46
2	0402 糖尿病	16,331,164	5.7%	248
3	0901 高血圧性疾患	15,869,708	5.5%	280
4	1113 その他の消化器系の疾患	15,277,125	5.3%	263
5	1302 関節症	10,151,291	3.5%	94
6	1402 腎不全	10,044,933	3.5%	16
7	0403 脂質異常症	9,617,874	3.4%	220
8	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	8,851,736	3.1%	118
9	1901 骨折	8,427,199	2.9%	59
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	7,892,841	2.8%	186

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	18,492,747	8.0%	15
2	1402 腎不全	15,623,512	6.7%	15
3	1113 その他の消化器系の疾患	9,769,366	4.2%	182
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	8,720,561	3.8%	71
5	0901 高血圧性疾患	8,450,281	3.6%	188
6	0904 くも膜下出血	8,403,508	3.6%	3
7	0402 糖尿病	7,900,150	3.4%	158
8	1903 熱傷及び腐食	7,688,070	3.3%	2
9	0903 その他の心疾患	7,652,469	3.3%	107
10	0606 その他の神経系の疾患	7,496,555	3.2%	101

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

那波中学校圏域	双葉中学校圏域	矢野川中学校圏域	その他
---------	---------	----------	-----

### 【那波中学校圏域】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	58,534,455	1,090	40.5%
2	1113 その他の消化器系の疾患	52,864,044	969	36.0%
3	0403 脂質異常症	38,916,373	906	33.7%
4	0402 糖尿病	61,014,256	882	32.8%
5	0704 その他の眼及び付属器の疾患	26,716,126	842	31.3%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	28,350,109	833	31.0%
7	0703 屈折及び調節の障害	3,570,680	831	30.9%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	11,203,965	801	29.8%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	13,817,525	675	25.1%
10	0606 その他の神経系の疾患	30,886,513	661	24.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【双葉中学校圏域】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	54,910,103	1,154	36.5%
2	0402 糖尿病	50,393,306	1,056	33.4%
3	1113 その他の消化器系の疾患	48,978,072	1,050	33.2%
4	0403 脂質異常症	37,920,659	952	30.1%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	22,175,765	925	29.2%
6	0703 屈折及び調節の障害	3,890,818	924	29.2%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	28,292,365	915	28.9%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	11,506,530	868	27.4%
9	1003 その他の急性上気道感染症	5,916,257	742	23.5%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	11,412,088	741	23.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

那波中学校圏域	双葉中学校圏域	矢野川中学校圏域	その他
---------	---------	----------	-----

### 【矢野川中学校圏域】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	15,869,708	280	40.1%
2	1113 その他の消化器系の疾患	15,277,125	263	37.6%
3	0402 糖尿病	16,331,164	248	35.5%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,354,319	228	32.6%
5	0403 脂質異常症	9,617,874	220	31.5%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,963,190	191	27.3%
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	7,892,841	186	26.6%
8	0703 屈折及び調節の障害	838,079	185	26.5%
9	0606 その他の神経系の疾患	6,461,700	177	25.3%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	2,418,937	169	24.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	8,450,281	188	32.0%
2	1113 その他の消化器系の疾患	9,769,366	182	31.0%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,901,152	165	28.1%
4	0402 糖尿病	7,900,150	158	26.9%
5	0403 脂質異常症	6,605,449	146	24.8%
6	1202 皮膚炎及び湿疹	2,398,451	142	24.1%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,385,233	138	23.5%
8	0703 屈折及び調節の障害	551,063	130	22.1%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	4,214,602	128	21.8%
10	1003 その他の急性上気道感染症	1,068,616	125	21.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

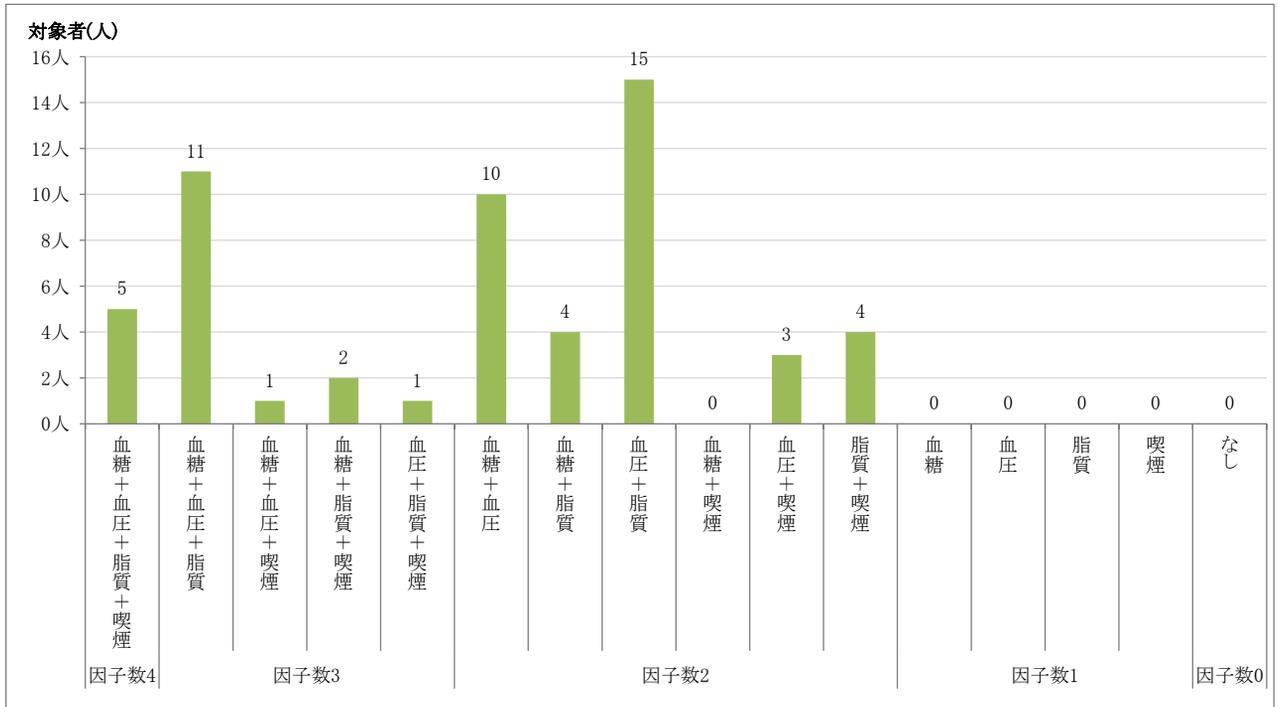
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

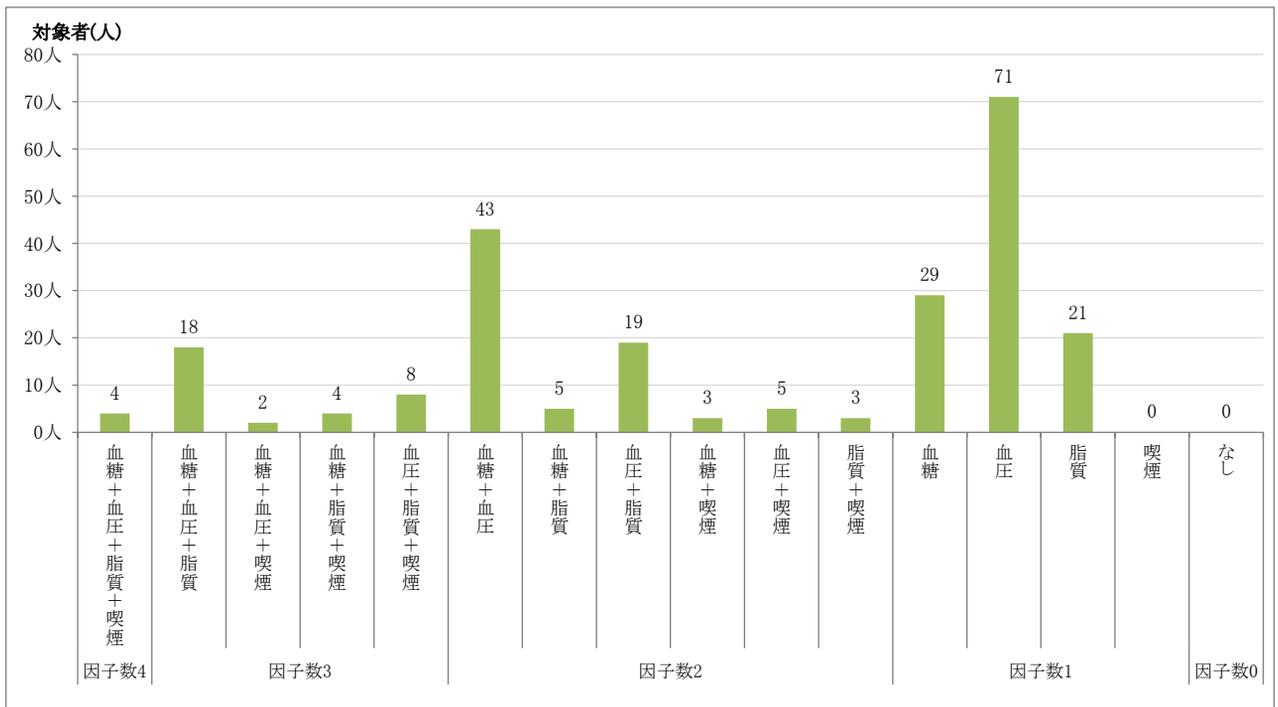
# 保健指導対象者のリスク因子別該当状況

## 積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## 動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

# 年度別 特定健康診査結果分析

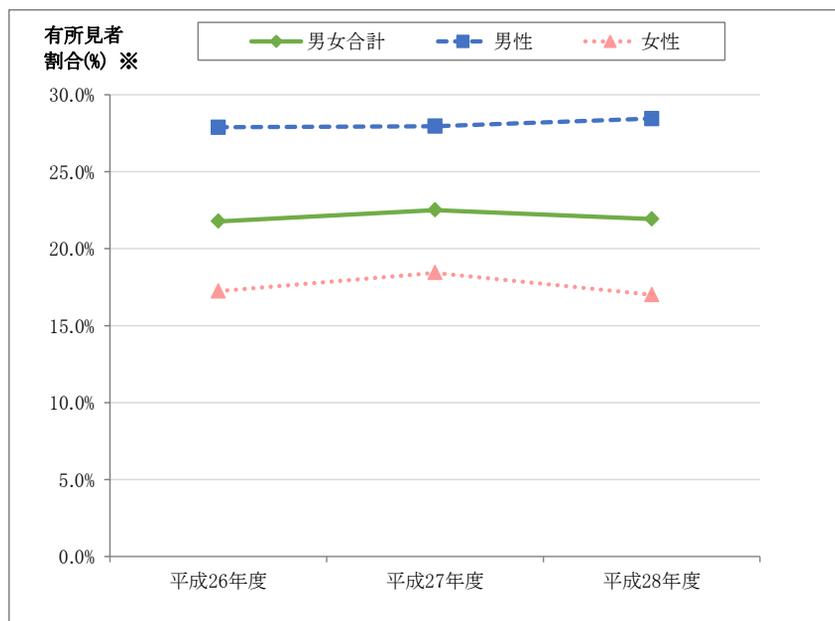
## 1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,861	2,826	2,682
	有所見者数(人) ※	623	636	588
	有所見者割合(%) ※	21.8%	22.5%	21.9%
男性	対象者数(人) ※	1,219	1,209	1,153
	有所見者数(人) ※	340	338	328
	有所見者割合(%) ※	27.9%	28.0%	28.4%
女性	対象者数(人) ※	1,642	1,617	1,529
	有所見者数(人) ※	283	298	260
	有所見者割合(%) ※	17.2%	18.4%	17.0%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

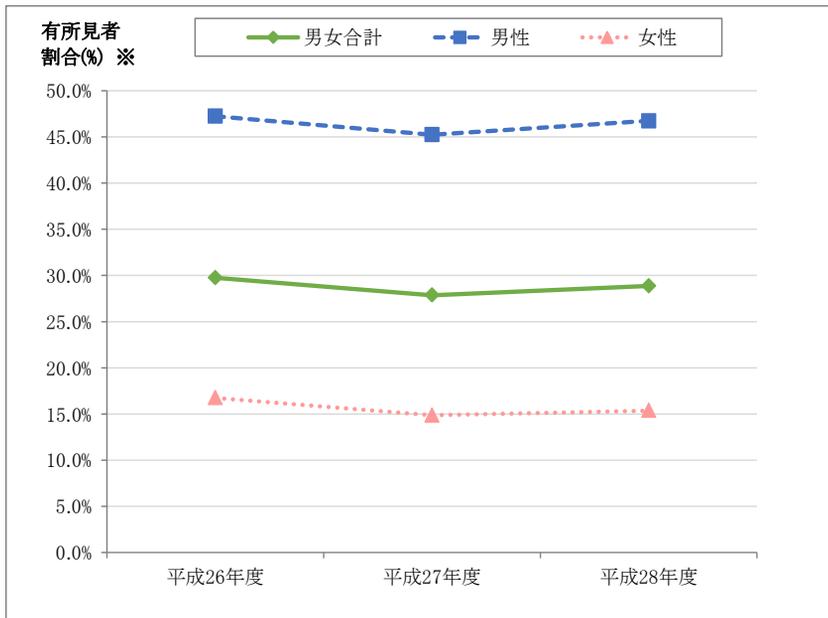
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

## 年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,861	2,825	2,682
	有所見者数(人) ※	851	787	774
	有所見者割合(%) ※	29.7%	27.9%	28.9%
男性	対象者数(人) ※	1,219	1,209	1,153
	有所見者数(人) ※	576	547	539
	有所見者割合(%) ※	47.3%	45.2%	46.7%
女性	対象者数(人) ※	1,642	1,616	1,529
	有所見者数(人) ※	275	240	235
	有所見者割合(%) ※	16.7%	14.9%	15.4%

## 年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

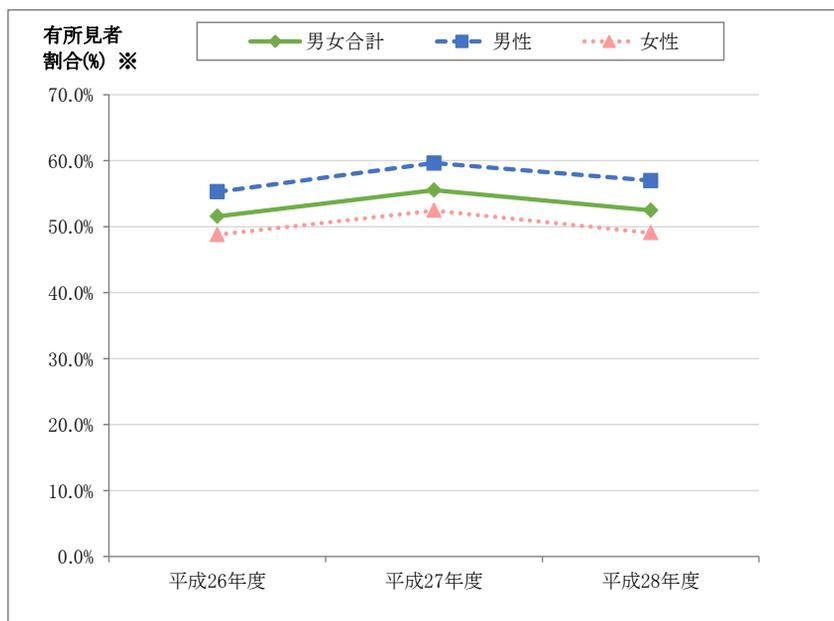
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,861	2,826	2,682
	有所見者数(人) ※	1,475	1,569	1,407
	有所見者割合(%) ※	51.6%	55.5%	52.5%
男性	対象者数(人) ※	1,219	1,209	1,153
	有所見者数(人) ※	674	721	657
	有所見者割合(%) ※	55.3%	59.6%	57.0%
女性	対象者数(人) ※	1,642	1,617	1,529
	有所見者数(人) ※	801	848	750
	有所見者割合(%) ※	48.8%	52.4%	49.1%

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

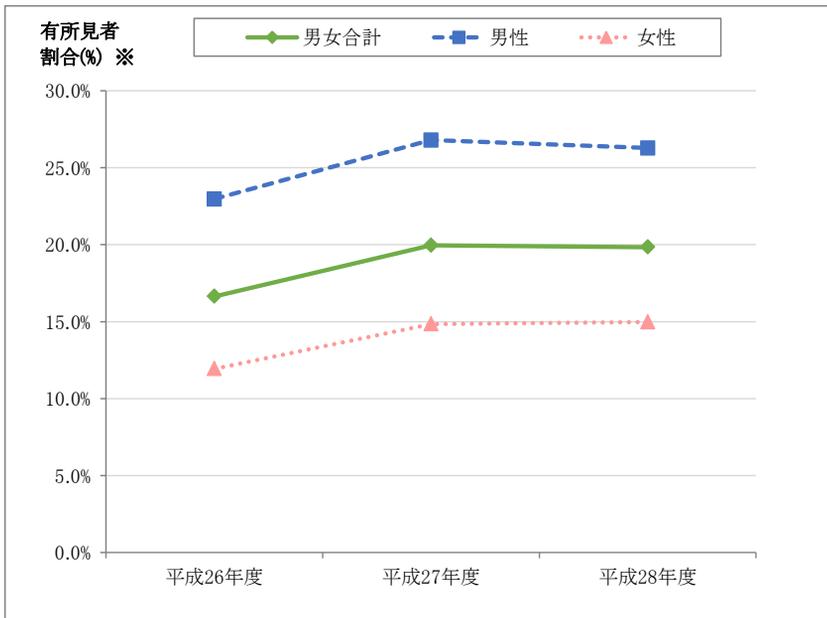
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,861	2,826	2,682
	有所見者数(人) ※	476	564	532
	有所見者割合(%) ※	16.6%	20.0%	19.8%
男性	対象者数(人) ※	1,219	1,209	1,153
	有所見者数(人) ※	280	324	303
	有所見者割合(%) ※	23.0%	26.8%	26.3%
女性	対象者数(人) ※	1,642	1,617	1,529
	有所見者数(人) ※	196	240	229
	有所見者割合(%) ※	11.9%	14.8%	15.0%

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

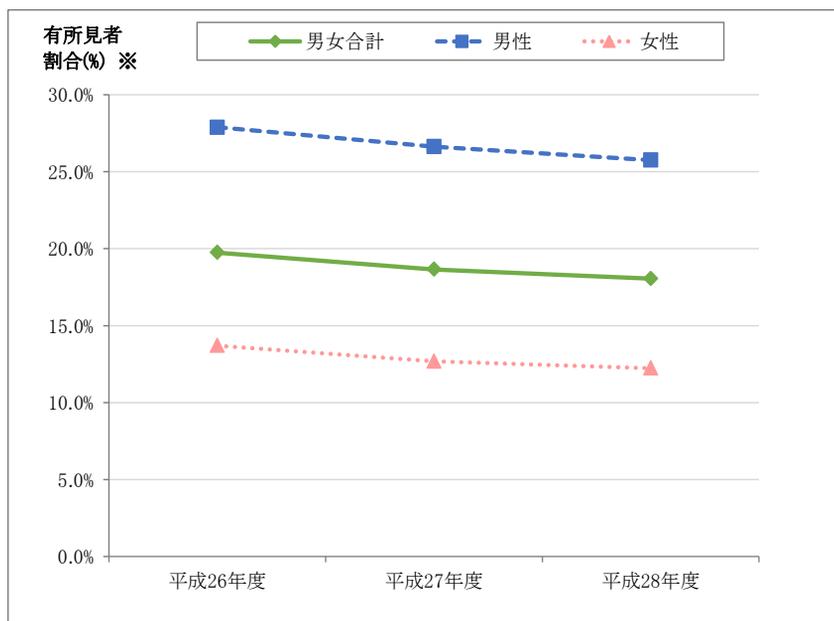
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,861	2,826	2,682
	有所見者数(人) ※	565	527	484
	有所見者割合(%) ※	19.7%	18.6%	18.0%
男性	対象者数(人) ※	1,219	1,209	1,153
	有所見者数(人) ※	340	322	297
	有所見者割合(%) ※	27.9%	26.6%	25.8%
女性	対象者数(人) ※	1,642	1,617	1,529
	有所見者数(人) ※	225	205	187
	有所見者割合(%) ※	13.7%	12.7%	12.2%

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

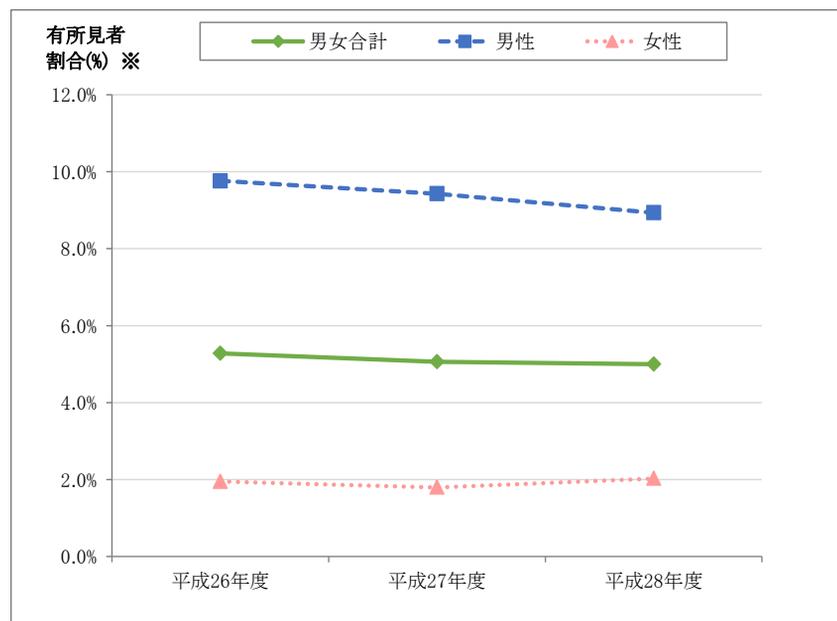
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,861	2,826	2,682
	有所見者数(人) ※	151	143	134
	有所見者割合(%) ※	5.3%	5.1%	5.0%
男性	対象者数(人) ※	1,219	1,209	1,153
	有所見者数(人) ※	119	114	103
	有所見者割合(%) ※	9.8%	9.4%	8.9%
女性	対象者数(人) ※	1,642	1,617	1,529
	有所見者数(人) ※	32	29	31
	有所見者割合(%) ※	1.9%	1.8%	2.0%

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

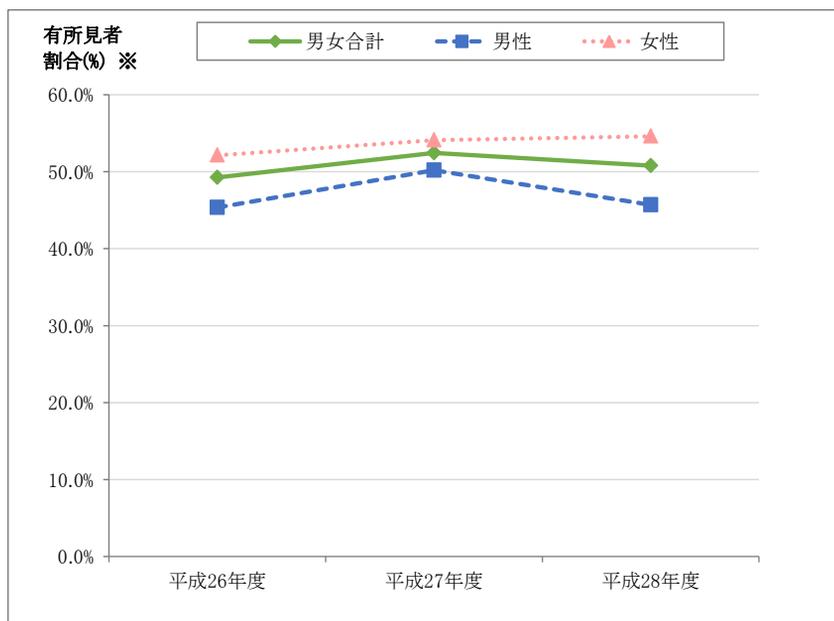
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

## 年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,861	2,826	2,682
	有所見者数(人) ※	1,409	1,482	1,362
	有所見者割合(%) ※	49.2%	52.4%	50.8%
男性	対象者数(人) ※	1,219	1,209	1,153
	有所見者数(人) ※	553	607	527
	有所見者割合(%) ※	45.4%	50.2%	45.7%
女性	対象者数(人) ※	1,642	1,617	1,529
	有所見者数(人) ※	856	875	835
	有所見者割合(%) ※	52.1%	54.1%	54.6%

## 年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

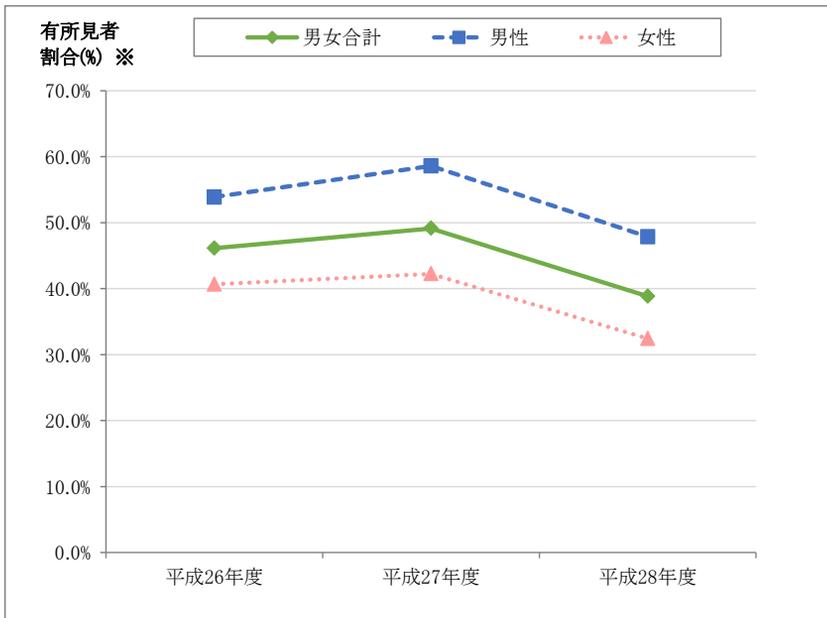
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

### 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,426	2,373	2,274
	有所見者数(人) ※	1,119	1,166	883
	有所見者割合(%) ※	46.1%	49.1%	38.8%
男性	対象者数(人) ※	1,002	1,000	942
	有所見者数(人) ※	540	586	451
	有所見者割合(%) ※	53.9%	58.6%	47.9%
女性	対象者数(人) ※	1,424	1,373	1,332
	有所見者数(人) ※	579	580	432
	有所見者割合(%) ※	40.7%	42.2%	32.4%

### 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

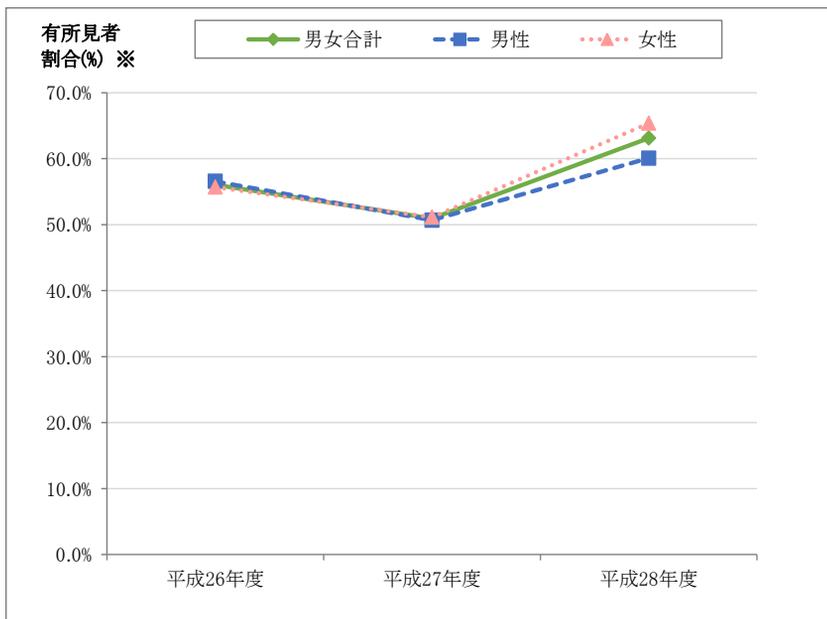
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	2,769	2,737	2,610
	有所見者数(人) ※	1,552	1,394	1,647
	有所見者割合(%) ※	56.0%	50.9%	63.1%
男性	対象者数(人) ※	1,181	1,166	1,120
	有所見者数(人) ※	668	591	673
	有所見者割合(%) ※	56.6%	50.7%	60.1%
女性	対象者数(人) ※	1,588	1,571	1,490
	有所見者数(人) ※	884	803	974
	有所見者割合(%) ※	55.7%	51.1%	65.4%

## 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

## 2. 質問別回答状況

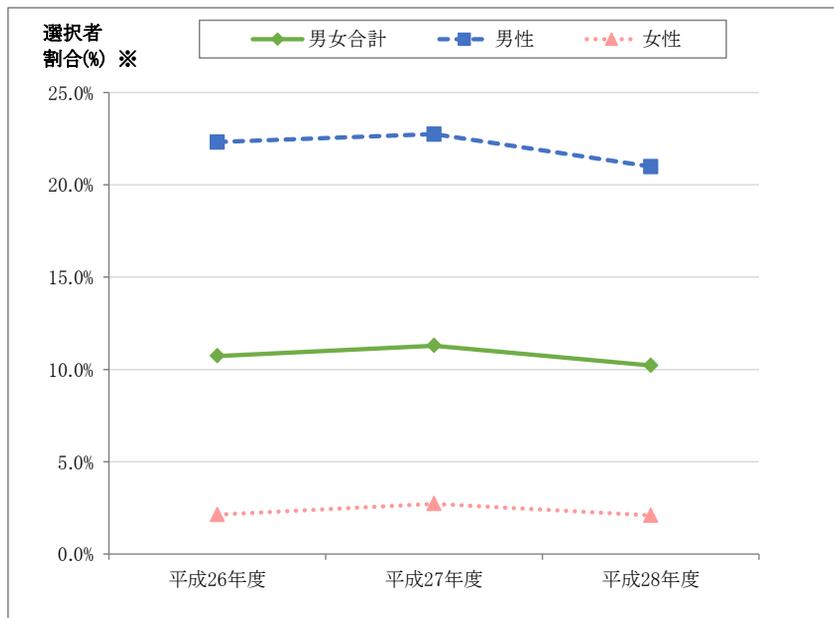
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

### ①喫煙習慣

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	2,861	2,826	2,682
	選択者数(人) ※	307	319	274
	選択者割合(%) ※	10.7%	11.3%	10.2%
男性	質問回答者数(人) ※	1,219	1,209	1,153
	選択者数(人) ※	272	275	242
	選択者割合(%) ※	22.3%	22.7%	21.0%
女性	質問回答者数(人) ※	1,642	1,617	1,529
	選択者数(人) ※	35	44	32
	選択者割合(%) ※	2.1%	2.7%	2.1%

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

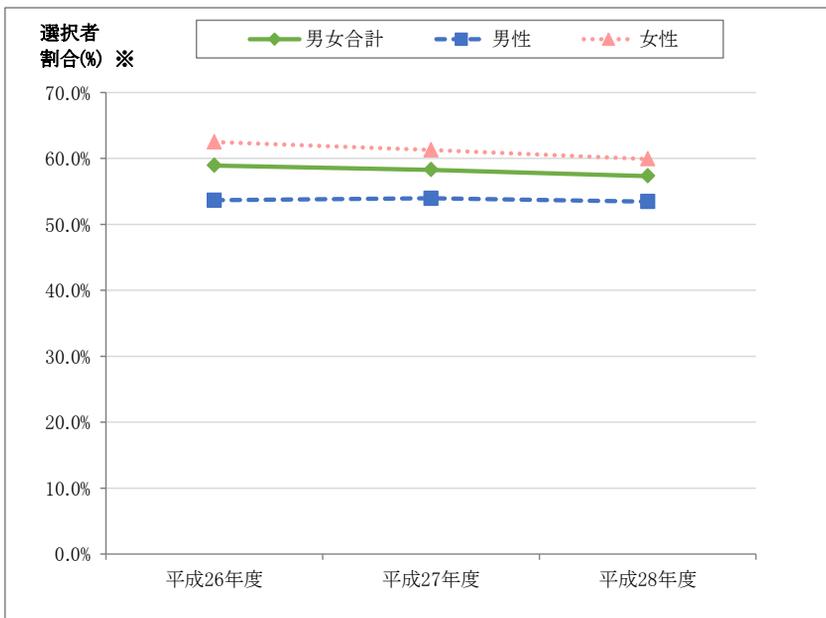
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## ②運動習慣

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,955	1,949	1,863
	選択者数(人) ※	1,152	1,136	1,068
	選択者割合(%) ※	58.9%	58.3%	57.3%
男性	質問回答者数(人) ※	790	797	748
	選択者数(人) ※	424	430	400
	選択者割合(%) ※	53.7%	54.0%	53.5%
女性	質問回答者数(人) ※	1,165	1,152	1,115
	選択者数(人) ※	728	706	668
	選択者割合(%) ※	62.5%	61.3%	59.9%

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

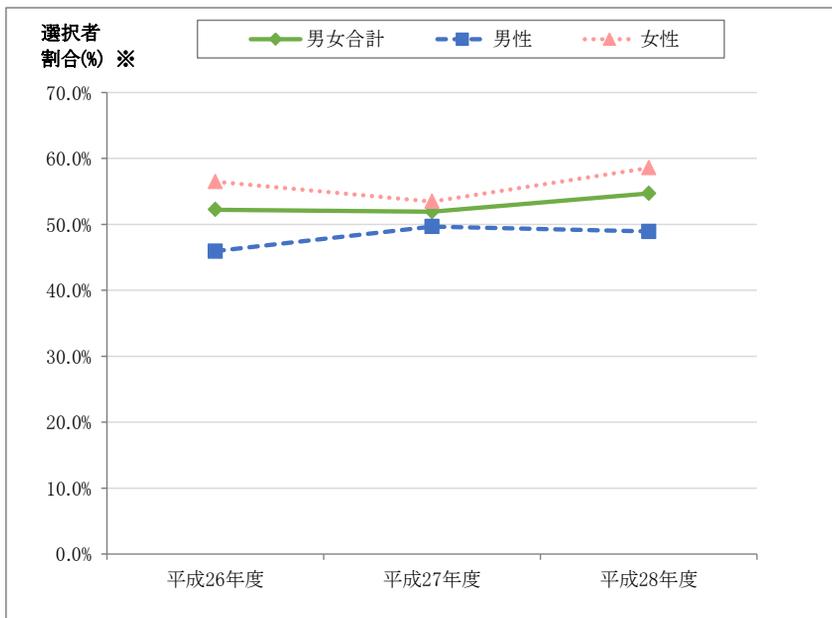
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,955	1,949	1,863
	選択者数(人) ※	1,021	1,012	1,019
	選択者割合(%) ※	52.2%	51.9%	54.7%
男性	質問回答者数(人) ※	790	797	748
	選択者数(人) ※	363	396	366
	選択者割合(%) ※	45.9%	49.7%	48.9%
女性	質問回答者数(人) ※	1,165	1,152	1,115
	選択者数(人) ※	658	616	653
	選択者割合(%) ※	56.5%	53.5%	58.6%

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

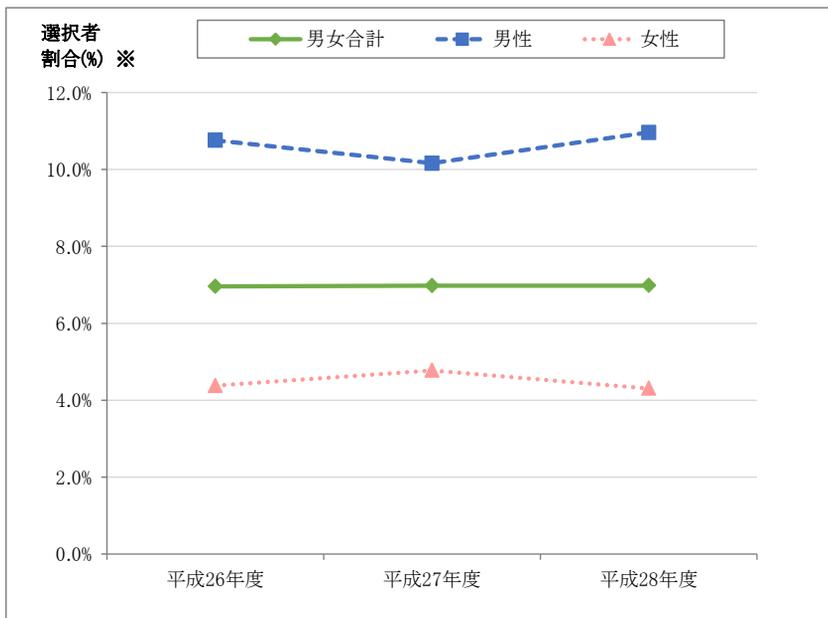
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### ③食習慣

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,955	1,949	1,863
	選択者数(人) ※	136	136	130
	選択者割合(%) ※	7.0%	7.0%	7.0%
男性	質問回答者数(人) ※	790	797	748
	選択者数(人) ※	85	81	82
	選択者割合(%) ※	10.8%	10.2%	11.0%
女性	質問回答者数(人) ※	1,165	1,152	1,115
	選択者数(人) ※	51	55	48
	選択者割合(%) ※	4.4%	4.8%	4.3%

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

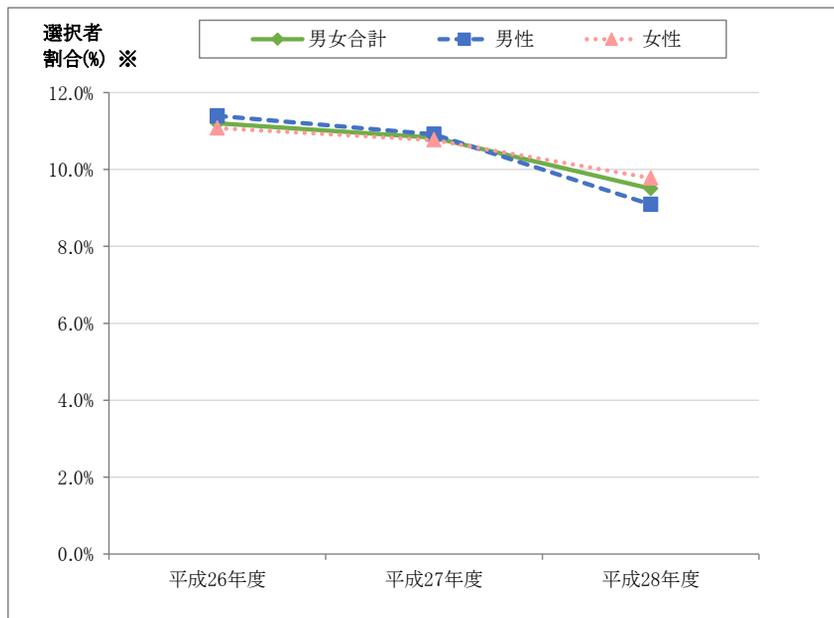
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,955	1,949	1,863
	選択者数(人) ※	219	211	177
	選択者割合(%) ※	11.2%	10.8%	9.5%
男性	質問回答者数(人) ※	790	797	748
	選択者数(人) ※	90	87	68
	選択者割合(%) ※	11.4%	10.9%	9.1%
女性	質問回答者数(人) ※	1,165	1,152	1,115
	選択者数(人) ※	129	124	109
	選択者割合(%) ※	11.1%	10.8%	9.8%

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

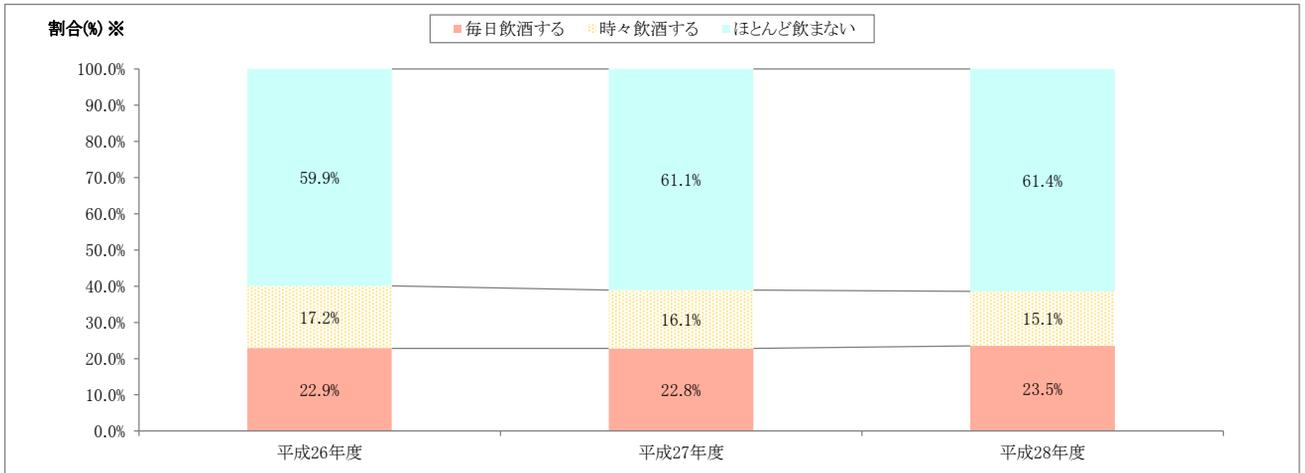
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

#### ④ 飲酒習慣

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	2,861	655	22.9%	492	17.2%	1,714	59.9%
平成27年度	2,826	645	22.8%	455	16.1%	1,726	61.1%
平成28年度	2,682	630	23.5%	405	15.1%	1,647	61.4%

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

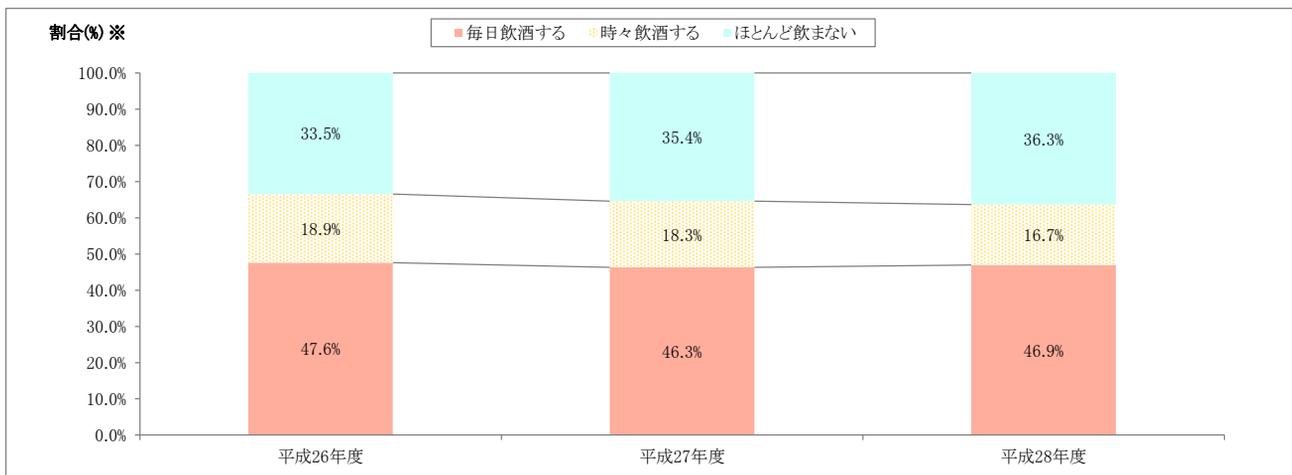
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,219	580	47.6%	231	18.9%	408	33.5%
平成27年度	1,209	560	46.3%	221	18.3%	428	35.4%
平成28年度	1,153	541	46.9%	193	16.7%	419	36.3%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

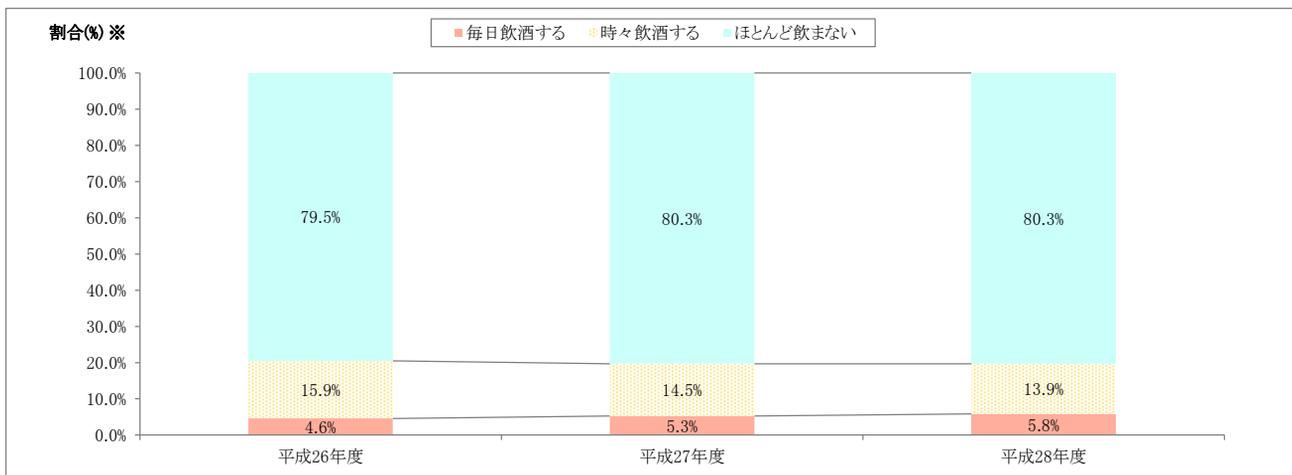
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,642	75	4.6%	261	15.9%	1,306	79.5%
平成27年度	1,617	85	5.3%	234	14.5%	1,298	80.3%
平成28年度	1,529	89	5.8%	212	13.9%	1,228	80.3%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

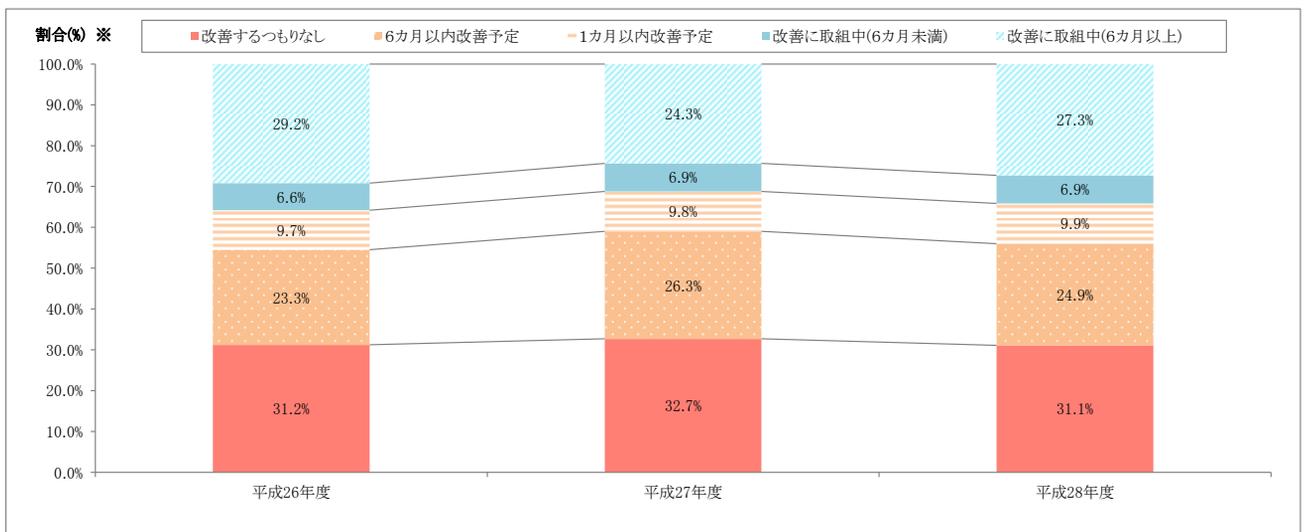
## ⑤生活習慣

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,955	610	31.2%	456	23.3%	189	9.7%
平成27年度	1,949	637	32.7%	513	26.3%	191	9.8%
平成28年度	1,863	579	31.1%	464	24.9%	184	9.9%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,955	130	6.6%	570	29.2%
平成27年度	1,949	134	6.9%	474	24.3%
平成28年度	1,863	128	6.9%	508	27.3%

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

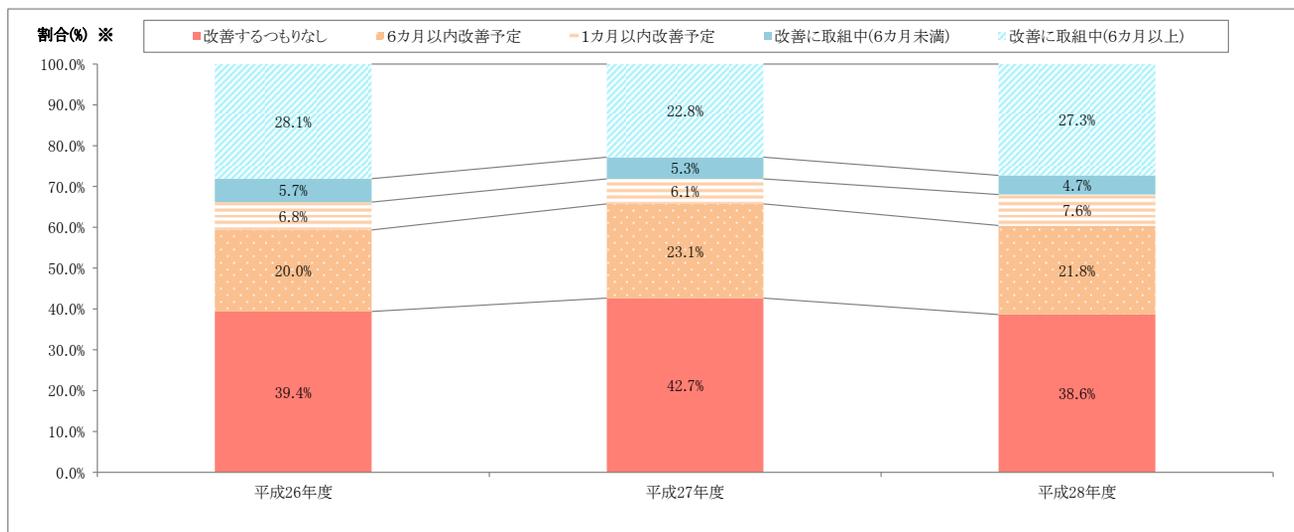
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	790	311	39.4%	158	20.0%	54	6.8%
平成27年度	797	340	42.7%	184	23.1%	49	6.1%
平成28年度	748	289	38.6%	163	21.8%	57	7.6%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	790	45	5.7%	222	28.1%
平成27年度	797	42	5.3%	182	22.8%
平成28年度	748	35	4.7%	204	27.3%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

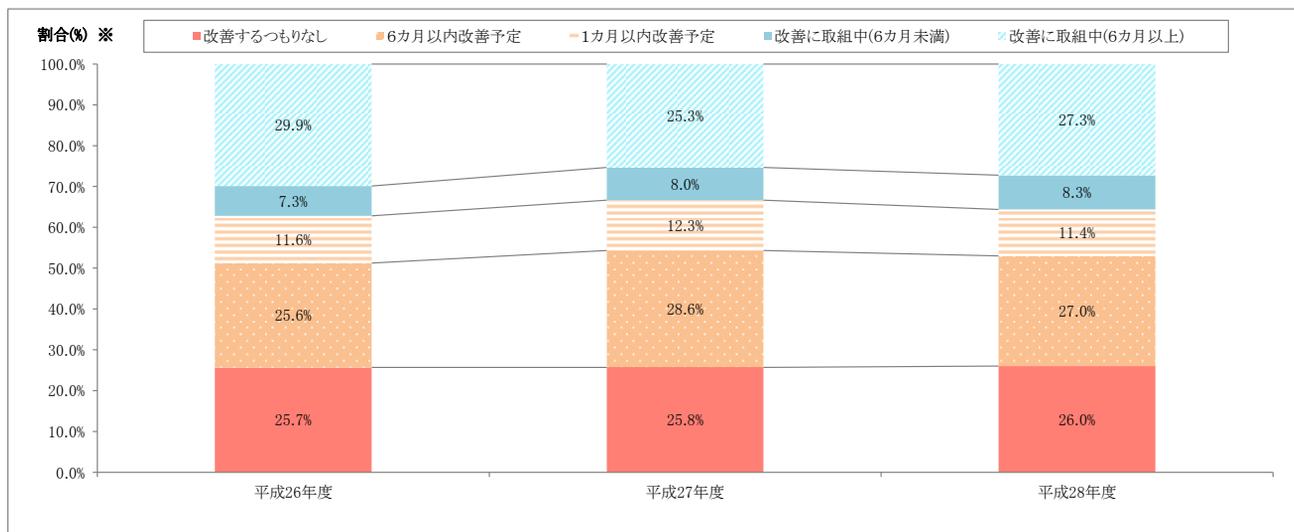
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,165	299	25.7%	298	25.6%	135	11.6%
平成27年度	1,152	297	25.8%	329	28.6%	142	12.3%
平成28年度	1,115	290	26.0%	301	27.0%	127	11.4%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,165	85	7.3%	348	29.9%
平成27年度	1,152	92	8.0%	292	25.3%
平成28年度	1,115	93	8.3%	304	27.3%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

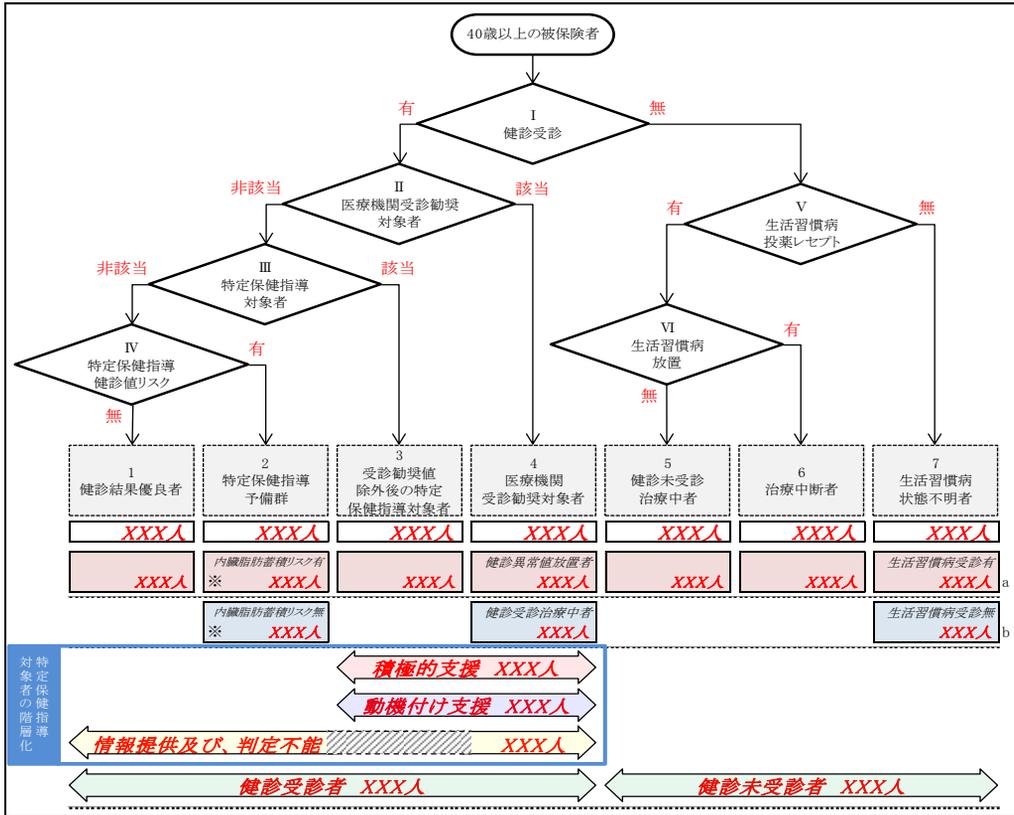
※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



### 【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勸奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勸奨判定値を超えて受診勸奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含まない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

### 【グループ別説明】

#### 健診受診あり

- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
- 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
  - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
  - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
- 3. 受診勸奨値除外後の特定保健指導対象者…受診勸奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
- 4. 医療機関受診勸奨対象者 …受診勸奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
  - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勸奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
  - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勸奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

#### 健診受診なし

- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
- 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
- 7. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
  - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
  - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

## 2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

## 4. 疾病分類表 (2013年版)

コード		主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化(症)	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化(症)	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧(症)	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]＜感冒＞	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I . 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV . 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大(症)	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	ABO因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメカ植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		